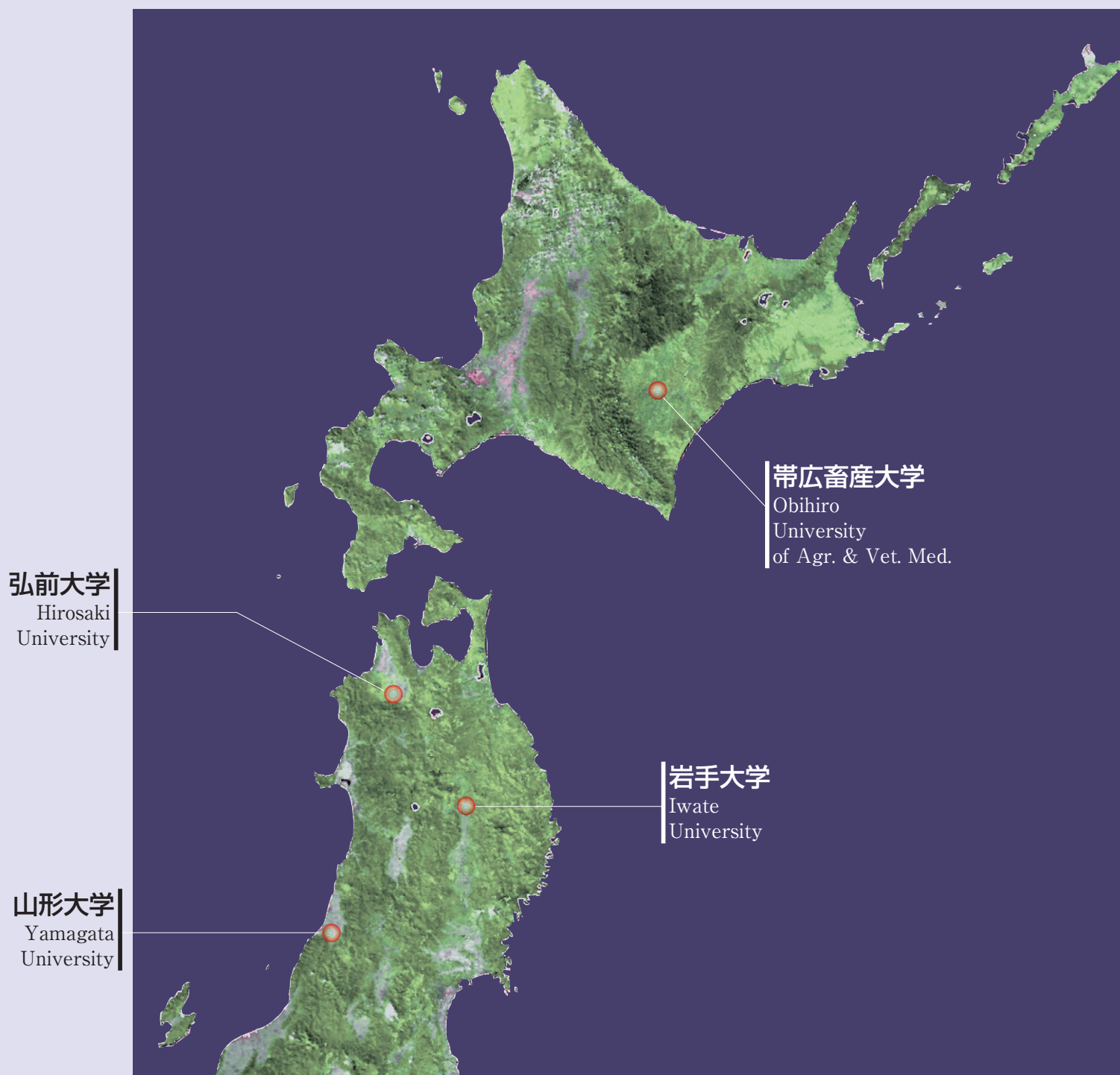


連大年報

No.12 (2009.4~2010.3)



平成23年10月

岩手大学大学院連合農学研究科

目 次

第1部 教育活動

第1章 学生の受け入れ	1
1 学生の在籍状況	1
2 外国人留学生在籍状況	4
3 社会人学生在籍状況	5
4 新入生の研究テーマと指導教員	6
第2章 学生の研究活動	8
第3章 学位授与者と修了後の進路	23
第4章 ゼミナール	28

第2部 教員の研究活動

第1章 公表論文等	31
第2章 研究助成金	94

第3部 組織・運営

第1章 主指導教員となり得る教員の専門分野・研究分野一覧	108
第2章 各種委員会等	116
1 研究科教授会	116
(1) 構 成 員	116
(2) 審議事項	118
2 代 議 員 会	119
(1) 委 員	119
(2) 審議事項	119
第3章 有資格教員一覧	122
第4章 そ の 他	124
1 組 織	124
2 予算規模	125
3 主な行事	126

第1部 教 育 活 動

第1章 学生の受け入れ

1 学生の在籍状況

平成21年度

在籍学生数（全体）

平成21年5月1日現在

区分	専 攻	連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	合 計
旧 専 攻	生 物 生 産 科 学	植 物 生 産 学	1				1
		動 物 生 産 学	1				1
		森 林 経 済 学					
	生 物 資 源 科 学	生物機能開発学					
		ゲノム工学		1			1
		生物資源工学					
		生物資源化学			1		1
	生 物 環 境 科 学	生 産 環 境 学	1		1		2
		地域資源工学	1				1
		環 境 管 理 学					
	小 計		4	1	2		7
新 専 攻	生 物 生 産 科 学	植 物 生 産 学	6	1			7
		動 物 生 産 学	3	1	1	4	9
		生 物 制 御 学	3	6	3	2	14
	生 物 資 源 科 学	生物機能開発学	1	7	1	3	12
		ゲノム工学	7	10	1	2	20
		生物資源利用学	4		5	4	13
	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	12	4		1	17
	生 物 環 境 科 学	地域資源経済学	7	5	3	1	16
		地域環境工学	5	4		4	13
		地域環境管理学	6		2	3	11
	小 計		54	38	16	24	132
	合 計		58	39	18	24	139

在籍学生数（入学年度別）

平成 21 年 5 月 1 日現在

入学 年度	専 攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成 21 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学	1(1)	1(1)			
		動 物 生 産 学	4(2)	1			3(2)
		生 物 制 御 学	2		1		1
		計	7(3)	2(1)	1(0)	0(0)	4(2)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	2(1)		2(1)		
		ゲ ノ ム 工 学	3(2)		3(2)		
		生 物 資 源 利 用 学	2				2
		計	7(3)	0(0)	5(3)	0(0)	2(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	3(3)	2(2)	1(1)		
		計	3(3)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	4(1)		1(1)	3	
		地 域 環 境 工 学	4(2)	2(1)	1(1)		1
		地 域 環 境 管 理 学	3(1)	1(1)			2
		計	11(4)	3(2)	2(2)	3(0)	3(0)
	小 計		28(13)	7(5)	9(6)	3(0)	9(2)
平成 20 年度	生 物 生 産 科 学	植 物 生 産 学	5(1)	4(1)	1		
		動 物 生 産 学	2	1		1	
		生 物 制 御 学	4(1)		2(1)	2	
		計	11(2)	5(1)	3(1)	3(0)	0(0)
	生 物 資 源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	2		2		
		ゲ ノ ム 工 学	3		3		
		生 物 資 源 利 用 学	5(1)	1		2(1)	2
		計	10(1)	1(0)	5(0)	2(1)	2(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	6(3)	4(2)	2(1)		
		計	6(3)	4(2)	2(1)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	3(1)		2		1(1)
		地 域 環 境 工 学	3(1)	2	1(1)		
		地 域 環 境 管 理 学	1			1	
		計	7(2)	2(0)	3(1)	1(0)	1(1)
	小 計		34(8)	12(3)	13(3)	6(1)	3(1)

入学 年度	専 攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成 19 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学	1(1)	1(1)			
		動 物 生 産 学	1(1)	1(1)			
		生 物 制 御 学	7(2)	3(1)	2	1	1(1)
		計	9(4)	5(3)	2(0)	1(0)	1(1)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	5(1)	1	1		3(1)
		ゲ ノ ム 工 学	10(2)	5(1)	3		2(1)
		生 物 資 源 利 用 学	4(1)	2(1)		2	
		計	19(4)	8(2)	4(0)	2(0)	5(2)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	4	2	1		1
		計	4(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	3(2)	2(1)	1(1)		
		地 域 環 境 工 学	3(1)		2(1)		1
		地 域 環 境 管 理 学	5(1)	3		1	1(1)
		計	11(4)	5(1)	3(2)	1(0)	2(1)
	小 計		43(12)	20(6)	10(2)	4(0)	9(4)
平成 18 年度	生物生産 科 学	植 物 生 産 学					
		動 物 生 産 学	2		1		1
		生 物 制 御 学	1		1		
		計	3(0)	0(0)	2(0)	0(0)	1(0)
	生物資源 科 学	生 物 機 能 開 発 学	3		2	1	
		ゲ ノ ム 工 学	4(2)	2(1)	1	1(1)	
		生 物 資 源 利 用 学	2	1		1	
		計	9(2)	3(1)	3(0)	3(1)	0(0)
	寒冷圏生命 システム学	熱・生命システム学	4(1)	4(1)			
		計	4(1)	4(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物環境 科 学	地 域 資 源 経 済 学	6(1)	5	1(1)		
		地 域 環 境 工 学	3	1			2
		地 域 環 境 管 理 学	2	2			
		計	11(1)	8(0)	1(1)	0(0)	2(0)
	小 計		27(4)	15(2)	6(1)	3(1)	3(0)

入学 年度	専攻	連合講座	学生数	配 属 大 学			
				岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
平成 17 年度	生物生産 科	植 物 生 産 学	1	1			
		動 物 生 産 学	1	1			
		計	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	生物資源 科	ゲ ノ ム 工 学	1		1		
		生 物 資 源 化 学	1			1	
		計	2(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	生物環境 科	生 産 環 境 学	1			1	
		地 域 資 源 工 学	1	1			
		計	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)
	小 計		6(0)	3(0)	1(0)	2(0)	0(0)
平成 16 年度	生物環境 科	生 産 環 境 学	1	1			
		計	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	小 計		1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合 計			139(37)	58(16)	39(12)	18(2)	24(7)

() 内は外国人留学生で内数

2 外国人留学生在籍状況

(新専攻)

専 攻		生物生産科学						生物資源科学						寒冷圏生命システム学		生物環境科学						合 計										
連合講座		植物生産学		動物生産学		生物制御学		生物機能開発学		ゲノム工学		生物資源利用学		熱・生命システム学		地域資源経済学		地域環境工学		地域環境管理学												
配属大学 国 籍	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	計			
	ネ パ ー ル																		1							1		1				
	バングラデシュ				1			1											1							2	1		3			
	スリランカ										1			1														2	2			
	ミャンマー						1																					1	1			
	タ イ														1											1		1				
	フィリピン									1	1				1											1	1	1	3			
	韓 国												1												1			1				
	中 国	3					1	1						2		1	1	3	1		1	3		1	1		1	10	8	1	2	21
	エジプト												1					1			1						1	1		1	3	
シエラレオネ												1																1	1			
小 計	3			1		2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	5	2		1	3		1	1	3		1	16	12	2	7	37
計		3		3		3		2		6		2		7		5		4		2												
合 計		9						10						7		11						37										

3 社会人学生在籍状況

(旧専攻)

平成 21 年 5 月 1 日現在

構成大学	生物生産科学			生物資源科学				生物環境科学			合 計
	植 物 生産学	動 物 生産学	農 林 経済学	生物機能 開発学	ゲノム 工 学	生 物 資源工学	生 物 資源化学	生 産 環境学	地 域 資源工学	環 境 管理学	
岩 手 大 学									1		1
弘 前 大 学											
山 形 大 学							1	1			2
帯広畜産大学											
合 計							1	1	1		3

(新専攻)

構成大学	生物生産科学			生物資源科学			寒冷圏生命 システム学	生物環境科学			合 計
	植 物 生産学	動 物 生産学	生 物 制御学	生物機能 開発学	ゲノム 工 学	生物資源 利 用 学		熱・生命 システム学	地域資源 経 済 学	地 域 環境工学	
岩 手 大 学	3	1		1	2	1	5	4	4	1	22
弘 前 大 学	1		1	1					1		4
山 形 大 学		1	1	1		3		3		1	10
帯広畜産大学			1		1	3	1		4	1	11
合 計	4	2	3	3	3	7	6	7	9	3	47

4 新入生の研究テーマと指導教員

平成 21 年度

平成 21 年 4 月入学

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員	
生物生産科学	植生学	岩手	チョウ張 シュンフン 春芬	女	リンゴの単為発生個体作出に関する研究	壽松木 章	小森 貞男	荒川 修		
	動物学	岩手	オオハシ大橋 シンゴ 真吾	男	ニホンジカ（Cervus nippon）がライオン（Panthera leo）排泄物を忌避する現象の解明とその応用	松原 和衛	出口 善隆	木村 直子		
		帯広畜産	ヤン ナイ Yan Naing スエ Swe	男	Regulatory effect of CCK on the nutritional changes of the plasma levels of appetite regulatory hormones in ruminant	桑山 秀人	門平 睦代	橋爪 力		
		帯広畜産	ゾウ 超 ホンチョン 紅瓊	女	Regulatory Mechanism of Ghrelin Secretion by Brain-gut Peptides in Ruminants	桑山 秀人	日高 智	小田 伸一		
		帯広畜産	ババ 馬場 トシミ 俊見	男	乳牛より推定される遺伝的パラメータに偏りをもたらす要因の究明	鈴木 三義	河合 正人	高橋壽太郎	増田 豊	
	生物制御学	帯広畜産	コザワ小澤 トオル 徹	男	耕種の防除法を組み入れた北海道の秋播きコムギにおける赤かび病の I P Mに関する研究	小池 正徳	三浦 秀穂	生井 恒雄		
		弘前	ムラマツ村松 ダイスケ 大輔	男	昆虫細胞の蛹コミットメントの分子生物学的研究	比留間 潔	石田 幸子	鈴木 幸一		
	生物資源科学	生物機能開発学	弘前	ゴトウ 後藤 マサシ 昌史	男	鮭鼻軟骨プロテオグリカンの飲用による皮膚老化改善効果のメカニズム解明	片方陽太郎	石黒 誠一	小嶋 道之	
			弘前	タヨネ TAYONE, ウィランフランコ Wilanfranco カバレロ Caballero	男	Isolation, Structure Elucidation and Biological Activities of Fungal Metabolites	橋本 勝	宮入 一夫	塩野 義人	
		ゲノム工学	弘前	シュ徐 ハイヤン 海燕	女	Basic and applied studies on phloem transport of GAI transcript in plants	原田 竹雄	石川 隆二	阿部 利徳	
弘前			セノオ 妹尾 ヒロシ 裕司	男	細胞性粘菌におけるオーガナイザーの役割	福澤 雅志	鮫島 正純	堤 賢一		
弘前			バイ白 ソンリン 松齡	男	Study on the development of cultivar improvement system by graft-transmissible gene silencing in horticultural plants	原田 竹雄	千田 峰生	三浦 秀穂		
生物資源利用学	帯広畜産	ミヤシタル ミコ 宮下留美子	女	植物スフィンゴ脂質の分析と食品機能性の解析	木下 幹朗	大西 正男	長澤 孝志			
	帯広畜産	ヤマザキ山崎 タミコ 民子	女	ナガイモの食品機能性、特に消化管に対する生理作用に関する研究	大西 正男	得字 圭彦	長澤 孝志			
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	弘前	リュウ劉 コウセイ 広成	男	メタン生成菌の動態と水田からのメタン発生制御に関する研究	杉山 修一	石田 清	岡田 益己	鳥丸 猛	
		岩手	シュイ徐 ベン 萍	女	昆虫関連物質による脳機能向上の開発研究	鈴木 幸一	安 嬰	倉持 勝久		
		岩手	リ李 ベン 斌	男	Characterization of the effect of glycinebetaine on the freezing tolerance of Arabidopsis thaliana suspension-cultured cells using genetic engineering approaches	上村 松生	河村 幸男	杉山 修一		
生物環境科学	地域資源経済学	弘前	リン林 シュエビン 学平	男	中国における大豆輸入の展開と大豆農家に対する影響分析	神田 健策	武田 共治	小沢 互		
		山形	イガラシユキエ 五十嵐幸枝	女	農業経営における戦略構築に関する研究	小沢 互	角田 毅	木下 幸雄		
		山形	オクヤマ奥山 ヒトシ 仁志	男	食料生産の持続可能性に関する研究	小沢 互	金 成学	神田 健策		

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員
生物環境科学	地域資源経済学	山形	ナンバ 難波 耕司	男	出羽三山の神仏分離－その政治地理学的考察－	岩鼻 通明	小沢 互	比屋根 哲	
	地域環境工学	弘前	ラ 羅 セン 藤	女	分光反射計測による生食用果実の打撲傷の検出に関する応用研究	張 樹槐	高橋 照夫	武田 純一	田中 紀充
		岩手	ウー 呉 シャンフア 香花	女	農林水産業に関わる文化的景観の保全・再生に関する研究	広田 純一	比屋根 哲	藤崎 浩幸	
		岩手	セキヤ 関矢 博幸	男	東北地域における低コスト水稻栽培・施肥管理技術に関する研究	武田 純一	河合 成直	高橋 照夫	
		帯広畜産	フクダ 福田 ナオト 尚人	男	自生植物を使用したのり面緑化に関する研究	辻 修	宗岡 寿美	東 信行	
	地域環境管理学	岩手	オウ 王 ショウメイ 暁明	男	国際交流が「持続可能な社会」のための人材養成に果たす役割	比屋根 哲	広田 純一	高橋 教夫	
		帯広畜産	サトウ 佐藤 タダン 忠	男	Difructose anhydride III の反芻動物における機能性研究	本江 昭夫	花田 正明	高橋 敏能	
		帯広畜産	ヒライ 平井 カツイ 克亥	男	農耕地景観における猛禽類の営巣環境とその保全	柳川 久	押田 龍夫	東 淳樹	

平成 21 年 10 月入学

専攻	連合講座	配属大学	氏名	性別	研究題目	主指導教員	第一副指導教員	第二副指導教員	補助教員
生物生産科学	動物生産学	岩手	ハルジャンティ HARJANTI, Dian Wahyu	女	The effect of tofu waste supplementation on protein metabolism in ruminants	佐野 宏明	喜多 一美	堀口 健一	
		岩手	カムル ZAMAN, Md	男	Effects of feeding garlic plants on nutrients metabolism in sheep	佐野 宏明	喜多 一美	松崎 正敏	
	生物制御学	山形	イワダテ 岩館 ヤスヤ 康哉	男	キュウリホモブシス根腐病の発生生態と防除に関する研究	生井 恒雄	長谷 修	坂本 裕一	
生物資源科学	ゲノム工学	岩手	カタオカ 片岡 ソノ 園	女	ホウレンソウの新規形質に関する遺伝育種学的研究	高畑 義人	横井 修司	原田 竹雄	
生物環境科学	地域環境工学	帯広畜産	ニシコオリ 錦織 マサトモ 正智	男	ササを用いたのり面緑化工の開発	武田 一夫	宗岡 寿美	野堀 嘉裕	
	地域環境管理学	帯広畜産	スズキ 鈴木 ケイ 圭	男	狭小林に生息するエゾモモンガの個体群構造の解明と保全対策	柳川 久	押田 龍夫	青井 俊樹	

第2章 学生の研究活動

公表論文等

1 生物生産科学専攻

(1) 植物生産学連合講座

【弘前大学】

葛西 智 (KASAI, Satoshi) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：荒川 修)

〈論文〉

- 1) Satoshi Kasai and Osamu Arakawa: Antioxidant levels in watercore tissue in 'Fuji' apples during storage, *Postharvest Biology and Technology*, 55 (2) : 103-107 (2010)

(2) 動物生産学連合講座

【岩手大学】

Alam, Mohammad Khairul 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：佐野 宏明)

〈学会口頭発表〉

- 1) Alam, M. K., Y. Ogata, Y. Sako, M. Al-Mamun, and H. Sano: Effects of rice straw diet on the intermediary metabolism of plasma acetic acid, glucose and protein in sheep. 日本畜産学会、日本畜産学会第 112 回大会講演要旨 p 20. (2010)

齋藤 文也 (SAITO, Fumiya) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：喜多 一美)

〈学会口頭発表〉

- 1) 齋藤文也：鶏卵におけるナンノクロロプシスとアスタキサンチンの影響：日本家禽学会。日本家禽学会誌 46 巻 秋季大会号 (2009)

安田 友美 (Yasuda, Tomomi) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：佐野 宏明)

〈学会口頭発表〉

- 1) 平久保友美、増田隆晴、多田和幸、魚住 順、佐野宏明：飼料用トウモロコシ栽培における牽引式不耕起播種機の作業性。日本草地学会、日本草地学会誌 56 (別) : 152. (2010)

大橋 真吾 (OHASHI, Shingo) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：松原 和衛)

〈ポスター発表〉

- 1) 大橋真吾・松原和衛・出口善隆・西 千秋・小藤田久義・辻本恒徳：肉食獣と草食獣の糞のニホンジカ (*Cervus nippon*) に対する忌避効果。第 15 回日本野生動物医学会大会。第

15 回日本野生動物医学会大会講演要旨集：81（2009）

2）西 千秋・大橋真吾・小藤田久義・出口善隆・斎藤岳季・辻本恒徳・瀬川典久・松原和衛：ニホンジカ（*Cervus nippon*）用ライオン（*Panthera leo*）排泄物由来忌避剤の大量精製とその効果．第 15 回日本野生動物医学会大会．第 15 回日本野生動物医学会大会講演要旨集：81（2009）

3）Shingo Ohashi・Norihisa Segawa・Takuya Sasaki・Kazuei Matsubara・Yoshitaka Deguchi・Hisayosi Kofujita・Tsunenori Tsujimoto・Takeki Saitou：Behavior evaluation of sika deer（*Cervus nippon*）by RFID system. WISP Summit 2009.（Berkeley, California, United States of America）

Harjanti, Dian Wahyu 平成 21 年度 10 月入学（主指導教員：佐野 宏明）

〈学会口頭発表〉

1）Harjanti, D. W., Y. Sugawara, M. Al-Mamun, and H. Sano：Effect of tofu waste silage supplementation on body protein metabolism in sheep. 日本畜産学会、日本畜産学会第 112 回大会講演要旨 p 20.（2010）

Kamruzzaman, Md 平成 21 年度 10 月入学（主指導教員：佐野 宏明）

〈学会口頭発表〉

1）Kamruzzaman, Md., A. Torita, Y. Sato, M. Al-Mamun, and H. Sano：Effect of garlic silage on plasma leucine turnover rate, whole body protein synthesis and degradation in sheep. 日本畜産学会、日本畜産学会第 112 回大会講演要旨 p 20.（2010）

【山形大学】

田川 伸一（TAGAWA, Shin-ichi）平成 20 年度 4 月入学（主指導教員：高橋 敏能）

〈学会口頭発表〉

1）田川伸一・堀口健一・吉田宣夫・高橋敏能：リードカナリーグラス発酵 TMR の発酵品質に及ぼす豆腐粕、みかんジュース粕、トウモロコシジスチラーズグレインソリュブルおよび酵素の利用の影響、東北畜産学会、東北畜産学会報、59：31（2009）

【帯広畜産大学】

渡部 浩之（WATANABE, Hiroyuki）平成 18 年度 4 月入学（主指導教員：福井 豊）

〈論文〉

- 1）Watanabe H, Okawara S, Bhuiyan MMU, Fukui Y：Effect of lycopene on cytoplasmic maturation of porcine oocytes in vitro, *Reproduction in Domestic Animals*, in press.
- 2）Watanabe H, Suzuki H, Fukui Y：Fertilizability, developmental competence and chromosomal integrity of oocytes microinjected with pre-treated spermatozoa in mice, *Reproduction*, 139（3）：513-521（2010）.

- 3) Watanabe H, Akiyama J, Bhuiyan MMU, Fukui Y : Enhanced oocyte activation by intracytoplasmic injection of porcine spermatozoa pre-treated with dithiothreitol, Journal of Mammalian Ova Research, 26 (1) : 54-60 (2009).
- 4) Watanabe H, Asano T, Abe Y, Fukui Y, Suzuki H : Pronuclear formation of freeze-dried canine spermatozoa microinjected into mouse oocytes, Journal of Assisted Reproduction and Genetics, 26 (9-10) : 531-536 (2009).

〈ポスター発表〉

- 1) 渡部浩之、鈴木 宏、立野裕幸、福井 豊 : マウス融合卵を用いた精子染色体分析法の確立、日本繁殖生物学会、Journal of Reproduction and Development, vol.55 (Suppl.) : j151 (2009).

趙 紅瓊 (ZHAO, Hong Qiong) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員 : 桑山 秀人)

〈論文〉

- 1) Hongqiong Zhao : Involvement of Endothelin B Receptors in the Endothelin-3-induced Increase of Ghrelin and Growth Hormone in Holstein Steers. Peptides. doi : 10.1016/j.peptides.2010.02.005 ; Best regards.

〈学会口頭発表〉

- 1) 趙 紅瓊 : 反芻動物におけるエンドセリン-3 (ET-3) によるグレリン、GH 放出の用量依存性 . 日本畜産学会第 111 回大会講演要旨 .2009 年 9 月 28 日～29 日 : 72

馬場 俊見 (BABA, Toshimi) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員 : 鈴木 三義)

〈学会口頭発表〉

- 1) 馬場俊見・橋本優子・清水知佳・増田 豊・鈴木三義 : 乳用種雄牛評価値を利用した産乳形質に関する遺伝と環境の相互作用の検討 . 日本畜産学会 . 日本畜産学会第 111 回大会講演要旨 : 36 (2009)
- 2) 大石 幸・南條正昭・馬場俊見・増田 豊・口田圭吾 : 乳用交雑種集団における枝肉格付形質ならびに画像解析形質の遺伝的パラメータの推定 . 日本畜産学会 . 日本畜産学会第 111 回大会講演要旨 : 38 (2009)
- 3) 馬場俊見・増田 豊・鈴木三義 : MUN、乳蛋白質率ならびに空胎日数間の各泌乳ステージにおける遺伝的関連 . 日本畜産学会 . 日本畜産学会第 112 回大会講演要旨 : 56 (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) T Baba・Y Masuda・Y Goto・M Suzuki : Genetic parameters and breeding values estimated under heterogeneous variances of 2 groups for type records of Holstein cows in Japan. Journal of Dairy Science, 92 (Suppl. 1) : 202 (2009). (カナダ)

Yan Naing Swe 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員 : 桑山 秀人)

〈学会口頭発表〉

- 1) ヤンナイスエ : 脂肪酸給餌ホルスタイン去勢牛への、グレリン、コレシストキニン (CCK) 投与による血漿ホルモン濃度変化 . 日本畜産学会 . 日本畜産学会 112 回大会

(3) 生物制御学連合講座

【弘前大学】

赫 英紅 (HE, Yinghong) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：佐野 輝男)

〈学会口頭発表〉

- 1) 赫 英紅：リンゴ葉圏微生物群モニタリングのための真菌・細菌マクロアレイ解析、日本植物病理学会東北部会、日本植物病理学会報第 76 巻：47 (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) 赫 英紅：異なる病害虫管理条件下で栽培されたリンゴ樹の葉圏微生物相の多様性の比較解析 (2008 年)、日本植物病理学会、日本植物病理学会報 第 75 巻：244 (2009)

【帯広畜産大学】

NAVARRETE, Ian Auza 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：筒木 潔)

〈論文〉

- 1) Navarrete IA, Tsutsuki K, Navarrete RA (2010). Humus composition and structural characteristics of humic substances in soils under different land uses in Leyte, Philippines. *Soil Science and Plant Nutrition*. DOI 10.1111/j. 1747-0765. 2010. 00455. x.
- 2) Susaya JP, Kim KH, Asio VB, Chen ZS, Navarrete IA (2009). The status of nickel accumulation in soils and plants in an ultramafic area in the Philippines. *Environmental Monitoring Assessment*. DOI 10.1007/s10661-009-1067-6.
- 3) Navarrete IA, Macalde, SO, Asio VB (2009). Nutrient characteristics of aggregates and rhizosphere of a degraded upland : implication for soil fertility evaluation. *Annals of Tropical Research* 31 : 90-102.
- 4) Asio, VB, Perez FO, Jahn R, Navarrete IA (2009) . A review of soil degradation in the Philippines. *Annals of Tropical Research* 31 : 210-230.
- 5) Navarrete IA, Tsutsuki K, Asio VB, Kondo R (2009). Characteristics and formation of rain forest soils derived from late Quaternary basaltic rocks in Leyte, Philippines. *Environmental Geology* 58 : 1257-1268.

〈学会口頭発表〉

- 1) Navarete IA, Tsutsuki K. (2009). Chemical and spectroscopical properties of hydrophilic soil fulvic fraction purified by tangential flow ultrafiltration. *Annual Meeting, Japanese Society of Soil Science and Plant Nutrition*. September 15-17, 2009, Kyoto, Japan.

〈ポスター発表〉

- 1) Navarete IA, Tsutsuki K. (2009). Humus composition and structural characteristics of humic substances in soils under different land uses : an example from Leyte, Philippines. *9th International Conference of the East and Southeast Asian Federation of Soil Science*. October 27-30, 2009, Seoul, Korea.

小澤 徹 (KOZAWA, Toru) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：小池 正徳)

〈論文〉

- 1) 小澤 徹・相馬 潤・三浦秀穂・小池正徳：コムギ赤かび病防除薬剤のデオキシニバレノール汚染低減効果に対する評価：北日本病害虫研究会報、60：35-40 (2009)

2 生物資源科学専攻

(1) 生物機能開発学連合講座

【弘前大学】

佐藤 孝太 (SATO, Kota) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員：石黒 誠一)

〈学会口頭発表〉

- 1) 佐藤孝太：網膜色素変性モデル RCS ラットの網膜変性におけるカルパインの関与、日本動物学会東北支部大会 (2009 年 8 月、仙台)
- 2) 佐藤孝太：RPE65 ノックアウトマウスにおける異常な S 型 - 錐体オプシンの蓄積、第 80 回日本動物学会全国大会 (2009 年 9 月、静岡)

〈ポスター発表〉

- 1) 佐藤孝太：RPE65 ノックアウトマウスにおける錐体オプシンおよびロドプシンの発現と局在、第 113 回日本眼科学会 (2009 年 4 月、東京)

(2) ゲノム工学連合講座

【岩手大学】

片岡 園 (KATAOKA, Sono) 平成 21 年度 10 月入学 (主指導教員：高畑 義人)

〈論文〉

- 1) 由比 進、石井孝典、藤野雅丈、矢ノ口幸夫、片岡 園、石内傳治、内海敏子、松永 啓、沖村 誠、川頭洋一：高リコペン性の支柱栽培用「とまと中間母本農 10 号」の育成とその特性、育種学研究、11：95-99 (2009)
- 2) Masanori Honjo, Sono Kataoka, Susumu Yui, Masami Morishita, Miyuki Kunihiisa, Takayoshi Yano, Megumi Hamano, Hiromichi Yamazaki : Maternal lineages of the cultivated strawberry, *Fragaria × ananassa*, revealed by chloroplast DNA Variation. *HortScience*, 44 : 1562-1565 (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) 山田圭太、由比 進、東野裕広、本城正憲、片岡 園、板木利隆：閉鎖型苗によるトマトの簡易・一段密植養液栽培システムの確立と実証 (第 4 報) 根域冷却による高品質化技術の実用性評価、園芸学会平成 21 年度秋季大会、園芸学研究 8 (別 2) : 264 (2009)
- 2) 由比 進、北本尚子、片岡 園、本城正憲：長日要求性の‘つけな中間母本農 2 号’を利

用したハクサイ晩抽性育種（第1報）寒冷地の晩秋播きによる選抜、園芸学会平成22年度春季大会、園芸学研究9（別1）：112（2010）

〈ポスター発表〉

- 1) 片岡 園、本城正憲、由比 進：寒締めホウレンソウの食味における品種間差について、園芸学会平成21年度秋季大会、園芸学研究8（別2）：450（2009）
- 2) 本城正憲、片岡 園、由比 進、森下昌三、國久美由紀、矢野孝喜、濱野 恵、山崎浩道：葉緑体DNAを指標としたイチゴの種内変異の分析、育種学会平成21年度秋季大会、育種学研究11（別2）：335（2009）

【弘前大学】

倉内 佑（KURAUCHI, Tasuku）平成20年度4月入学（主指導教員：千田 峰生）

〈論文〉

- 1) Tasuku Kurauchi, Takuro Matsumoto, Akito Taneda, Teruo Sano and Mineo Senda : Endogenous short interfering RNAs of chalcone synthase genes associated with inhibition of seed coat pigmentation in soybean. Breeding Science 59 : 419-426 (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) 倉内 佑・千田峰生：黄ダイズにおけるGmIRCHSに由来するCHS二本鎖RNAの組織特異性に関する解析、日本育種学会第116回講演会育種学研究11（別2）：75（2009）

【山形大学】

KAMARA, Joseph Sherman 平成18年度10月入学（主指導教員：阿部 利徳）

〈論文〉

- 1) J. S. Kamara, M. Hoshino, Y. Satoh, N. Nayar, M. Takaoka, T. Sasanuma and T. Abe : Japanese Sake-brewing rice cultivars show high levels of globulin-like protein and achloroplast stromal HSP70. Crop Science, 49 (6) : 2189-2206 (2009)
- 2) J. S. Kamara, S. Konishi, T. Sasanuma and T. Abe : Variation in free amino acid profile among some rice (Oryza sativa L.) cultivars. Breeding Science, in press

〈学会口頭発表〉

- 1) J. S. Kamara, T. Sasanuma, T. Abe : Comparison of soluble sugar and free amino acid concentration among rice cultivars. 日本育種学会第115回講演要旨集、11（別2）144. (2009)

【帯広畜産大学】

佐藤 三佳子（SATO, Mikako）平成19年度10年度入学（主指導教員：三浦 秀穂）

〈学会口頭発表〉

- 1) 田澤暁子・小倉玲奈・藤田正平・佐藤 仁・島田尚典・青山 聡・佐藤三佳子：アズキ茎疫病圃場抵抗性系統の作出、日本育種学会・日本作物学会北海道談話会、日本育種学会・日

本作物学会北海道談話会会報（印刷中）

〈ポスター発表〉

- 1) 保木健宏・金谷良市・斉藤 渉・高橋 進・木原 誠・田中常喜・佐藤三佳子・宮本裕之・吉村康弘・池永充伸・浅山 聡・林 勝弘：北海道における高品質ビール大麦新品種候補「北育 41 号」と β -グルカン高含有食用大麦系統の育成、日本育種学会、育種学研究 11 (別 2) : 259 (2009)

(3) 生物資源利用学連合講座

【岩手大学】

田山 一平 (TAYAMA, Ippei) 平成 18 年度 4 月入学 (主指導教員：塚本 知玄)

〈著書〉

- 1) Nozomi Honda, Chigen Tsukamoto, Yuko Maehara, Ippei Tayama, Keisuke Kitamura, Ram J. Singh, and Gyuhwa Chung : Saponin composition of Glycine soja (Sieb. & Zucc.) mutants having new soyasapogenol aglycones and geographical distribution in South Korea. In : Proceeding CD for World Soybean Research Conference VIII. Beijing, China. (Electronic Press, No Pages). (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) Honda, N., Tsukamoto, C., Maehara, Y., Tayama, I., Kitamura, K., Singh, Ram. J. and Chung, G-H : Saponin composition of Glycine soja (Sieb. & Zucc.) mutants having new soyasapogenol aglycones and geographical distribution in South Korea. World Soybean Research Conference VIII. Abstracts of World Soybean Research Conference VIII : 114 (2009). (Beijing, China)
- 2) 田山一平、石黒貴寛、佐藤史華、大内りえ、小野伴忠、喜多村啓介、塚本知玄：日本の大豆遺伝コレクションのフィチン酸含量。日本食品科学工学会、日本食品科学工学会第 56 回大会講演集：140 (2009)。
- 3) 大水洋平、塚本知玄、笹間博子、藤野加奈子、田山一平、石本政男、喜多村啓介、島田和子：大豆 DDMP サポニンの過酸化反応による分解。日本食品科学工学会、日本食品科学工学会第 56 回大会講演集：140 (2009)。
- 4) 藤野加奈子、小山祐紀子、久保田愛美、大水洋平、田山一平、羽鹿牧太、塚本知玄、島田和子：豆腐製造における DDMP サポニン、グループ B サポニン及びマルトールの量的変化。日本食品科学工学会、日本食品科学工学会第 56 回大会講演集：140 (2009)。
- 5) 大水洋平、塚本知玄、笹間博子、藤野加奈子、田山一平、石本政男、喜多村啓介、島田和子：大豆加工食品中の香気成分マルトール生成量を制御する要因。種子生理生化学研究会、第 30 回種子生理生化学研究会講演要旨集：10-11 (2009)。
- 6) 高田吉丈、田山一平、佐山貴司、笹間博子、猿田正恭、岡部昭典、菊池彰夫、塚本知玄、石本政男：ダイズ種子サポニンの C-3 位結合糖鎖組成に関する遺伝的変異の解析。日本育種学会、日本育種学会第 117 回講演要旨集：(2010)

〈ポスター発表〉

- 1) Tayama, I., Ishiguro, T., Sato, F., Ouchi, R., Kitamura, K., Ono, T. and Tsukamoto, C. (2009) . Phytic acid content in seeds of soybeans, *Glycine max* [(L.) Merr.], among germplasm collections of Japan. Abstracts of World Soybean Research Conference VIII, August 10-15, 2009, Beijing, China : 103.
- 2) Omizu, Y., Tsukamoto, C., Sasama, H., Fujino, K., Tayama, I., Ishimoto, M., Kitamura, K. and Shimada, K. Degradative reaction of DDMP saponin bg by lipoxygenases in soybean seeds. Abstracts of World Soybean Research Conference VIII, August 10-15, 2009, Beijing, China : 103.
- 3) Tatsuzaki, N., Tayama, I., Takada, Y., Kikuchi, A., Ishimoto, M., Kitamura, K. and Tsukamoto, C. Effects of the genes controlling saponin composition polymorphism on saponin contents in soybean seed hypocotyls. Abstracts of World Soybean Research Conference VIII, August 10-15, 2009, Beijing, China : 119-120.

油井 信弘 (ABURAI, Nobuhiro) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：木村 賢一)

〈論文〉

- 1) Aburai, N., Yoshida, M., Ohnishi, M., Kimura, K. : Pisiferdiol and pisiferic acid isolated from *Chamaecyparis pisifera* activate protein phosphatase 2C in vitro and induce caspase-3/7-dependent apoptosis via dephosphorylation of Bad in HL60 cells. *Phytomedicine*, in press (2010)
- 2) Aburai, N., Yoshida, M., Ohnishi, M., Kimura, K. : Sanguinarine as a potent and specific inhibitor of protein phosphatase 2C in vitro and induces apoptosis via phosphorylation of p38 in HL60 cells. *Bioscience Biotechnology Biochemistry*, 74, 548-552 (2010)
- 3) Shiono, Y., Yokoi, M., Koseki, T., Murayama, T., Aburai, N., Kimura, K. : A new α -pyrone metabolite with potent cytotoxicity from an endophytic fungus, *Allantophomopsis lycopodina* KS-97. *J. Antibiotics*, in press (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 倉知建始・吉田真実・油井信弘・木村賢一・長谷川森一・池原 強・禹 濟泰・永井和夫・大西素子：破骨細胞分化に対する Pisiferdiol の作用. 第 27 回日本骨代謝学会学術集会、要旨集 (2009)
- 2) 佐藤美穂・広浜美香子・油井信弘・伊藤昭博・吉田 稔・木村賢一：メハジキに含まれるタンパク質の SUMO 化阻害剤の単離精製と生物活性. 日本農芸化学会東北支部第 144 回大会、要旨集 (2009)

〈ポスター発表〉

- 1) 油井信弘・吉田真実・大西素子・木村賢一：PP2C 活性化物質 Pisiferdiol と阻害物質 Sanguinarine の生物活性. 日本ケミカルバイオロギー学会第 4 回年会、要旨集 (2009)
- 2) Aburai, N., Yoshida, M., Tokichi, M., Ohnishi, M., Kimura, K. : Biological activities of PP2C activator pisiferdiol and inhibitor sanguinarine toward cancer cells and mutant yeast. The 25nd NAITO CONFERENCE on Chemical Biology [2], (2009)

陳 業明 (CHEN, Yeming) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：小野 伴忠)

〈論文〉

- 1) Yeming Chen, Shinsuke Yamaguchi, and Tomotada Ono. : Mechanism of the chemical composition changes of yuba prepared by a laboratory processing method. *J. Agric. Food Chem.* 2009, 57, 3831-3836.
- 2) Yeming Chen, Takahiro Ishiguro, Tomotada Ono. : The Stability Mechanism of Protein by Heating in Soymilk Processing. *8th World Soybean Research Conference* (Beijing 2009) *paper collection*.
- 3) Book chapter : Yeming Chen, Tomotada Ono (2009). Soybean oil body. in : Everything of soybean. (In Japanese, in press).

〈学会口頭発表〉

- 1) 陳 業明 : The Stability Mechanism of Protein by Heating in Soymilk Processing ; 第八回世界大豆研究大会 (北京、8 月)
- 2) 陳 業明 : 湯葉形成における oil body とタンパク質の役割 ; 日本食品科学工学会 (名古屋、9 月)
- 3) 陳 業明 : 豆乳中粒子状タンパク質の構造と湯葉形成における役割 ; 日本農芸化学会 (盛岡、11 月) :

吉田 潤 (YOSHIDA, Jun) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：木村 賢一)

〈論文〉

- 1) Siriluck Attrapadung, Jun Yoshida, Ken-ichi Kimura, Masaki Mizunuma, Tokichi Miyakawa, BenJamas Wongsatayanon Thanomsub : Identification of ricinoleic acid as an inhibitor of Ca²⁺ signal mediated cell-cycle regulation in budding yeast. *FEMS Eeast Research*, 10 : 38-43 (2010)
- 2) Yoshihito Shiono, Ayumi Nitto, Keiko Shimanuki, Takuya Koseki, Tetsuya Murayama, Tokichi, Miyakawa, Jun Yoshida, Ken-ichi Kimura : A new benzoxepin metabolite isolated from endophytic fungus *Phomopsis* sp. *The Journal of Antibiotics*, 62 : 53-535 (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) 吉田 潤、Attrapadung Siriluck、Thanomsub Benjamas、宮川都吉、木村賢一 : Ca²⁺ シグナル伝達阻害物質 Ricinoleic acid の標的分子の解析. 日本農芸化学会、日本農芸化学会大会講演要旨集 (2010・東京)、p.267 (2010)
- 2) 南川裕樹、小笠原由紀子、吉田 潤、新田久夫、宮川都吉、越野広雪、木村賢一 : 中生代 (8500 万年前) の久慈琥珀由来の新規 Ca²⁺ シグナル伝達阻害物質について. 日本農芸化学会、日本農芸化学会大会講演要旨集 (2010・東京)、p.266 (2010)

〈ポスター発表〉

- 1) 吉田 潤、宮川都吉、木村賢一 : Ca²⁺ シグナル伝達に関わる遺伝子変異酵母の阻害剤に対する表現型と標的分子との関連性. 日本ケミカルバイオロジー学会、日本ケミカルバイオロジー学会第 4 回年会抄録集、p.137 (2009)

【山形大学】

松田 諭 (MATSUDA, Satoru) 平成 18 年度 10 月入学 (主指導教員：貫名 学)

〈論文〉

- 1) Matsuda Satoru, Adachi Kyoko, Matsuo Yoshihide, Nukina Manabu, Shizuri Yoshikazu : Salinisporamycin, a novel metabolite from Salinispora arenicola. The Journal of Antibiotics, 62 (9) : 519-526 (2009)

【帯広畜産大学】

安田 久美 (YASUDA, Kumi) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：弘中 和憲)

〈論文〉

- 1) 安田久美：酢酸化分級馬鈴薯澱粉の物理化学特性. 日本応用糖質科学会誌、56 : pp229-234 (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) 安田久美：品種の異なる酢酸化馬鈴薯澱粉の物理化学特性. 日本応用糖質科学会. 日本応用糖質科学会講演要旨集、56 : p32 (2009)

3 寒冷圏生命システム学専攻

(1) 熱・生命システム学連合講座

【岩手大学】

柴崎 杏平 (SHIBASAKI, Kyohei) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：上村 松生)

〈著書〉

- 1) Kyohei Shibasaki, Matsuo Uemura, Seiji Tsurumi and Abidur Rahman. Auxin response under cold stress : underlying molecular mechanism. Plant Cell 21 : 3823-3838 (2009)

〈学会口頭発表〉

- 1) Kyohei Shibasaki, Matsuo Uemura, Seiji Tsurumi and Abidur Rahman (2009) . Auxin response in cold stress and underlying mechanism. Annual meeting of Botanical Society of Japan. Yamagata

〈ポスター発表〉

- 1) Kyohei Shibasaki, Matsuo Uemura, Seiji Tsurumi and Abidur Rahman (2009) Auxin response under cold stress : underlying molecular mechanism. Annual meeting of American Society of Plant Biologists. Honolulu, USA
- 2) Abidur Rahman, Maho Takahashi, Kyohei Shibasaki, Wu shuang, Seiji Tsurumi and Tobias Baskin (2009). Transcytosis of PIN2 in Arabidopsis is regulated by protein phosphatase 2A and PID kinase. Annual meeting of American Society of Plant Biologists.

Honolulu, USA

中出 啓子 (NAKADE, Keiko) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：寺内 良平)

〈ポスター発表〉

- 1) 中出啓子、坂本裕一、渡辺久敬、佐藤利次：Inverted repeat 配列発現によるシイタケ (*Lentinula edodes*) ラッカーゼ遺伝子 (*lcc 1*) の発現抑制、第 9 回糸状菌分子生物学コンファレンス

〈出願中特許〉

- 1) 発明者氏名；中出啓子、中川裕子、坂本裕一、菊地明香、木村亜希子、矢野 明
発明の名称；高酸化還元電位型ラッカーゼの生産方法
特許出願番号；2009-295057
出願日；2009 年 12 月 25 日

【弘前大学】

大久保 敦史 (OKUBO, Astushi) 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：杉山 修一)

〈論文〉

- 1) Atsushi Okubo, Shu-ichi Sugiyama : Compariso of molecular fingerprinting method for analysis of mirobila community structure. Ecological research、24 : 1339-1405 (2009)

〈ポスター発表〉

- 1) 大久保敦史、杉山修一：土壤微生物群集構造解析における DNA フィンガープリント法の比較、土壤微生物学会、2009 年度大会、講演要旨集 P. 24 (2009)

北村 浩二 (KITAMURA, Koji) 平成 20 年度 4 月入学 (主指導教員：赤田 辰治)

〈ポスター発表〉

- 1) 北村浩二、赤田辰治、殿内暁夫：水田土壌における栄養共生プロピオン酸酸化細菌の MPN-PCR-DGGE 解析、日本微生物生態学会、第 25 回 日本微生物生態学会講演要旨集：63 (2009)

4 生物環境科学専攻

(1) 地域資源経済学連合講座

【岩手大学】

茅根 敦夫 (CHINONE, Atuo) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員：木下 幸雄)

〈論文〉

- 1) 茅根敦夫・木村伸男：成長事例にみる移植水稻作の収益性と生産性の関係 - 多数臨時雇用者利用段階を経た企業経営事例について、農業経営研究、47 (2) : 79-84 (2009)

- 2) 茅根敦夫, 木村伸男: 成長事例にみる移植水稻作の収益性と生産性の関係, 農業経営研究, 47-2, 79-84 (2009)

楊 秀玉 (YANG, XIU Yu) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員: 木下 幸雄)

〈学会口頭発表〉

- 1) 楊 秀玉・木村伸男: 後継者の能力開発・人材育成に対する農業経営者の認識と行動, 東北農業経済学会, 第 45 回東北農業経済学会報告要旨集, 71 (2008)

【山形大学】

難波 耕司 (NAMBA, Koji) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員: 岩鼻 通明)

〈論文〉

- 1) 難波耕司・岩鼻通明: 神仏習合の構造, 村山民俗, 第 23 号, 79-87 (2009)

〈書籍紹介〉

- 1) 難波耕司・岩鼻通明: 紹介「資料集ゆくてのすさび 羽黒山日記」, 山形民俗, 第 23 号, 87-88 (2009)

(2) 地域環境工学連合講座

【岩手大学】

高井 和彦 (TAKAI, Kazuhiko) 平成 18 年度 4 月入学 (主指導教員: 三輪 式)

〈論文〉

- 1) 高井和彦, 三輪 式: 堰下流河床洗掘の発生メカニズムと深掘れ軽減対策, 農業農村工学会誌, 78 (1): 49-52 (2010)

〈学会口頭発表〉

- 1) 高井和彦, 三輪 式: 水路実験による堰下流護床工の洗掘軽減効果の検討, 農業農村工学会, 応用水理研究部会講演集, 1-6

〈ポスター発表〉

- 1) 高井和彦, 三輪 式: 堰下流河床洗掘に対する護床工設置効果の実験的検討, 農業農村工学会大会講演会

田島 正廣 (TAJIMA, Masahiro) 平成 20 年度 10 月入学 (主指導教員: 三輪 式)

〈著書〉

- 1) 田島正廣: 世界の統合的水資源管理(水資源・環境学会叢書 7)、(株)みらい、岐阜 667p.(2009 年 5 月)

〈論文〉

- 1) 田島正廣, 石井 敦, 三輪 式: 水田用水の番水技術の実態と論理, 農業農村工学会誌, 第 77 巻第 7 号: 560-562 (2009 年 7 月)

- 2) 田島正廣、石井 敦、三輪 式、千谷小百合：水田用水の異常渇水対策としての「番水」の論理と実態、東北地域災害研究、第 45 巻：163-168 (2009 年 3 月)

関矢 博幸 (SEKIYA, Hiroyuki) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：武田 純一)

〈論文〉

- 1) 関矢博幸・土屋一成・大谷隆二・河本英憲：飼料用イネ向けの簡易な硫安の流入施肥技術，東北農業研究，62：35-36，(2010)
- 2) 関矢博幸：飼料用稲向けの簡易な硫安の流入施肥技術，機械化農業，2010 (2)：16-19，(2010)

【弘前大学】

MAHARJAN, Gauri 平成 19 年度 4 月入学 (主指導教員：高橋 照夫)

〈論文〉

- 1) MAHARJAN Gauri. 高橋照夫. 張 樹槐：Web 診断のための画像特徴を利用したイネ病気の判別・分類に関する研究、農業機械学会誌、印刷中

〈学会口頭発表〉

- 1) MAHARJAN Gauri. 高橋照夫. 張 樹槐：画像特徴を利用した作物病気の分類と Web 検索に関する研究，画像処理を用いたイネ病気の Web 判別法について，農業環境工学関連学会，農業環境工学関連学会 2009 年合同大会講演要旨集，CD：(2009)
- 2) MAHARJAN Gauri.TAKAHASHI Teruo. ZHANG Shu-Huai：Classification of Image Patterns Using SVM for Web-based Diagnosis of Rice Diseases. Joint International Agricultural Conference (JIAC 2009 Beijing), Proc. International Conference on Computer and Computing Technologies in Agriculture (3rd CCTA)：(2009)

羅 セン (LUO, Xuan) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：張 樹槐)

〈学会口頭発表〉

- 1) 羅 セン：Bruise detection on 'Fuji' apples by VIS/NIR spectroscopy. 農業環境工学関連学会 2009 年合同大会、農業環境工学関連学会 2009 年合同大会要旨集：140 (2009)
- 2) LUO Xuan：A new method for bruise detection of apples by hyperspectral imaging. The 3rd Asian Conference on Precision Agriculture (ACPA) . Book of abstracts of joint international agricultural conference：59-60 (2009). (China)

〈ポスター発表〉

- 1) 羅 セン： Study on the bruise detection of 'hakuhou'peaches by VIS/NIR spectroscopy. 農業機械学会東北支部大会、研究発表会要旨集：33-34 (2009)

【帯広畜産大学】

原田 裕介 (HARADA, YUusuke) 平成 18 年度 4 月入学 (主指導教員：土谷 富士夫)

〈論文〉

- 1) 原田裕介・土谷富士夫・武田一夫・宗岡寿美：長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性．雪氷学会誌，71，241-251（2009）．

〈ポスター発表〉

- 1) 原田裕介，土谷富士夫，武田一夫，宗岡寿美：長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性—凍土消失日とその長期傾向の推定—，日本雪氷学会、雪氷研究大会（2009・札幌）講演要旨集：71（2009）

〈学会賞等〉

- 1) 原田裕介：雪氷研究大会（2009・札幌）優秀発表賞、平成 21 年 10 月 1 日

福田 尚人（FUKUDA, Naoto）平成 21 年度 4 月入学（主指導教員：辻 修）

〈学会誌投稿〉

- 1) 福田尚人：特集「地域性種苗の供給の最前線」北海道の緑化用自生種種子の採取と調整、日本緑化工学会誌、34（4）、597-602、（2009）

〈学会賞〉

- 1) 福田尚人、吉原 廣：農業農村工学会優秀技術リポート賞、平成 21 年 8 月 4 日
「もやいドレーンマットと自生種植生を組み合わせた寒冷地法面の土壌侵食防止工法」

(3) 地域環境管理学連合講座

【岩手大学】

森澤 猛（MORISAWA, Takeshi）平成 19 年度 10 月入学（主指導教員：橋本 良二）

〈論文〉

- 1) 森澤 猛、杉田久志、橋本良二、赤井龍男：空中写真から解析した木曽地方三浦実験林のヒノキ帯状皆伐天然更新試験地におけるササおよび更新木樹冠被覆の 36 年間の変遷．日本林学会誌、92（1）：22-28（2010）
- 2) 森澤 猛、杉田久志、橋本良二：木曽ヒノキの天然更新について（Ⅴ）－伐採 37 年後の林分の評価の試み－．中部森林研究、58：59-60（2010）

〈学会口頭発表〉

- 1) 森澤 猛、杉田久志、橋本良二：木曽ヒノキの天然更新について（Ⅴ）－伐採 38 年後の林分の評価の試み－、日本林学会中部支部会、第 58 回日本森林学会中部支部大会研究発表会講演要旨集：19（2009）

〈ポスター発表〉

- 1) 湯本沙織、橋本良二、森澤 猛、白旗 学：ヒバとヒノキ葉における培地栄養条件に対する光合成色素組成変化パターンのちがい、東北森林科学会、東北森林科学会第 14 回大会講演要旨集：別紙（2009）
- 2) 安田幸生、齋藤武史、星野大介、小野賢二、大谷義一、溝口康子、森澤 猛：安比高原ブナ二次林における生態系 CO₂ 交換量の年々変動、農業環境工学関連学会、農業環境工学関

連学会 2009 年合同大会講演要旨集：A64 (CD-ROM) (2009)

- 3) 櫃間 岳、太田敬之、杉田久志、森澤 猛、八木橋勉：ヒバ前生稚樹密度がヒバ林択伐後の更新成否に与える影響、日本生態学会、日本生態学会第 57 回全国大会講演要旨集：P1-130 (2010)

【帯広畜産大学】

佐藤 忠 (SATO, Tadashi) 平成 21 年度 4 月入学 (主指導教員：本江 昭夫)

〈論文〉

- 1) 佐藤 忠・中井朋一・大谷昌之・佐渡谷裕朗・菊地裕人：乳牛の分娩時低カルシウム血症に及ぼす DFA III の給与効果に関する一連の研究、北海道畜産学会報、52 巻 (2010, in Press)

〈ポスター発表〉

- 1) 佐藤 忠・中井朋一・大谷昌之・佐渡谷裕朗・寺村 誠・花田正明・本江昭夫・岡本明治：分娩牛の血中カルシウム濃度変化と、副甲状腺ホルモンおよび活性型ビタミン D 濃度の動態、北海道畜産学会、第 64 回大会講演要旨、P25 (2009)

〈特許〉

- 1) 佐藤 忠・中井朋一・仙波美博・佐渡谷裕朗・重松典宏・奥原康英、家畜動物用予防及び／又は治療剤、特許第 4428553 号、登録日 平成 21 年 12 月 25 日

〈学会賞〉

- 1) 佐藤 忠・中井朋一・大谷昌之・佐渡谷裕朗・菊地裕人：北海道畜産学会賞
受賞対象業績の題名：乳牛の分娩時低カルシウム血症に及ぼす DFA III の給与効果に関する一連の研究 (2009.9.8)

第3章 学位授与者と修了後の進路

平成21年度

【課程博士】

平成21年3月31日

学位記 番号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 470	生物生産科学	植 物 生産学	ベッショ ヒデオ 別所 英男 (岩手大学)	壽松木 章 (岩手大学)	リンゴ属植物の開花特性解析による授粉専用 品種の選抜と利用技術に関する研究 (Selection and utilization of crabapple pollinizers by analysis of flowering charac- teristics of <i>Malus</i> species)	農研機構果樹研究 所企画管理部 研 究調整役
連研 471		動 物 生産学	ニシモト ヒロミ 西本 博美 (帯広畜産大学)	手塚 雅文 (帯広畜産大学)	Glycolysis in bovine follicles and corpora lutea: Physiological roles and its regulation (ウシ卵胞および黄体における解糖系：生理 的役割とその調節)	(株) 新日本科学 開発職
連研 472		生 物 制御学	リ コウチン 李 香珍 (帯広畜産大学)	谷 昌幸 (帯広畜産大学)	牛ふん尿堆肥に含まれる水溶性腐植物質の構 造と機能 (Structural properties and function of water-soluble humic substances in cattle manure)	未定
連研 473		寒 冷 圏生 命シ ステム学 熱 生 シ ステム学	ビョウ チュンフン 朴 春紅 (岩手大学)	鈴木 幸一 (岩手大学)	中国産アカアリ由来の生物活性物質の同定と 機能解析 (Identification and function of biologically active agents from Chinese medicinal ant <i>Formica aquilonia</i>)	吉林農業大学講師

【課程博士】

平成21年9月25日

学位記 番号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 474	生物資源科学	生物機能開発学	コダマ ユミコ 兒玉裕美子 (山形大学)	上木 勝司 (山形大学)	石油汚染環境に生息する微生物の生理、生態 および系統分類に関する研究 (Physiology, ecology and phylogeny of microorganisms in petroleum-contaminated environments.)	東京大学先端科学 技術研究センター 特任研究員
連研 475			ヤマモト カズノリ 山本 和範 (弘前大学)	橋本 勝 (弘前大学)	Syntheses of Oligosaccharide Analogues as Molecular Probes for Mechanistic Investiga- tion of Endoglycosidases (エンド型グリコシダーゼ機構解明研究の分 子プローブとしての新規オリゴ糖アナログの 合成)	Columbia University Department Ophthal- mology 博士研究員
連研 476		ゲノム工学	カ マ ラ Joseph Sherman (山形大学)	阿部 利徳 (山形大学)	Characterization of Soluble Components and Identification of Specific Proteins As- sociated with White-core Character in Rice (<i>Oryza sativa</i> L.) Grains. (イネ胚乳における可溶性成分の品種間差異 および心白に関する特異的タンパク質に関 する研究)	Njala Lecturer
連研 477		地域資源経済学	サ サ キ カズヤ 佐々木一也 (岩手大学)	岡田 秀二 (岩手大学)	共同的な林野管理の展開と持続への条件に関 する研究 (Studies on the development of communal forest management and necessary condi- tions for sustainability.)	岩手大学 技術専門員
連研 478	生物環境科学		ワン ジャン 王 江 (弘前大学)	神田 健策 (弘前大学)	中国における協同組合的農村金融の新段階と 発展 (The New Stage and Development of China's Cooperative Rural Finance)	暨南大学経済学院 副教授

学位記 番 号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 479	生物環境科学	生物資源化学	ヨシナリ オリエ 吉成 織恵 (山形大学)	五十嵐喜治 (山形大学)	南瓜に含まれる高血圧・糖尿病改善機能物質の探索とその作用解析 (Investigation of active compounds from pumpkin useful for improvement of hypertension and diabetes, and their action mechanism.)	株式会社龍泉堂
連研 480		生産環境学	スガワラ ケイ 菅原 敬 (山形大学)	生井 恒雄 (山形大学)	山形県における花き菌類病害の診断・同定と減化学薬剤防除に関する研究 (Studies on the diagnosis and identification of new fungal diseases of the ornamental plants occurred in Yamagata prefecture, and the attempts of low chemical input control methods against some soil-borne their diseases on the sandy soil)	庄内総合支庁産業経済部 主任専門普及指導員研究員

【課程博士】

平成 21 年 9 月 30 日

学位記 番 号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 481	寒冷圏生命システム学	熱生シテ学・命システム	スズキ セイゴ 鈴木 聖子 (岩手大学)	鈴木 幸一 (岩手大学)	高齢者ケア施設におけるハリナシミツバチプロポリスの活用に関する研究 (Utility of propolis from a stingless honey-bee <i>Melipona beecheii</i> in elderly nursing home)	岩手県立大学社会福祉学部教授

【課程博士】

平成 22 年 3 月 23 日

学位記 番 号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 482	生物生産科学	動物生産学	カバシマ カツヤ 桃嶋 克哉 (弘前大学)	鈴木 裕之 (弘前大学)	ハムスターの卵母細胞ならびに初期胚におけるミトコンドリアー細胞骨格機能系の制御機構に関する研究 (Study on the mitochondria-cytoskeleton system in hamster oocytes and early embryos)	岩手大学大学院連合農学研究科研究員
連研 483			ワタナベ ヒロユキ 渡部 浩之 (帯広畜産大学)	福井 豊 (帯広畜産大学)	Studies on Chromosomal Integrity and Embryonic Development in Mammalian Spermatozoa after Intracytoplasmic Sperm Injection (顕微授精における哺乳動物精子の染色体正常性と胚発生に関する研究)	未定
連研 484		生物制御学	ナ バ レ ッ テ NAVARRETE, アイアン ア ウ サ Ian Auza (帯広畜産大学)	筒木 潔 (帯広畜産大学)	Characteristics and properties of degraded soils derived from volcanic and sedimentary rocks and land use effect on humus composition in soils in Leyte, Philippines (フィリピンレイテ島における火山岩および堆積岩由来の劣化土壌の特性と土地利用が土壌の腐植組成に及ぼす影響)	未定
連研 485			ネコヅカ シュウイチ 猫塚 修一 (弘前大学)	佐野 輝男 (弘前大学)	リンドウ褐斑病の病原菌、発生生態および防除法に関する研究 (Studies on the pathogen, the ecology and control of brown leaf spot on gentian caused by <i>Mycochaetophora gentianae</i> Tak. Kobay., Kasuyama et Nasu)	岩手県農業研究センター 主任専門研究員
連研 486			イトウ ヨウコ 伊藤 陽子 (弘前大学)	佐野 輝男 (弘前大学)	ホップ矮化ウイロイドの多様性と宿主適応に関する研究 (Studies on Hop stunt viroid nucleotide sequence variation and host adaptation)	中央農業総合研究センター 特別研究員
連研 487			サイトウ ユウスケ 齋藤 優介 (帯広畜産大学)	小嶋 道之 (帯広畜産大学)	豆類種子ポリフェノールの特性解明と代謝経路に関する研究 (Characterization and Biosynthesis Regulation of Polyphenol in Legumes seed)	岩手大学大学院連合農学研究科研究員

学位記 番号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 488	生物資源科学	生物機能開発学	ニシ シゲノリ 西 繁典 (帯広畜産大学)	小嶋 道之 (帯広畜産大学)	植物ポリフェノールによるメタボリックシン ドローム抑制機構に関する研究 (Study on metabolic syndrome control mechanism by plant polyphenol)	上士幌町役場行政 職員
連研 489			ベネラガマ BENERAGAMA, チャリンダ Chalinda コーシタ Koshitha (帯広畜産大学)	後藤 健 (帯広畜産大学)	How Do Circadian Clocks Function as Adaptations in Euglena Gracilis Z (Klebs) ? (ユーグレナの概日リズムと環境適応)	Department of Crop Science, Faculty of Agriculture, University of Perad- eniya, Senior Lecturer
連研 490			アリヤラタナ ARIYARATNA, ウィーラコリゲー Weerakkodige モジト Mojith ティロンペレラ Tyrone Perera (帯広畜産大学)	加藤 清明 (帯広畜産大学)	Molecular Genetic Analysis of Rice Reduced Culm Number 4 (Rcn 4) (イネの少分げつ遺伝子 Rcn4 の分子遺伝学 的研究)	Department of Crop Science, Faculty of Agriculture, University of Perad- eniya, Senior Lecturer
連研 491		ゲノム工学	クドウ キョウコ 工藤 恭子 (弘前大学)	菊池 英明 (弘前大学)	Characterization of the region of the aryl hydrocarbon receptor required for ligand dependency of transactivation (転写活性化のリガンド要求性に必要とされ る芳香炭炭化水素受容体の領域の評価)	未定
連研 492			コバヤシ ダイスケ 小林 大介 (弘前大学)	菊池 英明 (弘前大学)	T 細 胞 株 L-MAT の 2,3,7,8-tetrachlorod- ibenzo-p-dioxin (TCDD) 誘導性アポトーシ スにおける細胞内カルシウムの関与 (Involvement of intracellular calcium in 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD) induced apoptosis in human lymphoblastic T-cell line, L-MAT)	未定
連研 493			ハセ ヨウイチ 長谷 要一 (弘前大学)	姫野 依太 (弘前大学)	Ribosome-mediated salt adaptation pathway (リボソームを介した塩耐性獲得機構の研究)	弘前大学農学生命 科学部 特別研究員
連研 494			イ ジュミン 李 在民 (岩手大学)	高畑 義人 (岩手大学)	リンドウの葯培養と香り成分に関する育種学 的研究 (Studies on anther culture and volatile compounds of gentian)	ハートランド・ データ (株) 営業企画部
連研 495			ミズタニ マサノリ 水谷 征法 (岩手大学)	堤 賢一 (岩手大学)	イネ胚乳シンチウム特異的に発現するCD K インヒビターと F-box 遺伝子の同定 (Identification of the CDK inhibitor and F-box protein gene of the syncytium- specific expression in rice endosperm)	未定
連研 496		生物資源利用学	アブライ ノブヒロ 油井 信弘 (岩手大学)	木村 賢一 (岩手大学)	天然資源由来のプロテインホスファターゼ 2C の活性化物質と阻害物質の生物活性に関 する研究 (Study on biological activities of protein phosphatase 2C activators and inhibitors derived from natural resources)	岩手大学大学院連 合農学研究科 研究員
連研 497			チェン イエミン 陳 業明 (岩手大学)	小野 伴忠 (岩手大学)	Soy milk Compositions and Their Effects on Yuba Formation (豆乳成分およびそれらの湯葉形成における 役割)	North Dakota State University Post-doc
連研 498			キムラ フミヒコ 木村 文彦 (岩手大学)	小藤田久義 (岩手大学)	担子菌による縮合型タンニンの生分解に関す る研究 (Studies on Biodegradation of Condensed Tannins by Basidiomycetes)	岩手県技術職
連研 499			マツダ サトル 松田 諭 (山形大学)	貫名 学 (山形大学)	海洋性放線菌の生産する抗癌物質の探索と salinisporamycin の化学的研究 (Discovery of novel anti tumor substances from the marine actinobacteria and chemi- cal investigations of salinisporamycin)	未定

学位記 番 号	専攻	連合 講座	授与者 (配属大学)	主指導教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	修了後の進路 (現職) 等
連研 500	寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	オオクボアツシ 大久保敦史 (弘前大学)	杉山 修一 (弘前大学)	植物と根圏微生物の生物間相互作用の分子生態学的研究 (Molecular ecological research on bio-interaction between plants and rhizosphere microbial community)	弘前大学農学生命科学部 日本学術振興会特別研究員
連研 501			シバサキ キョウヘイ 柴崎 杏平 (岩手大学)	上村 松生 (岩手大学)	Auxin response under abiotic stress: Unraveling the molecular and cellular mechanisms (非生物のストレス下でのオーキシン反応: 分子細胞学的メカニズムの解明)	岩手大学大学院連合農学研究科 研究員
連研 502	生物環境科学	地域資源経済学	チュン チンメイ 権 慶梅 (弘前大学)	神田 健策 (弘前大学)	総合農協の事業兼営に関する研究～日・韓・中の信用事業を中心に～ (A Study of Business Practices in Multi-Purpose Agricultural Cooperatives: An Analysis of Credit Businesses in Japan, South Korea and China.)	未定
連研 503		地域環境工学	マ ハル ジャン MAHARJAN, ガウリ Gauri (弘前大学)	高橋 照夫 (弘前大学)	画像処理を利用したイネ病気の Web 診断支援システムに関する研究 (Development of a support system for Web-based diagnosis of rice diseases using image processing)	(株) みらい技術開発部 技術職
連研 504			ハラダ ユウスケ 原田 裕介 (帯広畜産大学)	土谷富士夫 (帯広畜産大学)	寒冷地における農地の土壌凍結融解と消雪時期の推定 (Estimation for the disappearance dates of snow cover and frozen ground on the farmland in cold region)	(株) アルゴス北海道支店 技術課長
連研 505		地域環境管理学	サトウアキオ 佐藤亜貴夫 (山形大学)	小野寺弘道 (山形大学)	砂防域における流体と樹形との相互関係に関する研究 (Understanding correlation between vegetation morphology and fluid-flow behavior in "Sabo zone")	国土防災技術(株) 技術職
連研 506			マイマイジャン MAIMAIJIANG, ズノン Zunong (帯広畜産大学)	本江 昭夫 (帯広畜産大学)	Role of Ruminant Linolenic Acid Biohydrogenation in Conjugated Linoleic Acid Synthesis in Milk of Grazing Cows (反芻胃内でのリノレン酸の水素添加が放牧された泌乳牛の乳中共役リノール酸濃度への役割)	未定
連研 507			タカハシ マサヤ 高橋 正也 (岩手大学)	比屋根 哲 (岩手大学)	農村集落の社会ネットワーク構造に関する研究－社会ネットワーク分析による岩手県内S集落の分析事例－ (A study on the social network structure of a rural village community Case study for S community in Iwate prefecture by social network analysis)	岩手大学大学院連合農学研究科 研究員

【論文博士】

平成 21 年 9 月 25 日

学位記 番 号	授与者	推薦教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	現 職
連論 137	ビクトリア Victoria キャベズ Chavez ラピタン LAPITAN	阿部 利徳 (山形大学)	Mapping of quantitative trait loci (QTL) for grain cooking and eating quality using a doubled haploid (DH) population from anther culture of indica/japonica hybrida of rice (Oryza sativa L.) (イネのインディカおよびジャポニカ雑種第 1 代の葯培養によって得られた倍加半数体系統を用いたの食味関連形質 QTL のマッピング)	Shere Bangla Agricultural University Associate Professor
連論 138	モリ森 シズカ 森 静香	安藤 豊 (山形大学)	水稻における潮風害の予測、被害把握および被害軽減技術の開発に関する研究 (Estimation of reduced rate of yield and new cultural practices for reduction in yield loss of rice by salty wind)	(株) バックス 技術職

【論文博士】

平成 22 年 3 月 23 日

学位記 番 号	授与者	推薦教員 (所属大学)	博 士 学 位 論 文 名	現 職
連論 139	コミヤマセイイチ 小宮山誠一	小嶋 道之 (帯広畜産大学)	野菜類の品質向上のための栽培および評価法に関する研究 (Studies on Methods of Cultivation and Quality Evaluation of Vegetables for their Quality Improvement)	北海道立中央農業 試験場 基盤研究部 農産品質科長
連論 140	タカハシ ヒデコ 高橋 秀子	河合 成直 (岩手大学)	コマツナおよび根菜類等のカドミウム吸収の特性 (Characteristics of cadmium uptake by komatsuna (Brassica rapaL. var. perviridis) and root crops)	修紅短期大学 食物栄養学科准教 授

第4章 ゼミナール

平成 21 (2009) 年度前期連合一般ゼミナール (日本語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)		
6月17日(水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	講義1 「共生微生物による宿主昆虫の生殖操作に関する生態学」 (Ecology of symbiont-mediated manipulation of insect reproduction) 田上 陽介 TAGAMI Yohsuke (静岡大学農学部准教授)		講義2 「昆虫社会における種内の共同と対立」 (Cooperation and conflict in insect societies) 辻 瑞樹 (辻 和希) TSUJI Mizuki (Kazuki) (琉球大学農学部教授)		講義3 「遺伝的個体群構造と遺伝子流動」 (Genetic population structure and gene flow) 土田 浩治 TSUCHIDA Koji (岐阜大学応用生物科学部教授)		講義4 「群集生態学から害虫管理へ」 (Community Ecology and Pest Management) 安田 弘法 YASUDA Hironori (山形大学農学部教授)		
6月18日(木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	講義5 「GABA 受容体 ρ サブユニットの構造と機能」 (Structure and Function of GABA Receptor ρ Subunit) 小栗 栖 太郎 OGURUSU, Tarou (岩手大学工学部教授)		講義6 「光合成生物における炭素代謝および遺伝子工学について」 (Carbon metabolism and genetic engineering in photosynthetic organisms) 大河 浩 OHKAWA Hiroshi (弘前大学農学生命科学部准教授)		講義7 「アジアの熱帯林の断片化と修復の生態」 (Restoration Ecology of Fragmented Tropical Forests in Asia) 大久保 達弘 OHKUBO, Tatsuhiko (宇都宮大学農学部教授)		講義8 「森林性野ネズミの貯食行動—その特徴と森林の動態に及ぼす影響—」 (Food hoarding in <i>Apodemus</i> mice. — Its characteristics and roles in forest ecosystem dynamics. —) 曽根 晃一 SONE, Koichi (鹿児島大学農学部教授)		
6月19日(金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	講義9 「きのご育種の目標と新資源の活用」 (Target characters and exploitation of genetic-resources in mushroom breeding) 松本 晃幸 MATSUMOTO Teruyuki (鳥取大学農学部教授)		講義10 「中国における米の食味研究の現状と課題」 (Recent Studies on Palatability of Rice in China) 楠谷 彰人 KUSUTANI Akihito (香川大学農学部教授)		講義11 「安定同位体とNMRを用いる樹木抽出成分の生合成研究」 (Biosynthetic studies of wood extractives using with stable isotope and NMR) 河合 真吾 KAWAI Shingo (静岡大学農学部准教授)		講義12 「高圧水蒸気を用いた木材の新しい加工技術」 (Newly Developed Wood-Processing Technology using High-pressure Steam) 棚橋 光彦 TANAHASHI, Mitsuhiro (岐阜大学応用生物科学部教授)		

平成 21 (2009) 年度後期連合一般ゼミナール (英語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	
11月18日(水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡事項等	Lecture1 Comparative Regulatory Study on Innovative Technology- Cases of Genetically Modified Crops and Nano-technology - 「革新技術に対する比較制度分析-遺伝子組換え作物およびナノテクノロジー-」 立川 雅司 TACHIKAWA, Masashi (茨城大学准教授)	休憩 10分	Lecture2 The symbiotic association between Brassicaceae plants and dark septate endophytic fungi (DSE) 「アブラナ科植物と根部エンドファイト (DSE) の共生に関して」 成澤 才彦 NARISAWA, Kazuhiko (茨城大学准教授)	講義 (90分)	昼休み 60分	Lecture3 Pollinator flight analyses to understand the function of flowers 「花の機能を理解するための送粉者の飛行分析」 川窪 伸光 KAWAKUBO, Nobumitsu (岐阜大学准教授)	休憩 10分	Lecture4 Forest Carbon Accounting and Global Warming Projection 「森林の炭素収支勘定と地球温暖化予測」 末田 達彦 SWEDA, Tatsuo (愛媛大学教授)	
11月19日(木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	Lecture5 Holsteins, pros and cons of the breed under different climatic, social and economic conditions 「異なる気候, 社会, 経済環境におけるホルスタイン種乳牛の是非」 手塚 雅文 TETSUKA, Masafumi (帯広畜産大学教授)		Lecture6 Non-Destructive Analysis and NIR (Near-Infrared) Spectroscopy 「非破壊分析と近赤外分光法」 夏賀 元康 NATSUGA, Motoyasu (山形大学教授)	講義 (90分)		Lecture7 A current view of insect aquaporins - physiology of water channels - 「昆虫の水代謝-アクアポリンの生物学-」 東 政明 AZUMA, Masaaki (鳥取大学教授)		Lecture8 Evaluation and application of floral traits by molecular approach 「分子生物学的手法による花弁特性の評価とその応用」 中務 明 NAKATSUKA, Akira (鳥根大学准教授)	
11月20日(金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	Lecture9 New Research Field in Plant Pathology Integrated Molecular Diagnosis 「植物病理学における新しい研究分野 総合分子診断学」 景山 幸二 KAGEYAMA, Koji (岐阜大学教授)		Lecture10 Japanese Agriculture and Plant factory 「日本の農業と植物工場」 島崎 一彦 SHIMASAKI, Kazuhiko (高知大学教授)	講義 (90分)		Lecture11 Subsociality in Insects 「昆虫の亜社会性」 野間口 真太郎 NOMAKUCHI, Shintaro (佐賀大学教授)		Lecture12 International Fisheries Management toward Responsible Fisheries 「責任ある漁業に向けた漁業の国際管理」 松岡 達郎 MATSUOKA, Tatsuro (鹿児島大学教授)	

平成 21 (2009) 年度 科学コミュニケーション (合宿ゼミ) 日程表

期間：平成21 (2009) 年 8月26日 (水) ～ 28日 (金)
 会場：弘前大学、星と森のロマントピア
 宿泊：星と森のロマントピア

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
8月26日 (水)	開講式次第【402講義室】 1. 開式 2. 連合農学研究科長挨拶 3. 農学生命科学部長挨拶 4. 日程等の説明 5. 閉式					受 付	開 講 式 ・ 日 程 説 明	演 習 I 研 究 課 題 別 セ ミ ナ ー 1：動物生産学＋地域環境管理学（松崎正敏） 2：熱・生命システム学＋植物生産学（杉山修一） 3：ゲノム工学＋生物制御学（姫野俊太） 4：生物機能開発学＋生物資源利用学（橋本勝） 5：地域資源経済学＋地域環境管理学（渋谷長生・神田健策） 6：地域環境工学（泉 亮）		宿 泊 先 へ 移 動	休 憩	実 習 I コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 実 習	自 由 交 流		
	8:40					弘前大学 農学生命科学部 玄関ロビー	実 習 II 新 た な 講 義 ・ セ ミ ナ ー を 提 案 す る ワ ー ク シ ョ ッ プ 13:00～趣旨説明 13:10～グループワーク 打ち合せ・資料作成 (グループ別)	15:10～16:10 プレゼンテーション 16:10～ 講 評		休 憩	演 習 II 科 学 英 語 へ の 招 待 講 師 ： ロベス・ラリー	夕 食 ・ お 風 呂		自 由 交 流	
	8月27日 (木)	朝 食	講 義 第 1 部 学 位 取 得 へ の 道 ・論文がアクセプトされるために（武藤） ・論文審査はどのような観点から行われるか（杉山修一、橋本 勝） 第 2 部 学 位 取 得 後 の キ ャ リ ア パ ス ・国の研究機関における博士の現状（小池） ・青森県における研究機関の法人化と博士研究員（佐藤） ・岩手連大修了後の中国留学生の進路（神田） ・アグロイノベーション高度人材養成センター（金）					昼 食							
8月28日 (金)		朝 食	実 習 III 世 界 自 然 遺 産 フ ィ ー ル ド ワ ー ク 8:00- 白神山地へ移動（バス） 8:40- 白神山地見学（暗門の滝）				J R 弘 前 駅 (バ ス で 閉 校 バ ス 等 移 動)		解 散 (J R 弘 前 駅)		テ ー マ : 学 位 取 得 後 の キ ャ リ ア プ ラ ン Postdoctoral carrier development			自 由 交 流	
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	12:40	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	17:00		18:00

第2部 教員の研究活動

第1章 公表論文等

* 公表論文等の掲載形式は、構成大学の年報の形式に準じる。

なお、弘前大学農学生命科学部所属教員の業績は、平成21年10月～平成22年9月までのものであり、他構成大学所属教員の業績は、平成21年度である。

1 生物生産科学専攻

(1) 植物生産学連合講座

【岩手大学】

壽松木 章

〈著書〉

- 1) 園芸学(分担)；第6章 園芸作物の発育に伴う生理生態的特性と栽培管理. 2. 落葉果樹. pp130-142. 文永堂出版. 東京. 2009.

〈原著論文〉

- 1) 小森貞男・渡邊麻紗乃・渡邊 学・田中紀充・壽松木章・和田雅人・副島淳一・松本省吾・安達義輝・李 積軍. (2009). リンゴの形質転換における *Agrobacterium* 除菌用抗生物質の検討. 園学研 8 : 419-426.
- 2) Adachi, Y., S. Komori, Y. Hoshikawa, N. Tanaka, K. Abe, H. Bessho, M. Watanabe, and A. Suzuki. (2009). Characteristics of fruiting and pollen tube growth of apple autotetraploid cultivars showing self-compatibility. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 78 : 402-409.

星野 次汪

〈原著論文〉

- 1) 熊谷成子・吉田晴香・阿部 陽・谷口義則・佐川 了・星野次汪 (2009) ヒエの搗精歩合が品質に及ぼす影響. 日作東北支部報 52 : 59-60.
- 2) 熊谷成子・吉田晴香・阿部 陽・佐川 了・星野次汪 (2009) ヒエの農業特性および澱粉特性からみた収穫適期. 日作東北支部報 52 : 61-62.

〈特許・設計〉

- 1) 大潟直樹・安本知子・山田哲也・杉浦 誠・勝田真澄 (作物研)・星野次汪・佐川 了 (2009) セサミンが多く、寒さに強い黒粒のごま新品種候補系統「関東13号」ごまえもん (2009.4.20 品種登録申請；出願公表日 2009.6.29 第23684号品種登録)

小森 貞男

〈原著論文〉

- 1) 小森貞男, 渡邊麻紗乃, 渡邊 学, 田中紀充, 壽松本章, 和田雅人, 副島淳一, 松本省吾, 安達義輝, 李 積軍 (2009) リンゴの形質転換における *Agrobacterium* 除菌用抗生物質の検討. 園学研. 8 : 419-426.
- 2) Y. Adachi, A., Komori, S., Hoshikawa, Y., Tanaka, N., Abe, K., Bessho, H., Watanabe, M. and Suzuki, A. (2009) Characteristics of fruiting and pollen tube growth of apple autotetraploid cultivars showing self-compatibility. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 78 : 402-409.

佐川 了

〈原著論文〉

- 1) 鎌田拓也, 木内亮輔, 小笠原綾奈, 佐川 了, 清水 恒, 星野次汪 (2009) 在来栽培ヒエのアミロース含有率および粗タンパク質含有率の系統間変異. 育種学研究 11 : 23-28.
- 2) 熊谷成子, 吉田晴香, 阿部 陽, 谷口義則, 佐川 了, 星野次汪 (2009) ヒエの搗精歩合が品質に及ぼす影響. 日作東北支部報 52 : 59-60.
- 3) 熊谷成子, 吉田晴香, 阿部 陽, 佐川 了, 星野次汪 (2009) ヒエの農業特性および澱粉特性からみた収穫適期. 日作東北支部報 52 : 61-62.

〈特許・設計〉

- 1) 大潟直樹, 安本知子, 山田哲也, 杉浦 誠, 勝田真澄, 星野次汪, 佐川 了 (2009) セサミンが多く, 寒さに強い黒粒のごま新品種候補系統「関東 13 号」ごまえもん (2009.4.20 品種登録申請; 出願公表日 2009.6.29 第 23684 号品種登録)

下野 裕之

〈原著論文〉

- 1) Shimono, H., Okada, M., Inoue, M., Nakamura, H., Kobayashi, K. and Hasegawa, T. (2010) Diurnal and seasonal variations in stomatal conductance of rice at elevated atmospheric CO₂ under fully open-air conditions. Plant, Cell and Environ. 33 : 322-331.
- 2) Shimono, H., Sawano, S. and Kanno, H. (2010) Can the cropping schedule of rice be adapted to changing climate? A case study in cool areas of northern Japan. Field Crops Res. 118 : 126-134.

庄野 浩資

〈原著論文〉

- 1) U.Matsushima, N.kardjilov, A.Hilger, I.Manke, H.Shono, W.B.Herppich (2009) Visualization of water usage and photosynthetic activity of street trees exposed to 2 ppm of SO₂ – a combined evaluation by cold neutron and chlorophyll fluorescence imaging. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A, 605 : 185-187.
- 2) 庄野浩資, 関 朝美, 山口香子, 松嶋卯月, 小出章二, 武田純一 (2009) 切り花リンドウの生育ステージにおける紫外線画像の有効性に関する検討. 農業情報研究, 18 : 122-129.

立澤 文見

〈原著論文〉

- 1) Huang, C.S., Lee, H.C., Lu, T.S., Tsai, J.L., Tatsuzawa, F. (2009) Differences in the floral anthocyanin component of *Lantana* in Taiwan. Journal of the Japanese Society for Horticultural Science 78(1) : 109-114.
- 2) Toki, K., Saito, N., Nishi, H., Tatsuzawa, F., Shigihara, A., Honda, T. (2009) 7-Acylated Anthocyanins with p-Hydroxybenzoic Acid in the Flowers of *Campanula medium*. Heterocycles 77(1) : 401-408.
- 3) Tatsuzawa, F., Saito, N., Mikanagi, Y., Shinoda, K., Toki, K., Shigihara, A., Honda, T. (2009) An unusual acylated malvidin 3-glucoside from flowers of *Impatiens textori* Miq. (Balsaminaceae) . Phytochemistry 70(5) : 672-674.
- 4) Toki, K., Saito, N., Nogami, A., Tatsuzawa, F., Shigihara, A., Honda, T. (2009) Flavonoid glycosides isolated from the blue flowers of *Nigella damascena*. Heterocycles 78(9) : 2287-2294.

築城 幹典

〈原著論文〉

- 1) 築城幹典, 齋藤弘太郎, 前田武己 (2009) 酪農における環境影響の経年的変化のライフサイクルアセスメント. システム農学 25 : 185-194.
- 2) 前田武己, 小藤田久義, 立石貴浩, 築城幹典 (2009) 異なる副資材を用いた乳牛ふん堆肥化早期のアンモニア揮散. 農業機械学会誌 71 : 81-87.
- 3) Tsuiki, M., Sasaki, A., Kondo, T., Higashiyama, M., Muramoto, T. and Saiga, S. (2009) Life cycle assessment of Japanese beef-fattening systems using local food by-product feeds. Journal of the Japanese Agricultural Systems Society 25 : 195-203.
- 4) Islam, T., Fukuda, E., Shiyomi, M., Shaibur, M. R., Kawai, S. and Tsuiki, M. (2010) Effects of feces on spatial distribution patterns of grazed grassland communities. Agricultural Sciences in China 9 : 121-129.

松嶋 卯月

〈原著論文〉

- 1) Matsushima, U., Herppich, W. B., Kardjilov, N., Graf, W., Hilger, A. and Manke, I. (2009) Estimation of water flow velocity in small plants using cold neutron imaging with D₂O tracer. Nucl. Instr. and Meth. A, 605 : 146-149.
- 2) Matsushima, U., Kardjilov, N., Hilger, A., Manke, I., Shono, H. and Herppich, W. B. (2009) Visualization of water usage and photosynthetic activity of street trees exposed to 2 ppm of SO₂ - a combined evaluation by cold neutron and chlorophyll fluorescence imaging. Nucl. Instr. and Meth. A 605 : 185-187.

【弘前大学】

荒川 修

〈原著論文〉

- 1) Manasikan Thammawong and Osamu Arakawa : Starch degradation characteristics in relation to physiological and biochemical properties during growth and maturation of apple fruit Journal of Applied Horticulture, 11(1) : 23-30, 2009.
- 2) Manasikan Thammawong and Osamu Arakawa : Starch to Sugar Conversion in "Tsugaru" Apples under Ethylene and 1-Methylcyclopropene Treatments. J. Agr. Sci. Tech. Vol. 12 : 617-626, 2010.

川崎 通夫

〈著書〉

- 1) 川崎通夫：貯蔵器官・貯蔵組織，デンプン・糖類の貯蔵，ヤムイモ，タロイモ．日本作物学会編 作物学用語事典，126-129, 270-273, 2010.

〈原著論文〉

- 1) Ferdose J, M Kawasaki, M Taniguchi, H Miyake : Differential sensitivity of rice cultivars to salinity and its relation to ion accumulation and root tip structure. Plant Production Science, 12 : 453-461, 2009
- 2) Yamada M, M Kawasaki, T Sugiyama, H Miyake, M Taniguchi : Differential positioning of C₄ mesophyll and bundle sheath chloroplasts : aggregative movement of C₄ mesophyll chloroplast in response to environmental stresses. Plant & Cell Physiology, 50 : 1736-1749, 2009.
- 3) Murase J, M Kawasaki, J F De Jonckheere : Isolation of a new heterolobosean amoeba from a rice field soil : *Vrihiamoeba italica* gen. nov., sp. nov. European Journal of Protistology, 46 : 164-170, 2010.

伊藤 大雄

〈原著論文〉

- 1) 伊藤大雄・藤田 隆：代替防除資材利用によるリンゴ有機栽培の試み. 1. 転換後5年間の病害発生状況. 北日本病虫研報, 60 : 134-138, 2009.
- 2) 伊藤大雄：代替防除資材利用によるリンゴ有機栽培の試み. 2. 転換後5年間の虫害発生状況. 北日本病虫研報, 60 : 266-269, 2009.
- 3) 池田隆政*・伊藤大雄・吉田 亮**：ニホンナシ短果枝葉の光合成能力の季節変化. 園芸学研究, 9 : 87-92, 2010. (* 鳥取県農林総合研究所園芸試験場 ** 鳥取県農林総合研究所企画総務部)

大河 浩

〈原著論文〉

- 1) Masumoto C, Miyazawa S, Ohkawa H, Fukuda T, Taniguchi Y, Murayama S, Kusano M, Saito K, Fukayama H, Miyao M. (2010) Phosphoenolpyruvate carboxylase intrinsically located in the chloroplast of rice plays a crucial role in ammonium assimilation. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 107 : 5226-5231.

前田 智雄

〈原著論文〉

- 1) Maeda, T., K. Honda, T. Sonoda, S. Motoki, K. Inoue, T. Suzuki, K. Oosawa, M. Suzuki. Light Condition Influences Rutin and Polyphenol Contents in Asparagus Spears in the Mother-Fern Culture System during the Summer-Autumn Harvest. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 79(2) : 161-167. 2010

松山 信彦

〈著書〉

- 1) 佐々木長市・松山信彦：白神山地の土壌, 白神学入門, p.41-45, 弘前大学白神自然観察園, 2010.

〈原著論文〉

- 1) 松山信彦・佐藤 佑・館岡和寛：マコモ (*Zizania latifolia* Turcz.) に対するケイ酸の影響. 日本作物学会東北支部会報, 52 : 47-48, 2009.
- 2) 佐々木長市・松山信彦・久保田正亜・野田香織・加藤 幸：客土をもつカドミウム汚染水田の浸透型が稲体のカドミウム濃度および生育収量に及ぼす影響. 農業農村工学会論文集, 268 : 23-30, 2010.
- 3) 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆・殿内暁夫・Shyamal Kumar Paul・松岡嗣彦・加藤 幸・野田香織：白神山地の土壌に関する研究 (7). 白神研究, 7 : 39-48, 2010.

【山形大学】

安藤 豊

〈著書〉

- 1) 土壌の養分供給と土壌粘土. 「粘土ハンドブック, 第三版」, 日本粘土学会編 技報堂 (803-806 頁)

〈原著論文〉

- 1) Shuhei MAKABE, Ken-ichi KAKUDA, Yuka SASAK and Ho ANDO (2009) : Uptake of applied silica by rice plants in relation to level of nitrogen application Bull. Yamagata Univ., Agr. Sci., 15(4). 309-314. 2009
- 2) Etsuko Miyamoto, Sachi Matsuda, Ho Ando, Ken-ichi Kakuda, Jong Foh Shoon and Akira Watanabe (2009) : Effect of sago palm (*Metroxylon sagu* Roth) cultivation on the chemical properties of soil and water in tropical peat soil ecosystem. Nutr Cycl Agroecosyst 85 : 157-167

- 3) Shuhei MAKABE, Ken-ichi KAKUDA, Yuka SASAKI, Tadashi ANDO, Hiroshi FUJII and Ho ANDO* (2009) : Relationship between mineral composition or soil texture and available silicon in alluvial paddy soils on the Shounai Plain, Japan. *Soil Science and Plant Nutrition* 55, 300-308
- 4) Akira Watanabe, Benito H. Purwanto, Ho Ando, Ken-ichi Kakuda, Foh-Shoon Jong (2009) : Methane and CO₂ fluxes from an Indonesian peatland used for sago palm (*Metroxylon sagu* Rottb.) cultivation : Effects of fertilizer and ground water level management. *Agriculture, Ecosystems and Environment* 134, 14-18,

平 智

〈著書〉

- 1) 平 智・江頭宏昌 (2009) : 在来作物についてのお話, 山形在来作物研究会編, おしゃべりな畑, p.8-11, 山形大学出版会.

〈原著論文〉

- 1) Taira, S., M. Koiwai, M. Kawano, K. Miyazawa, S. Watanabe, I. Kudo, K. Abe, E. Konbe and Y. Honma (2009) : Long-term storage of on-tree alcohol-treated Hiratanenashi persimmon in Yukimuro snow room. *Acta Hortic.* 833 : 281-287.

西澤 隆

〈原著論文〉

- 1) 西澤 隆・森 佑子・福島慎也・夏賀元康・丸山康広. 2009. 近赤外分光法によるイチゴ果実糖組成の非破壊測定. *日本食品工学会誌*. 56(4) : 229-235.
- 2) Nishizawa T., Y. Shishido and H. Murakami. 2009. Effect of temporary changes in light intensity on carbon transport, partitioning and respiratory loss in young tomato seedlings raised under different light intensities. *Physiologia Plantarum* 136(3) : 351-357.
- 3) Nishizawa T., K. Okafuji and H. Murayama. 2009. Storability and development of physiological disorder of netted melon 'Life' fruit as influenced by storage conditions. *Acta Horticulturae* 837 : 147-154.
- 4) Nishizawa T., Y. Kondo, Y. Mori, Y. Maruyama and Y. Motomura. 2009. The Horticultural characteristics of commercially grown Chilean strawberry (*Fragaria chiloensis*) . *Horticulture, Environment, and Biotechnology* 50(5) : 392-396.
- 5) Roy T.S., T. Nishizawa, M.S. Islam, M.A. Razzaque and M. Hasanuzzaman. 2009. Potentiality of small seedling tuber derived from true potato seed (*Solanum tuberosum* L.) and its economic return as affected by progeny and clump planting. *International Journal of Agriculture, Environment and Biotechnology* 2(4) : 385-392.

藤井 弘志

〈原著論文〉

- 1) 森 静香・柴田康志・藤井弘志 (2009) : 2004 年台風 15 号で潮風害を受けた水稻と塩分

- を付着させた水稲との被害程度の比較, 日本作物学会紀事, 78, 87-91
- 2) 森 静香・藤井弘志 (2009): 水稲におけるケイ酸資材の幼穂形成期施用の有効性, 日本土壤肥料学雑誌, 80, 136-142
- 3) 森 静香・柴田康志・松田裕之・藤井弘志 (2009): 登熟期の水稲穂部への海水由来塩分付着害に対するケイ酸による減収の軽減効果, 日本土壤肥料学雑誌, 80, 347-354
- 4) 柴田康志・小田九二夫・森 静香・藤井弘志 (2009): 山形県庄内地域における 2004 年台風 15 号からみた潮風害リスクマップの作成, 日本作物学会紀事, 78, 504-509

村山 秀樹

〈原著論文〉

- 1) H. Murayama, M. Arikawa, Y. Sasaki, V. Dal Cin, W. Mitsuhashi and T. Toyomasu (2009): Effect of ethylene treatment on expression of polyuronide-modifying genes and solubilization of polyuronide during ripening in two peach cultivars having different softening characteristics. *Postharvest Biology and Technology*, 52, 196-201.
- 2) V. Dal Cin, E. Barbaro, M. Danesin, H. Murayama, R. Velasco, A. Ramina. (2009): Fruitlet abscission: A cDNA-AFLP approach to study genes differentially expressed during shedding of immature fruits reveals the involvement of a putative auxin hydrogen symporter in apple (*Malus domestica* L. Borkh). *Gene* 442: 26-36

【帯広畜産大学】

花田 正明

〈著書〉

- 1) 河合正人. 2010. 第 11 章 飼料価値の評価. 増子孝義, 花田正明, 中辻浩喜編著, 乳牛栄養学の基礎と応用, pp.140-158, (株)デーリィ・ジャパン社, 東京
- 2) 河合正人, 相馬幸作. 2010. 第 12 章 飼料の種類とその特徴. 増子孝義, 花田正明, 中辻浩喜編著, 乳牛栄養学の基礎と応用, pp.160-173, (株)デーリィ・ジャパン社, 東京

〈原著論文〉

- 1) 飯島由子, 河合正人, 早川 聡, 朝井 洋, 花田正明. 2010. 日高管内サラブレッド種生産農家における放牧草中水溶性炭水化物含量およびウマの糞性状の季節変化. 北海道畜産学会報 52: 41-45

(2) 動物生産学連合講座

【岩手大学】

喜多 一美

〈特許〉

- 1) 喜多一美・竹本油脂株式会社 (2009) サイレージの調製方法, 特許第 4357187 号

佐野 宏明

(原著論文)

- 1) Al-Mamun, M., K. Goto, S. Chiba and H. Sano (2009) Responses of plasma acetate metabolism to hop (*Humulus lupulus* L.) in sheep. Int. J. Biol. Sci. 5 : 287-293.
- 2) Sano, H., S. Shibasaki and H. Sawada (2009) The effect of the source of nitrogen supplementation on nitrogen balance, rates of plasma leucine turnover, protein synthesis and degradation in sheep. Arch. Anim. Nutr. 63 : 401-412
- 3) Sano, H., S. Murakami, S. Sasaki and M. Al-Mamun (2010) Effects of dietary energy intake and cold exposure on kinetics of plasma phenylalanine, tyrosine and protein synthesis in sheep. Arch. Anim. Nutr. 64 : 47-55.

橋爪 力

〈原著論文〉

- 1) Ezzat Ahmed A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Yamashita, T., Hirata, T.I., Sawai, K. and Hashizume, T. (2009) Characteristics of the stimulatory effect of Kisspeptin-10 on the secretion of luteinizing hormone, follicle-stimulating hormone and growth hormone in prepubertal male and female cattle. J. Reprod. Dev. 55 : 650-654.
- 2) Suzuki, H., Sasaki, Y., Shimizu, M., Matsuzaki, M., Hashizume, T. and Kuwayama, H. (2009) Ghrelin and leptin did not improve meiotic maturation of porcine oocytes cultured in vitro. Reprod. Dom. Anim. doi : 10.1111/j.1439-0531.2009.01352.x.
- 3) Hashizume, T., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Ezzat A.A., Sawai, K. and Yamashita T. (2010) Characteristics of stimulation of gonadotropin secretion by kisspeptin-10 in female goats. Anim. Reprod. Sci. 118 : 37-41.
- 4) Hashizume, T., Sawada, T., Yaegashi, T., Saito, H., Ezzat Ahmed A., Goto, Y., Nakajima, Y., Jin, J., Kasuya, E. and Nagy, G.M. (2010) Characteristics of prolactin-releasing response to salsolinol in vivo in cattle. Domest. Anim. Endocrinol. 39 : 21-25.
- 5) Ezzat A. A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Goto, Y., Nakajima, Y., Jin, J., Yamashita, T., Sawai, K. and Hashizume, T. (2010) The role of sexual steroid hormones in the direct stimulation by Kisspeptin-10 of the secretion of luteinizing hormone, follicle-stimulating hormone and prolactin from bovine anterior pituitary cells. Anim. Reprod. Sci. 121 : 267-272.
- 6) Kasuya, E., Yayou, K.-I., Hashizume, T., Kitagawa, S. and Sutoh, M (2010) A possible role of central serotonin in L-tryptophan-induced GH secretion in cattle. Anim. Sci. J. 81 : 345-351.
- 7) Sawai, K., Takahashi, M., Moriyasu, S., Hirayama, H., Minamihashi, A., Hashizume, T. and Onoe, S. (2010) Changes in the DNA methylation status of bovine embryos from the blastocyst to elongated stage derived from somatic cell nuclear transfer. Cellular Reprogramming 12 : 15-22.

小田 伸一

〈原著論文〉

- 1) S.Kobayashi, R.Sato, Y.Abe, O.Inanami, H.Yasui, K.Omoe, J.Yasuda, C.Hankanga, S.Oda and J.Sasaki. (2009) Canine neutrophil dysfunction caused by downregulation of beta-2 integrin expression without mutation. Vet. Immunol. Immunopathol. 130, 187-196.
- 2) 釜石大輔, 石井里恵, 今井由美子, 橋本 渉, 河合成直, 小田伸一, 倉持 好, 岡田幸助 (2010) グラントシマウマ (*Equus burchelli bohmi*) の腸結石の性状とその臨床 日本野生動物医学会誌 15 巻 37-44.

出口 善隆

〈原著論文〉

- 1) Togashi, M., Tsujimoto, T., Yamauchi, K., Deguchi, Y., Hashizume, K., Kizaki, K., Honjou, S., Izaïke, Y. and Osawa, T. (2009) Plasma and fecal sex steroid hormone profiles during the estrous cycle in a Japanese serow (*Capricornis crispus*). J. Reprod. Dev. 55 : 412-417.
- 2) 出口善隆, 佐藤衆介, 安江 健, 高橋繁男 (2009) 無牧柵林間放牧地における子牛出荷時体重と新植林地面積との関係. 日畜会報 80 : 359-362.
- 3) Sakamoto, Y., Kunisaki, T., Sawaguchi, I., Aoi, T., Harashina, K. and Deguchi, Y. (2009) A note on daily movement patterns of a female Asiatic black bear (*Ursus thibetanus*) in a suburban area of Iwate Prefecture, northeastern Japan. Mammal Study 34 : 165-170.

松原 和衛

〈原著論文〉

- 1) 高橋 純, 大澤健司, 洲鎌圭子, 中坪競顧, 松原和衛, 三宅陽一 (2009) 乳牛のオブシンク処置における PGF_{2a} から 2 回目 GnRH 投与までの間隔が定時授精後の排卵同期化率, 授精後早期の胚生存率および妊娠率に与える影響. 家畜臨床学会誌 . 32(1) : 1-7.
- 2) Sato M, Nishizawa I, Fujihara M, Nishimura T, Matsubara K and Harasawa R (2009) Phylogenetic analysis of the 16S rRNA gene of Anaplasma Species detected from Japanese Serows (*Capricornis crispus*) J.Vet. Med. Sci. 71 : 1677-1679.

村元 隆行

〈原著論文〉

- 1) Tsuiki M., Sasaki A., Kondo T., Higashiyama M., Muramoto, T. and Saiga, S. (2009) Life cycle assessment of Japanese beef-fattening systems using local food by-product feeds. Journal of the Japanese Agricultural Systems Society 25 : 195-203.

澤井 健

〈原著論文〉

- 1) Skarzynski, D.J., Piotrowska, K.K., Bah, M.M., Korzekwa, A., Woclawek-Potocka, I., Sawai, K. and Okuda, K. (2009) Effects of exogenous tumour necrosis factor- α on the

- secretory function of the bovine reproductive tract depend on tumour necrosis factor- α concentrations. *Reprod. Domest. Anim.*, 44, 371-379.
- 2) Ezzat, Ahmed, A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Yamashita, T., Hirata, T.I., Sawai, K. and Hashizume, T. (2009) Characteristics of the Stimulatory Effect of Kisspeptin-10 on the Secretion of Luteinizing Hormone, Follicle-Stimulating Hormone and Growth Hormone in Prepubertal Male and Female Cattle. *Jour. Reprod. Devel.*, 55, 650-654.
 - 3) Hashizume, T., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, A., Ahmad, Ezzat, A., Sawai, K. and Yamashita, T. (2010) Characteristics of stimulation of gonadotropin secretion by kisspeptin-10 in female goats. *Anim. Reprod. Sci.*, 118, 37-41.
 - 4) Sawai, K., Takahashi, M., Moriyasu, S., Hirayama, H., Minamihashi, A., Hashizume, T. and Onoe, S. (2010) Changes in the DNA methylation status of bovine embryos from the blastocyst to elongated stage derived from somatic cell nuclear transfer. *Cellular Reprogramming*, 12, 15-22.
 - 5) Hirayama, H., Kageyama, S., Moriyasu, S., Sawai, K., Onoe, S. and Minamihashi, A. (2010) The possibility of a false positive arising from sperm DNA in the genetic diagnosis of bovine embryos. *Jour. Reprod. Devel.*, 56, 182-186.

【弘前大学】

鈴木 裕之

〈原著論文〉

- 1) Suzuki H., Y. Sasaki, M. Shimizu, M. Matsuzaki, T. Hashizume and H. Kuwayama : Ghrelin and leptin did not improve meiotic maturation of porcine oocytes cultured *in vitro*. *Reproduction in Domestic Animals*, 45(5), 927-930, 2010.
- 2) Kabashima K., M. Matsuzaki and H. Suzuki : Intermediate filament keratin dynamics during oocyte maturation requires maturation/M-phase promoting factor and mitogen-activated protein kinase activities in the hamster. *Reproduction in Domestic Animals*, 45(5), e184-e188, 2010.

松崎 正敏

〈著書〉

- 1) 松崎正敏・房家シン：地域食品循環資源を活用した地域特産TMR（混合飼料）の調製利用—リンゴ粕を活用したらくのう青森TMRセンターでの事例と弘前大学金木農場における地域特産牛肉生産の試み—。泉谷眞実編著，JA 総研研究叢書 2. エコフィードの活用促進—食品循環資源飼料化のリサイクル・チャネル，農産漁村文化協会，2010年2月25日。

〈原著論文〉

- 1) Kamiya, M.*, Matsuzaki, M., Orito, H.*, Kamiya, Y.*, Nakamura, Y.*, Tsuneishi, E.* : Effects of feeding level of milk replacer on body growth, plasma metabolite and insulin concentrations, and visceral organ growth of suckling calves. *Animal Science Journal*,

- 80 : 662-668, 2009. (*National Agricultural Research Center for Kyushu Okinawa Region)
- 2) Kabashima K., M. Matsuzaki and H. Suzuki : Intermediate filament keratin dynamics during oocyte maturation requires maturation/M-phase promoting factor and mitogen-activated protein kinase activities in the hamster. *Reproduction in Domestic Animals*, 45 : e184-e188, 2010.
- 3) Suzuki, H., Sasaki, Y., Shimizu, M., Matsuzaki, M., Hashizume, T., Kuwayama, H. : Ghrelin and leptin did not improve meiotic maturation of porcine oocytes cultured in vitro. *Reproduction in Domestic Animals*, 45 : 927-930, 2010.

【山形大学】

高橋 敏能

〈原著論文〉

- 1) 曹 陽・堀口健一・高橋敏能 (2009) : 食品残渣と乳酸菌の利用が飼料イネ TMR サイレージの発酵品質およびメタンと揮発性脂肪酸生成に及ぼす影響. *日本草地学会誌* 55 : 1-8
- 2) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi (2009) Effects of Addition of Food By-Products on the Fermentation Quality of a Total Mixed Ration with Whole Crop Rice and Its Digestibility, Preference, and Rumen Fermentation in Sheep. *Animal Feed Science and Technology* 151 : 1-11
- 3) 高橋敏能・吉田宣夫・松山裕城 (2009) 日本における肉用牛と乳用牛における稲発酵粗飼料の利用および山形県における飼料イネの利用事例. *日本畜産学会報* 80 : 363-389
- 4) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi, Norio Yoshida (2010) Effect of Adding Lactic Acid Bacteria and Molasses on Fermentation Quality and in vitro Ruminant Digesta of Total Mixed Ration Silage Prepared with Whole Crop Rice. *Grassland Science* 56 : 19-25
- 5) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi, Norio Yoshida, Yimin Cai (2010) Methane Emissions from Sheep Fed Fermented or Non-Fermented Total Mixed Ration Containing Whole-Crop Rice and Rice Bran. *Animal Feed Science and Technology* 157 : 72-78

戸津川 清

〈原著論文〉

- 1) Kimura N, Satoshi T, Iuchi Y, Abe H, Totsukawa K, Fujii J. (2010) Intrinsic oxidative stress causes either two-cell arrest or cell death depending on developmental stage of the embryos from SOD1-deficient mice. *Mol Hum Reprod*. 2010 Mar 11.

吉田 宣夫

〈著書〉

- 1) 吉田宣夫 (2009) : イネ飼料化の現状と可能性, 小沢 互・吉田宣夫編 : 飼料用米の栽培・

利用, 創森社, 第4章, 113-123

- 2) 吉田宣夫 (2009): 飼料研究経過と普及の動き, 最新農業技術 畜産 vol.2, 農文協, 11-17
- 3) 吉田宣夫 (2010): 飼料イネ飼料化を介した耕畜連携, 循環型酪農へのアプローチ, 酪農学園大学エクステンションセンター, 186-189

〈原著論文〉

- 1) 高橋敏能, 吉田宣夫, 松山裕城 (2009): 日本における稲発酵粗飼料の利用, および山形県における飼料イネの利用事例, 日畜会報, 80, 363-389
- 2) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi, Norio Yoshida (2010) Effect of Adding Lactic Acid Bacteria and Molasses on Fermentation Quality and in vitro Ruminant Digesta of Total Mixed Ration Silage Prepared with Whole Crop Rice. Grassland Science 56 : 19-25
- 3) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi, Norio Yoshida, Yimin Cai (2010) Methane Emissions from Sheep Fed Fermented or Non-Fermented Total Mixed Ration Containing Whole-Crop Rice and Rice Bran. Animal Feed Science and Technology 157 : 72-78
- 4) 吉田宣夫 (2010): 自給飼料研究と経営展望, 日本草地学会誌第55巻4号 p. 347-348

木村 直子

〈著書〉

- 1) Kimura N and Fujii J. Active oxygen species as a signal of embryonic developmental arrest and death. In Male and Female Infertility : Genetic Causes, Hormonal Treatments and Health Effects (Eds. By Bjorn Glantz and Klas Edquist) . Nova Science Publishers, Inc, Hauppauge, NY. ISBN : 978-1-60876-654-3. in press

〈原著論文〉

- 1) Yokoo M, Kimura N, Sato E. (2010) Induction of oocyte maturation by hyaluronan-CD44 interaction in pigs. J Reprod Dev. 2010 ; 56 : 15-19.
- 2) Kimura N*, Satoshi T, Iuchi Y, Abe H, Totsukawa K, Fujii J. (2010) Intrinsic oxidative stress causes either two-cell arrest or cell death depending on developmental stage of the embryos from SOD1-deficient mice. Mol Hum Reprod. 2010 Mar 11.

堀口 健一

〈原著論文〉

- 1) 曹 陽・堀口健一・高橋敏能 (2009): 食品残渣と乳酸菌の利用が飼料イネ TMR サイレージの発酵品質改善ならびに in vitro による乾物消失率およびメタンと揮発性脂肪酸生成に及ぼす影響. 日本草地学会誌, 55 : 1-8.
- 2) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ichi Horiguchi (2009) : Effects of addition of food by-products on the fermentation quality of a total mixed ration with whole crop rice and its digestibility, preference, and rumen fermentation in sheep. Animal Feed Science and

Technology, 151 : 1-11.

- 3) Yang Cao, Toshiyoshi Takahashi, Ken-ich Horiguchi and Norio Yoshida (2010) : Effect of adding lactic acid bacteria and molasses on fermentation quality and in vitro ruminal digestion of total mixed ration silage prepared with whole crop rice. Grassland Science, 56 : 19-25.

【帯広畜産大学】

桑山 秀人

〈原著論文〉

- 1) Takahashi, E., Kuwayama, H., Kawamoto, K., Furuoka, H., Matsui, T., Inokuma, H. Detection of serum amyloid A isoforms in cattle. J.Vet.Diag. Invest. 21 : 874-877 (2009)

手塚 雅文

〈原著論文〉

- 1) Nishimoto H, Hamano S, Hill GA, Miyamoto A, Tetsuka M. 2009. Classification of bovine follicles based on the concentrations of steroids, glucose and lactate in follicular fluid and the status of accompanying follicles. *The Journal of Reproduction and Development* 55(2) : 219-224.
- 2) Shimizu T, Kosaka N, Murayama C, Tetsuka M, Miyamoto A. 2009. Apelin and APJ receptor expression in granulosa and theca cells during different stages of follicular development in the bovine ovary : Involvement of apoptosis and hormonal regulation. *Animal Reproduction Science* 116 (1-2) : 28-37.

門平 睦代

〈著書〉

- 1) JICA. 2009. JICA 専門家(門平睦代)へのインタビュー, JICA プロフェッショナルの挑戦, シリーズ 8 : ザンビア「ザンビア大学獣医学部」関連プロジェクト～ODA がアフリカの未来を創る～, pp143-176, 独立行政法人国際協力機構 (JICA), 東京, ISBN 4-86357-007-8
- JICA. 2009. Interview with JICA experts, Mutsuyo Kadohira, Challenge of JICA professional, NO.8 : University of Zambia, JICA veterinary education project, pp143-176, JICA, Tokyo, ISBN 4-86357-007-8

〈原著論文〉

- 1) 門平睦代, 小林志歩. 2009. BSE リスク分析におけるリスクコミュニケーションの役割ーリスク評価結果を政策に反映するためにー, 畜大紀要, 30 : 1-12
- 2) 門平睦代, 堀北 哲. 2009. ワークショップの獣疫学研究への応用-BSE サーベイランス評価を事例として, 獣疫学雑誌, 13(1) : 53-59
- 3) K. Takeshi, M. Kitagawa, M. Kadohira, S. Igimi, S. Makino. 2009. Hazard Analysis of *Listeria monocytogenes* Contaminations in Processing of Salted Roe from Walleye Pollock

(*Theragra chalcogramma*) in Hokkaido, Japan. J. Vet. Med. Sci. 71(1) : 1-3.

河合 正人

〈著書〉

- 1) 河合正人. 2010. 第11章 飼料価値の評価. 増子孝義, 花田正明, 中辻浩喜編著, 乳牛栄養学の基礎と応用, pp.140-158, (株)デーリィ・ジャパン社, 東京
- 2) 河合正人, 相馬幸作. 2010. 第12章 飼料の種類とその特徴. 増子孝義, 花田正明, 中辻浩喜編著, 乳牛栄養学の基礎と応用, pp.160-173, (株)デーリィ・ジャパン社, 東京

〈原著論文〉

- 1) 飯島由子, 河合正人, 早川 聡, 朝井 洋, 花田正明. 2010. 日高管内サラブレッド種生産農家における放牧草中水溶性炭水化物含量およびウマの糞性状の季節変化. 北海道畜産学会報 52 : 41-45
- 2) 河合正人, 甲斐裕也, 奥原晶子, 横山 亨, 吉田秀則. 2010. 十勝管内の酪農家で調製された発酵 TMR の飼料配合および発酵品質. 北海道畜産学会報 52 : 47-51

木田 克弥

〈原著論文〉

- 1) Umetsu K, Kikuchi S, Nishida T, Kida K, Ihara I, Yamashiro T. 2009. The effect of anaerobic digestion in biogas plants on survival of pathogenic bacteria, Education for Sustainable Development (ESD) on Agriculture and Livestock Production and Global Environmental Issues, Organizing Committee of OASERD, pp. 31-40, Dairy Japan Co. Ltd. (ISBN : 978-4-924506-52-7)
- 2) Kawashima C, Nagashima S, Sawada K, Schweigert FJ, Miyamoto A and Kida K. (2009) Effect of β -carotene supply during close-up dry period on the onset of first postpartum luteal activity in dairy cows. *Reproduction in Domestic Animals*, In press.
- 3) El-Sherry TM, Matsui M, Kida K, Miyamoto A, Megahed GA, Shehata SH, Miyake YI. 2010. Ovarian stimulation with follicle-stimulating hormone under increasing or minimal concentration of progesterone in dairy cows. *Theriogenology* 73(4) : 488-495.

(3) 生物制御学連合講座

【岩手大学】

河合 成直

〈原著論文〉

- 1) Shaibur, M. R., Kitajima, N., Sugawara, R., Kondo, T., Imamul Huq, S.M., and Kawai, S. (2009) Effect of arsenic on phytosiderophores and mineral nutrition of barley seedlings grown in iron-depleted medium. *Soil Sci. Plant Nutr.*, 55, 283-293.
- 2) Kashem, A. Md., Kawai S., Kikuchi N., Takahashi H., Sugawara, R., and Singh, B. R. (2009)

- Effect of lherzolite on chemical fractions of Cd and Zn and their uptake by plants in contaminated soil. Water, Air, and Soil Pollution, DOI 10.1007/s11270-009-0132-7 (Published online : 10 July 2009)
- 3) 高橋秀子, 青山裕二, 菅原玲子, 北島信行, 河合成直 (2009) サトイモ, ダイコンおよびジャガイモのカドミウム吸収の特性 日本家政学会誌 60(10), 869-876.
 - 4) Shaibur, M.R., Kitajima, N., Imamul Huq, S.M. and Kawai, S. (2009) Arsenic-iron interaction : Effect of additional iron on arsenic-induced chlorosis in barley grown in water culture. Soil Sci. Plant Nutr., 55 : 739-746.
 - 5) Shaibur, M.R., and Kawai, S. (2009). Effect of arsenic on visible symptom and arsenic concentration in hydroponic Japanese Mustard Spinach. Environmental and Experimental Botany, 67 : 65-70.
 - 6) Shaibur, M.R., Islam, T., and Kawai, S. (2009). Response of leafy vegetable Kalmi (Water Spinach; *Ipomoea aquatica* L.) at elevated concentrations of arsenic in hydroponic culture. Water, Air and Soil Pollution, 202 : 289-300.
 - 7) 高橋秀子, 青山裕二, 河合成直 (2010) カドミウム汚染土壌で栽培したダイコン 2 品種の生育初期における地上部と根部的カドミウム, 亜鉛, マンガンおよび銅の濃度 日本家政学会誌 61(1), 25-30.

溝田 智俊

〈原著論文〉

- 1) Mizota, C. (2009) Temporal variations in the concentration and isotopic signature of ammonium- and nitrate-nitrogen in soils under a breeding colony of Black-tailed Gulls (*Larus crassirostris*) on Kabushima Island, northeastern Japan. Appl. Geochem. 24 : 328-332.
- 2) Mizota, C., Doi, H., Kikuchi, E., Shikano, S., Kakegawa, T., Yurlova, N. and Yurlov, A. K. (2009) Stable isotope characterization of fluids from the Lake Chany complex, western Siberia, Russian Federation. Appl. Geochem. 24 : 319-327.
- 3) Kanaya, G., Yadrenkina, E. N., Zuykova, E. I., Kikuchi, E., Doi, H., Shiikano, S., Mizota, C. and Yurlova, N. I. (2009) Contribution of organic matter sources to cyprinid fishes in the Chany Lake-Kargat River estuary, western Siberia. Marine and Fresh Water Res. 60 : 510-518.
- 4) 溝田智俊, 嶋田哲郎, 佐々木智恵 (2009) マガンによるブロッコリーとハクサイの採食例. 日本鳥学誌, 58 : 73-76.
- 5) 嶋田哲郎, 溝田智俊 (2009) ガン類の摂食による起生期麦類の現存量と子実収量への影響 : 宮城県北部における事例解析. 日本鳥学誌, 58 : 86-90.
- 6) Fujiwara, Y., Okutani, T., Yamanaka, T., Kawato, M., Mizota, C., Fujikura, K., Yamamoto, T. and Okoshi, K. (2009) *Solemya pervernicosa* lives in sediment underneath submerged whale carcasses : Its biological significance. Venus. 68 : 27-37.
- 7) Mizota, C. (2009) Nitrogen isotopic patterns of vegetation as affected by breeding

activity of Black-tailed Gull (*Larus crassirostris*) : A coupled analysis of feces, inorganic soil nitrogen and flora. Appl. Geochem. 24 : 2027-2033.

8) 嶋田哲郎, 溝田智俊 (2009) マガンによる牧草の採食 : 植生現存量と土壤窒素動態に及ぼす影響. 日本鳥学誌, 58 : 201-205.

9) Lopez, L. C. M., Mizota, C., Yamanaka, T. and Nobori, Y. (2010) Temporal changes in tree-ring nitrogen of *Pinus thunbergii* trees exposed to Black-tailed Gull (*Larus crassirostris*) breeding colonies. Appl. Geochem. 25 : 1699-1702.

磯貝 雅道

〈原著論文〉

1) Isogai, M., Ishii, K., Umemoto, S., Watanabe, M., Yoshikawa, N. (2009) (査読有) First report of blueberry red ringspot disease caused by Blueberry red ringspot virus in Japan. Journal of General Plant Pathology 75, 140-143.

2) Igarashi, A., Yamagata, K., Sugai, T., Takahashi, Y., Sugawara, E., Tamura, A., Yaegashi, H., Yamagishi, N., Takahashi, T., Isogai, M., Takahashi, H., Yoshikawa, N. (2009) (査読有) Apple latent spherical virus vectors for reliable and effective virus-induced gene silencing among a broad range of plants including tobacco, tomato, Arabidopsis thaliana, cucurbits, and legumes. Virology 386, 407-416.

立石 貴浩

〈原著論文〉

1) 前田武己, 小藤田久義, 立石貴浩, 築城幹典 (2009) 異なる副資材を用いた乳牛ふん堆肥化早期のアンモニア揮散. 農業機械学会誌, 71 : 81-87.

【弘前大学】

青山 正和

〈著書〉

1) 青山正和 : 土壌団粒-形成・崩壊のドラマと有機物利用-, pp.173, 農山漁村文化協会, 2010.

〈原著論文〉

1) 坂本 清*・青山正和 : リンゴ剪定枝堆肥の施用がリンゴ苗木の生育および土壌理化学性に及ぼす影響. 園芸学研究, 9 : 153-158, 2010. (* 青森県農林総合研究センター)

2) Aoyama, M., Karim, S. and Okuyama, Y. : Two-dimensional gel electrophoresis of humic acids. In Advanced in Natural Organic Matter and Humic Substances Research 2008-2010, Vol. 1, Ed. J.A. Gonzalez-Perez, F.J. Gonzalez-Vila and G. Almendros, p. 27-30, Digital CSIC, Madrid, Spain, 2010.

佐野 輝男

〈原著論文〉

- 1) Kawaguchi-Ito, Y., Li, S-F., Tagawa, M., Araki, H., Goshono, M., Yamamoto, S., Tanaka, M., Narita, M., Tanaka, K., Liu, S-X., Shikata, E., Sano, T.* : Cultivated grapevines represent a symptomless reservoir for the transmission of hop stunt viroid to hop crops : 15 years of evolutionary analysis. PLoS ONE 4(12) : e8386. doi : 10.1371/ journal. pone.0008386, 2009. (*corresponding author)
- 2) Kurauchi, T., Matsumoto, T., Taneda, A., Sano, T. and Senda, M. : Endogenous short interfering RNAs of chalcone synthase genes associated with inhibition of seed coat pigmentation in soybean. Breeding Science. 59(4) : 419-426. 2009.
- 3) Tanaka, K., Hirayama, K., Yonezawa, H., Hatakeyama, S., Harada, Y., Sano, T., Shirouzu, T. and Hosoya, T. Molecular taxonomy of bambusicolous fungi : Tetraplosphaeriaceae, a new pleosporalean family with Tetraploa-like anamorphs. Studies in Mycology 64 : 175-209. 2009. doi : 10.3114/sim.2009.64.10
- 4) Nekoduka, S., Tanaka, K., Harada, Y., Sano, T.* : Phylogenetic affinity of Mycochaetophora gentianae, the causal fungus of brown leaf spot on gentian (*Gentiana triflora*) , to Pseudocercospora-like hyphomycetes in Helotiales. Mycoscience, 51 : 123-133. 2010
- 5) Sano, T.*, Barba, M., Li, S-F. and Hadidi, A. : Viroids and RNA silencing ; Mechanism, role in viroid pathogenicity and development of viroid-resistant plants. GM Crops 1 : 2, 1-7 ; March/April 2010 (c) 2010 Landes Bioscience (*corresponding author)

比留間 潔

〈原著論文〉

- 1) Hiruma, K., and Riddiford, L.M. (2010) . Developmental expression of mRNAs for epidermal and fat body proteins and hormonally regulated transcription factors in the tobacco hornworm, *Manduca sexta*. *J. Insect Physiol.* 56, 1390-1395.
- 2) Kaneko, Y., Shinoda, T., and Hiruma, K. (2010) . Remodeling of the corpora cardiaca and the corpora allata during adult metamorphosis in *Bombyx mori* : identification of invisible corpora cardiaca by the expression of adipokinetic hormone. *Appl. Ent. Zool.*, in press.

佐原 雄二

〈著書〉

- 1) 佐原雄二 第18章採餌生態. p.204-213. 塚本勝巳(編)「魚類生態学の基礎」 恒星社厚生閣. 2010.
- 2) 佐原雄二 汽水・淡水魚類. p.222-233. 青森県「青森県の希少な野生生物-青森県レッドデータブック (2010年改訂版)」青森県. 2010.

- 1) Kawaguchi-Ito, Y., S.F. Li, M. Tagawa, H. Araki, M. Goshono, S. Yamamoto, M. Tanaka, M. Narita, K. Tanaka, S.X. Liu, E. Shikata, T. Sano : Cultivated grapevines represent a symptomless reservoir for the transmission of Hop Stunt Viroid to hop crops : 15 years of evolutionary analysis. PLoS ONE 4(12) : e8386. doi : 10.1371/journal.pone.0008386, 2009.
- 2) Schoch, C.L., P.W. Crous, J.Z. Groenewald, E.W.A. Boehm, T.I. Burgess, J. de Gruyter, G.S. de Hoog, L.J. Dixon, M. Grube, C. Gueidan, Y. Harada, S. Hatakeyama, K. Hirayama, T. Hosoya, S.M. Huhndorf, K.D. Hyde, E.B.G. Jones, J. Kohlmeyer, A. Kruys, Y.M. Li, R. Lucking, H.T. Lumbsch, L. Marvanova, J.S. Mbatchou, A.H. McVay, A.N. Miller, G.K. Mugambi, L. Muggia, M.P. Nelsen, P. Nelson, C.A. Owensby, A.J.L. Phillips, S. Phongpaichit, S.B. Pointing, V. Pujade-Renaud, H.A. Raja, E. Rivas Plata, B. Robbertse, C. Ruibal, J. Sakayaroj, T. Sano, L. Selbmann, C.A. Shearer, T. Shirouzu, B. Slippers, S. Suetrong, K. Tanaka, B. Volkmann-Kohlmeyer, M.J. Wingfield, A.R. Wood, J.H.C. Woudenberg, H. Yonezawa, Y. Zhang, J.W. Spatafora : A class-wide phylogenetic assessment of Dothideomycetes. Studies in Mycology 64 : 1-15, 2009.
- 3) Zhang, Y., C.L. Schoch, J. Fournier, P.W. Crous, J. de Gruyter, J.H.C. Woudenberg, K. Hirayama, K. Tanaka, S.B. Pointing, J.W. Spatafora, K.D. Hyde : Multi-locus phylogeny of Pleosporales : a taxonomic, ecological and evolutionary re-evaluation. Studies in Mycology 64 : 85-102, 2009.
- 4) Shearer, C.A., H.A. Raja, A.N. Miller, P. Nelson, K. Tanaka, K. Hirayama, L. Marvanova, K.D. Hyde, Y. Zhang : The molecular phylogeny of freshwater Dothideomycetes. Studies in Mycology 64 : 145-153, 2009.
- 5) Suetrong, S., C.L. Schoch, J.W. Spatafora, J. Kohlmeyer, B. Volkmann-Kohlmeyer, J. Sakayaroj, S. Phongpaichit, K. Tanaka, K. Hirayama, E.B.G. Jones : Molecular systematics of the marine Dothideomycetes. Studies in Mycology 64 : 155-173, 2009.
- 6) Tanaka, K., K. Hirayama, H. Yonezawa, S. Hatakeyama, Y. Harada, T. Sano, T. Shirouzu, T. Hosoya : Molecular taxonomy of bambusicolous fungi : Tetraplosphaeriaceae, a new pleosporalean family with *Tetraploa*-like anamorphs. Studies in Mycology 64 : 175-209, 2009.
- 7) Honma, M., S. Kudo, N. Takada, K. Tanaka, T. Miura, M. Hashimoto : Novel neofusapyrones isolated from *Verticillium dahliae* as potent antifungal substances. Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters 20 : 709-712, 2010.
- 8) Nekoduka, S., K. Tanaka, Y. Harada, T. Sano : Phylogenetic affinity of *Mycochaetophora gentianae*, the causal fungus of brown leaf spot on gentian (*Gentiana triflora*), to *Pseudocercospora*-like hyphomycetes in Helotiales. Mycoscience 51 : 123-133, 2010.
- 9) Hirayama, K., K. Tanaka, H.A. Raja, A.N. Miller, C.A. Shearer : A molecular phylogenetic assessment of *Massarina ingoldiana sensu lato*. Mycologia 102 : 729-746, 2010.
- 10) Tanaka, K., K. Hirayama, S.H. Iqbal : *Diadema ahmadii* (Pleosporales), a new ascomyce-

tous species from Pakistan. Mycotaxon 113 : 337-342, 2010.

松岡 教理

〈著書〉

- 1) 松岡教理 (2010) : 進化学について (5) 「人類の起源」への探究. 蒲生野, 42:109-113.

〈原著論文〉

- 1) Matsuoka, N. and Asano, H. (2009) : Geographic differentiation between populations of the starfish *Asterina pectinifera*. Bull.Fac.Agric.& Life Sci. Hirosaki Univ., No.12 : 1-6.

【山形大学】

俵谷 圭太郎

〈原著論文〉

- 1) Akhter A, Khan MSH, Egashira H et al. 2009 : Greater contribution of low-nutrient tolerance to sorghum and maize growth under combined stress conditions with high aluminum and low nutrients in solution culture simulating the nutrient status of tropical acid soils. Soil Science and Plant Nutrition 55, 394-406.
- 2) Akhter A, Wagatsuma T, Khan MSH & Tawarayama K 2009 : Comparative studies on aluminum tolerance screening techniques for sorghum, soybean, and maize in simple solution culture. American Journal of Plant Physiology, 4, 1-8
- 3) Khan MSH, Wagatsuma T, Akhter A & Tawarayama K 2009 : Sterol biosynthesis inhibition by paclobutrazol induces greater aluminum (Al) sensitivity in Al-tolerant rice. American Journal of Plant Physiology, 4, 89-99.

生井 恒雄

〈原著論文〉

- 1) Kei Sugawara, Ayako Matsudate, Yoko Ito and Tsuneo Namai (2009) : Anthracnose of hristomas rose caused by Colletotrichum sp. J. Gen. Plant Pathol. 75:163-166.
- 2) 大場淳司・吉田重信・對馬誠也・生井恒雄 (2009) : 赤かび病抵抗性の異なるコムギ2品種における赤かび病発生とデオキシニバレノール蓄積に及ぼす感染時期の影響. 日本植物病理学会報 75 : 93-101.
- 3) 菅原 敬・松館綾子・佐藤 衛・生井恒雄 (2009) : ルリタマアザミに発生した灰色かび病 (新称), 菌核病 (新称) および葉腐れ病葉腐病. 北日本病害虫研究会報 60 : 112-117.

安田 弘法

- 1) 安田弘法 (2009) 害虫管理の新展開 : 群集生態学の視点から, pp.63-94, 「新たな保全と管理を考える」 (大串隆之・近藤倫生・椿宣高編), 京都大学学術出版会,

我妻 忠雄

〈原著論文〉

- 1) Khan MSH, Wagatsuma T, Akhter A, Tawarayama K (2009) : Sterol biosynthesis inhibition by paclobutrazol induces greater aluminum (Al) sensitivity in Al-tolerant rice. *American journal of Plant Physiology*, 4, 89-99.
- 2) アルミニウム耐性における根端細胞膜脂質層の意義に関する研究 (2009) : 日本土壤肥料学雑誌, 80, 450-453.

〈学会賞〉

- 1) 日本土壤肥料学会賞 (2009 年)

佐藤 智

〈原著論文〉

- 1) Satoru SATO, Kohei KUSHIBUCHI and Hironori YASUDA (2009) Effect of reflex bleeding of a predatory ladybird beetle, *Harmonia axyridis* (Pallas) (Coleoptera : Coccinellidae), as a means of avoiding intraguild predation and its cost. *Applied Entomology and Zoology*, 44(2), 203-206.
- 2) Satoru Sato, Katsuhiko Shinya, Hironori Yasuda, Pavel Kindlmann and Anthony F. G. Dixon (2009) Effects of intra and interspecific interactions on the survival of two predatory ladybirds (Coleoptera : Coccinellidae) in relation to prey abundance. *Applied Entomology and Zoology*, 44(2), 215-221.
- 3) Satoru SATO, Hironori YASUDA, Edward W. EVANS, Anthony F. G. DIXON (2009) Vulnerability of larvae of two species of aphidophagous ladybirds, *Adalia bipunctata* Linnaeus and *Harmonia axyridis* Pallas, to cannibalism and intraguild predation. *Entomological Science*, 12(2), 111-115.

長谷 修

〈原著論文〉

- 1) Kawamura, Y., Takenaka, S., Hase, S., Kubota, M., Ichinose, Y., Kanayama, Y., Nakahara, K., Klessig, D.F. and Takahashi, H. (2009) : Enhanced defense responses in *Arabidopsis* induced by the cell wall protein fractions from *Pythium oligandrum* require SGT1, RAR1, NPR1 and JAR1. *Plant and Cell Physiology* 50 : 924-934
- 2) 高橋英樹・長谷 修・竹中重仁 (2009). モデル植物トマト：マイクロトムを用いた病害研究の現状と今後の展望. *植物防疫* 63 : 605-607.
- 3) Takahashi, H., Hase, S., Kanayama, Y. and Takenaka S. (2010) Identification of a protein that interacts with LeATL6 ubiquitin-protein ligase E3 upregulated in Tomato treated with elicitor-like cell wall proteins of *Pythium oligandrum*. *Journal Phytopathology* 158 : 132-136.

【帯広畜産大学】

小池 正徳

〈原著論文〉

- 1) 李 香珍, 谷 昌幸, 相内大吾, 小池正徳, 倉持勝久. 2009. 圃場還元利用されている実際の牛ふん尿堆肥に含まれる腐植酸およびフルボ酸の化学的特徴. 日本土壤肥科学雑誌 80(4) : 335-346

谷 昌幸

〈原著論文〉

- 1) 李 香珍, 谷 昌幸, 相内大吾, 小池正徳, 倉持勝久. 2009. 圃場還元利用されている実際の牛ふん尿堆肥に含まれる腐植酸およびフルボ酸の化学的特徴. 日本土壤肥科学雑誌 80(4) : 335-346
- 2) 申 宝明, 佐藤禎稔, 岸本 正, 谷 昌幸, 仙北谷康, 加藤 拓, 林 美俊. 2010. マニユアスプレッダの堆肥散布機構と散布精度, 農業機械学会北海道支部会報, 50 : 25-30

2 生物資源科学専攻

(1) 生物機能開発学連合講座

【岩手大学】

磯部 公安

〈著書〉

- 1) 磯部公安 (分担執筆) (2009) コレステロールオキシダーゼと食品分析, フードプロテオミクス - 食品酵素の応用利用技術 - (井上國世監修), シーエムシー出版, 東京, pp.209-215.

平 秀晴

〈原著論文〉

- 1) Miyazaki, M., Segawa, H., Yamashita, T., Zhu, Y., Takizawa, K., Hasegawa, M. and Taira, H. Construction and characterization of a fluorescent Sendai virus carrying the gene for envelope fusion protein fused with enhanced green fluorescent protein. Biosci. Biotechnol. Biochem., 74, 2293- 2298 (2010)
- 2) Miyazaki, M., Fujiwara, K., Suzuki, Y., Wakamatsu, N., Taira, H., Suzuki, A. and Yamashita, T. Screening for proteinuria in cats using a conventional dipstick test after removal of cauxin from urine with a *Lens culinaris* agglutinin lectin tip. The Veterinary Journal in press (2010)
- 3) Kozai, M., Sasamori, E., Fujihara, M., Yamashita, T., Taira, H. and Harasawa, R. Growth

inhibition of human melanoma cells by a recombinant arginine Deiminase expressed in *Escherichia coli*. J. Vet. Med. Sci., 71, 1343-1347 (2009)

山下 哲郎

〈原著論文〉

- 1) Ezzat, A., Saito, H., Sawada, T., Yaegashi, T., Yamashita, T., Hirata, T., Sawai, K. and Hashizume, T. (2009) Characteristics of the Stimulatory Effect of Kisspeptin-10 on the Secretion of Luteinizing Hormone, Follicle-Stimulation Hormone and Growth Hormone in Prepubertal Male and Female Cattle. J. Reprod. Dev. 55 : 650-654.
- 2) Minami, A., Fujiwara, M., Furuto, A., Fukao, Y., Yamashita, T., Kamo, M., Kawamura, Y., Uemura*, M. (2009) Alterations in detergent-resistant plasma membrane microdomains in *Arabidopsis thaliana* during cold acclimation. Plant Cell Physiol. 50 : 341-359.
- 3) Kozai, M., Sasamori, E., Fujihara, M., Yamashita, T., Taira H. and Harasawa, R. (2009) Growth Inhibition of Human Melanoma Cells by a Recombinant Arginine Deiminase Expressed in *Escherichia coli*. J. Vet. Med. Sci. 7 : 1343-1347.
- 4) Ozaki, T., Yamashita, T. and Ishiguro, S. (2009) Mitochondrial m-calpain plays role in release of truncated apoptosis-inducing factor from mitochondria Biochim.Biophys.Acta-MCR 1793 : 1848-1859
- 5) Katayama R., Yamaguchi, N., Yamashita, T., Watanabe, S., Satoh, H. Yamagishi, N., Furuhashi, K. (2010) Calculation of glomerular filtration rate in conscious rats by the use of a bolus injection of iodixanol and a single blood sample. J. Pharmacol. Toxcol. Methods 61 : 59-64

〈特許〉

- 1) Yamashita, T. and Suzuta, Y. (2010) DIAGNOSTIC AGENT FOR URINARY PROTEIN OF CAT 12/452,687 USA
- 2) 山下哲郎, 松野伸哉, 齊藤恭一, 鈴木靖幸, 伊藤綾子 (2010) ネコ尿中コーキシン除去材料特願 2010-032990

若林 篤光

〈原著論文〉

- 1) Tokumitsu Wakabayashi, Yukihiro Kimura, Yusuke Ohba, Ryota Adachi, Yoh-ichi Satoh and Ryuzo Shingai. : *In vivo* calcium imaging of OFF-responding ASK neurons in *C. elegans* *Biochimica et Biophysica Acta-General Subject* 1790, 765-769 (2009)

【弘前大学】

石田 幸子

〈著書〉

- 1) 石田幸子：白神山地の淡水棲プランナリア．白神学入門 p31-35, 弘前大学白神自然観察行.

2010.

〈原著論文〉

- 1) Suzuki, T., W. Yoshida, S. Ishida : Studies on the chromosomal polymorphisms of Japanese freshwater planarian, *Seidlia auriculata*. Information, 13(3A) : 767-773, 2010.
- 2) Nagasawa, R., S. Ogura, M. Takahashi, S. Ishida : Karyotype analysis of 7 species in polyclads. Information, 13(3A) : 759-766, 2010.

黒尾 正樹

〈原著論文〉

- 1) Kuro-o, M., H. Yonekawa, S. Saito, M. Eda, H. Higuchi, H. Koike, H. Hasegawa : Unexpectedly high genetic diversity of mtDNA control region through severe bottleneck in vulnerable albatross *Phoebastria albatrus*. Conserv. Genet., 11 : 127-137, 2010.
- 2) Eda, M., M. Kuro-o, H. Higuchi, H. Hasegawa, H. Koike : Mosaic gene conversion after a tandem duplication of mtDNA sequence in Diomedidae (albatrosses). Genes Genet. Syst., 85 : 129-139, 2010.

石黒 誠一

〈原著論文〉

- 1) Taku Ozaki , Tetsuro Yamashita, Sei-ichi Ishiguro : Mitochondrial m-calpain plays role in release of truncated apoptosis-inducing factor from mitochondria. Biochimica et Biophysica Acta 1793 : 1848-1859, 2009.
- 2) Kota Sato, Mitsuru Nakazawa, Kimio Takeuchi, Sayuri Mizukoshi, Sei-ichi Ishiguro : S-opsin protein is incompletely modified during N-glycan processing in Rpe65^{-/-} mice. Experimental Eye Research 91 : 54-62, 2010.
- 3) Sayuri Mizukoshi, Mitsuru Nakazawa, Kota Sato, Taku Ozaki, Tomomi Metoki, Sei-ichi Ishiguro : Activation of Mitochondrial Calpain and Release of Apoptosis-Inducing Factor from Mitochondria in RCS Rat Retinal Degeneration. Experimental Eye Research 91 : 353-361, 2010.

大町 鉄雄

〈原著論文〉

- 1) Nagayama K and Ohmachi T. : Mitochondrial processing peptidase activity is controlled by the processing of-MPP during development in *Dictyostelium discoideum*. Microbiology, 156(4), 978-989, 2010.

橋本 勝

〈原著論文〉

- 1) Yamamoto, K., Noguchi, S., Takada, N., Miyairi, K., Hashimoto, M. : Synthesis of a trigalacturonic acid analogue mimicking the expected transition state in the glycosidases.

Carbohydr. Res. 345, 572-585, (2010).

- 2) Honma, M., Kudo, S., Takada, N., Miura, T., Hashimoto, M. : Novel Neofusapyrones Isolated from *Verticillium dahliae* as Potent Antifungal Substances. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, 20, 709-712 (2010).

片方 陽太郎

〈原著論文〉

- 1) Matsui Y., Takahashi T., Kamei M., Ito, T. and Katagata Y. : Effect of passion fruit on skin health. *Acta Hort*, 841, 557-561, 2009.
- 2) Katagata Y. and Sasaki F. : Antiproliferative activity of extracts prepared from three species of Reishi on cultured human normal and tumor cell lines. *Molecular Medicine Reports*, 3, 179-184, 2010.

宮入 一夫

〈原著論文〉

- 1) Ogawa, S., T. Shimizu, T. Kimura, K. Utho, T. Okuno, and K. Miyairi : The Pro-form of *Stereum purpureum* Endopolygalacturonase I is inactivated by a prosequence in the C-terminal region : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 74 : 558-562, 2010.
- 2) Tonouchi, A., R. Umehara, T. Sanuki, T. Fukuzawa, A. Ogasawara, and K. Miyairi : Cloning of the gene encoding an endo-acting low-molecular weight pectate lyase from *Streptomyces thermocarboxydus* : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 74 : 433-436, 2010.
- 3) Miyairi, K., S. Ogawa, T. Shimizu, T. Kimura, and T. Okuno : Auto-inactivation of *Stereum purpureum* proendopolygalacturonase I by C-terminal 44 amino acid residues : *J. Appl. Glycosci.*, 57 : 151-156, 2010.
- 4) Yamamoto, K., S. Noguchi, N. Takada, K. Miyairi, and M. Hashimoto : Synthesis of tri-galacturonic acid analogue mimicking the expected transition state in the glycosidases : *Carbohydrate Research*, 345 : 572-585, 2010.
- 5) Harada, T., K. Miyairi, and N. Muraia : Trimeric glycoproteins of bean seed storage protein phaseolin were purified from baculovirus-infected insect Sf 9 cells for use of structural study : *Plant Science*, 179 : 123-132, 2010.

殿内 暁夫

〈原著論文〉

- 1) Tonouchi, A., Hara, Y., Umehara, R., Sanuki, T., Fukusawa, T., and Miyairi, K. : Cloning of the gene encoding an endo-acting pectate lyase from *Streptomyces thermocarboxydus*. *Biosci Biotechnol Biochem* 74, 433-436, (2010) .

吉田 孝

〈原著論文〉

- 1) Sakai K., Ohtaki K., Koizumi H., Totani K., Kitamoto N., Sato S., Ohmachi T., Yoshida T. : Fungal cellulases of glycosyl Hydrolase Family 7 catalyze lactose condensation. *Journal of Applied Glycoscience*, 57 : 239-43 (2010) .

【山形大学】

上木 厚子

〈原著論文〉

- 1) T. Nishiyama, A. Ueki*, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2009) : *Bacteroides graminisolvens* sp. nov., a xylanolytic anaerobe isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 59 1901-1907.
- 2) A. Ueki, K. Abe, D. Suzuki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2009) : *Anaerosphaera aminiphila* gen. nov., sp. nov., a glutamate-degrading, Gram-positive anaerobic coccus isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 59 : 3161-3167
- 3) 上木厚子 (2009) : 自然生態系における無酸素環境下に分布する嫌気性原核微生物の系統分類学的研究 . IFO Research Communications No. 23, 15-38.
- 4) D. Suzuki, A. Ueki*, T. Shizuku, Y. Ohtaki and K. Ueki. (2010) . *Desulfovibrio butyratophilus* sp. nov., a novel, Gram-negative, butyrate-oxidizing, sulfate-reducing bacterium isolated from an anaerobic municipal sewage sludge digester. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 60, 595-602.

上木 勝司

〈原著論文〉

- 1) T. Nishiyama, A. Ueki, N. Kaku and K. Ueki (2009) : *Clostridium sufflavum* sp. nov., isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 59 : 981-986.
- 2) T. Nishiyama, A. Ueki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2009) : *Bacteroides graminisolvens* sp. nov., a xylanolytic anaerobe isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 59 1901-1907.
- 3) A. Ueki, K. Abe, D. Suzuki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2009) : *Anaerosphaera aminiphila* gen. nov., sp. nov., a glutamate-degrading, Gram-positive anaerobic coccus isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 59 : 3161-3167.
- 4) D. Suzuki, A. Ueki, T. Shizuku, Y. Ohtaki and K. Ueki (2010) . *Desulfovibrio butyratophilus* sp. nov., a novel, Gram-negative, butyrate-oxidizing, sulfate-reducing bacterium isolated from an anaerobic municipal sewage sludge digester. *International Journal of*

Systematic and Evolutionary Microbiology, 60, 595-602.

- 5) A. Ueki, Y. Kodama, N. Kaku, T. Shiromura, A. Satoh, K. Watanabe and K. Ueki (2010) *Rhizomicrobium palustre* gen. nov., sp. nov., a facultatively anaerobic, fermentative stalked bacterium in the class Alphaproteobacteria isolated from rice plant roots. Journal General and Applied Microbiology 56(3), in press.

加来 伸夫

〈原著論文〉

- 1) T. Nishiyama, A. Ueki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2009) : *Bacteroides graminisolvens* sp. nov., a xylanolytic anaerobe isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology, 59(8), 1901-1907.
- 2) A. Ueki, K. Abe, D. Suzuki, N. Kaku, K. Watanabe and K. Ueki (2010) *Anaerosphaera aminiphila* gen. nov., sp. nov., a glutamate-degrading, Gram-positive anaerobic coccus isolated from a methanogenic reactor treating cattle waste. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology, 59(12), 3161-3167.

小関 卓也

〈原著論文〉

- 1) Ardiansyah, H. Shirakawa, T. Shimeno, T. Koseki, Y. Shiono, T. Murayama, E. Hatakeyama, M. Komai (2009) : Adenosine, an identified active component from the driselase-treated fraction of rice bran, is effective to improve metabolic syndrome in stroke-prone spontaneously hypertensive rats. Journal of Agricultural and Food Chemistry, 57, 2558-2564.
- 2) T. Koseki, A. Hori, S. Seki, T. Murayama, Y. Shiono (2009) : Characterization of two distinct feruloyl esterases, AoFaeB and AoFaeC, from *Aspergillus oryzae*. Applied Microbiology and Biotechnology, 83, 689-696.
- 3) T. Koseki, S. Fushinobu, Ardiansyah, H. Shirakawa, M. Komai (2009) : Occurrence, properties, and applications of feruloyl esterases. Applied Microbiology and Biotechnology, 84, 803-810.
- 4) Y. Shiono, S. Motoki, T. Koseki, T. Murayama, M. Tojima, K. Kimura (2009) : Isopimarane diterpene glycosides, apoptosis inducers, obtained from fruiting bodies of the ascomycete *Xylaria polymorpha*. Phytochemistry, 70, 935-939.
- 5) F. Hiramatsu, T. Murayama, T. Koseki, T. Funakoshi, Y. Shiono (2009) : Cadinane Sesquiterpenoids, Strobilols L and M, from *Strobilurus ohshimae*. Natural Product Research, in press.
- 6) Y. Shiono, A. Nitto, K. Shimanuki, T. Koseki, T. Murayama, T. Miyakawa, J. Yoshida, K. Kimura (2009) : A new benzoxepin metabolite isolated from endophytic fungus *Phomopsis* sp. Journal of Antibiotics, 62, 533-535.

- 7) T. Koseki, K. Mochizuki, H. Kisara, A. Miyanaga, S. Fushinobu, T. Murayama, Y. Shiono (2010) : Characterization of a chimeric enzyme comprising feruloyl esterase and family 42 carbohydratebinding module. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 86, 155-161.
- 8) B. H. Mohan, N. G. Malleshi, T. Koseki (2010) : Physico-chemical characteristics and non-starch polysaccharide contents of Indica and Japonica brown rice and their malts. *LWT-Food Science and Technology*, 43, 784-791.

〈学会賞〉

- 1) 酵素応用シンポジウム研究奨励賞 (2009 年)

【帯広畜産大学】

後藤 健

〈原著論文〉

- 1) Urashima T, Odaka G, Asakuma S, Uemura Y, Goto K, Senda A, Saito T, Fukuda K, Messer M, Oftedal OT. 2009. Chemical characterization of oligosaccharides in chimpanzee, bonobo, gorilla, orangutan and siamang milk or colostrum. *Glycobiology* 19 : 499-508

得字 圭彦

〈原著論文〉

- 1) Yasuno N, I. Takamura, S. Kidou, Y. Tokuji, A. Ureshi, A. Funabiki, K. Ashikaga, U. Yamanouchi, M. Yano, and K. Kato. Rice shoot branching requires an ATP-binding cassette subfamily G protein. *New Phytologist* 182 : 91-101. 2009.
- 2) M. Kinoshita, K. Aida, Y. Tokuji, T. Sugawara and M. Ohnishi. 2009. Effects of dietary plant cerebroside on gene express in the large intestine of 1,2-dimethylhydrazine (DMH)-treated mice determined by DNA microarray analysis. *Journal of Food Lipids* 16: 200-208
- 3) Y. Tokuji, K. Akiyama, K. Yunoki, M. Kinoshita, K. Sasaki, H. Kobayashi, M. Wada and M. Ohnishi. 2009. Screening for beneficial effects of oral intake of sweet corn by DNA microarray analysis. *Journal of Food Science* 74 : H197-203
- 4) T. Nakamura, T. Nagura, M. Akiba, K. Sato, Y. Tokuji, M. Ohnishi and K. Osada. 2010. Promotive effects of dietary organic germanium, Ge-132, on the secretion and antioxidative activity of bile in rodents. *Journal of Health Science* 56 : 72-80

(2) ゲノム工学連合講座

【岩手大学】

高畑 義人

〈原著論文〉

- 1) Tougou, M., N. Yamagishi, N. Furutani, K. Kaku, T. Shimizu, Y. Takahata, J. Sakai, S. Kanematsu and S. Hidaka (2009) The application of the mutated acetolactate synthase gene from rice as the selectable marker gene in the production of transgenic soybeans. *Plant Cell Rep.* 28 : 769-776.
- 2) Mishiba, K., K. Yamane, T. Nakatsuka, Y. Nakano, S. Yamamura, J. Abe, H. Kawamura, Y. Takahata and M. Nishihara (2009) Genetic relationships in the genus *Gentiana* based on chloroplast DNA sequence data and nuclear DNA content. *Breed. Sci.* 59 : 119-127.
- 3) Wakui, K., H. Iwata, Y. Takahashi, Y. Takahata and J. Fujigaki (2009) Assessment of the congruity of genetic relationships and variation revealed by individual- and bulked-samples-based approaches using RAPD and ISSR markers in Japanese turnip (*Brassica rapa ssp. rapa*) cultivars. *Breed. Sci.* 59 : 447-452.
- 4) Choi, P., Y. Mano, A. Ishikawa, M. Odashima, T. Umezawa, T. Fujimura, Y. Takahata and T. Komatsuda (2010) Identification of QTLs controlling somatic embryogenesis using RI population of cultivar x weedy soybean. *Plant Biotechnol. Rep.* 4 : 23-27.
- 5) Lee, J., E. Sugawara, S. Yokoi and Y. Takahata (2010) Genotypic variation of volatile compounds from flowers of gentians. *Breed. Sci.* 60 : 9-17.

堤 賢一

〈著書〉

- 1) 堤 賢一, 日影孝志, 斎藤靖史 (2009) 温度と生命システム相関学. 第10章: リンドウの生存戦略: 越冬芽の耐寒性と休眠. pp192-201. 東海大学出版会

〈原著論文〉

- 1) Mizutani, M., Naganuma, T., Tsutsumi, K. and Saitoh, Y. (2010) The syncytium specific expression of the Orysa;KRP3 CDK inhibitor : Implication in its involvement in the cell cycle control in the rice (*Oryza sativa* L.) syncytial endosperm. *J. Exp. Bot.* 61(3), 791-798, (Advance access publication : 20 Nov, 2009)

横井 修司

〈原著論文〉

- 1) Komiya, R., Yokoi, S., Shimamoto, K. (2009) A gene network for long day flowering activates RFT1 encoding a mobile flowering signal in rice. *Development* 136 : 3443-3450

【弘前大学】

菊池 英明

〈原著論文〉

- 1) Shuya Kasai, Hideaki Kikuchi ; Inhibitory mechanism of the tyrosine kinase inhibitors herbimycin A, genistein and tyrphostin B48 with regard to the function of the aryl hydrocarbon receptor in Caco-2 cells. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 74(1) : 36-43, 2010.

- 2) Ishida M., Itukaichi T., Ahmed S., Kobayashi D., H. Kikuchi : Alteration of PKC-Vav complex and Phosphorylation of Vav in TCDD-induced Apoptosis in Lymphoblastic T cell line, L-MAT. *Toxicology* 275 : 72-78, 2010.

姫野 俵太

〈著書〉

- 1) 姫野俵太, 栗田大輔, 武藤 昱 : 「2つの tRNA/mRNA ハイブリッド・トランス・トランスレーション」, mRNA プログラム 多様性と非対称性の獲得戦略 (稲田利文, 大野睦人編), 2201-2206, 共立出版, 2010

〈原著論文〉

- 1) 姫野俵太, 栗田大輔, 武藤 昱 : 「2つの tRNA/mRNA ハイブリッド・トランス・トランスレーション」, 蛋白質核酸酵素, 54(16), 2201-2206, 共立出版, 2009.
- 2) Kurita, D., Muto, A., Himeno, H. : Role of the C-terminal tail of SmpB in the early stage of *trans*-translation. *RNA* 16 : 980-990, 2010.
- 3) Hokii, Y., Sasano, Y., Sato, M., Sakamoto, H., Sakata, K., Shingai, R., Taneda, A., Oka, S., Himeno, H., Muto, A., Fujiwara, T., Ushida, C. : A small nucleolar RNA functions in rRNA processing in *C. elegans*. *Nucleic Acids Res.* 38 : 5909-5918, 2010.

原田 竹雄

〈原著論文〉

- 1) Harada T., K. Miyairi, N. Murai : Trimeric glucoproteins of bean seed storage protein phaseolin were purified from baculovirus-infected insect Sf9 cells for use of structural study. *Plant Science* 179 : 123-132, 2010.
- 2) Harada T. : Grafting and RNA transport via phloem tissue in horticultural plants. *Scientia Horticulturae* 125 : 545-550, 2010.
- 3) Kanehira A., K. Yamada, T. Iwaya, R. Tsuwamoto, A. Kasai, M. Nakazono, T. Harada : Apple phloem cells contain some mRNAs transported over long distances. *Tree Genetics and Genomes* 5 : 635-642, 2010.
- 4) Xu H., W. Zhang, M. Li, T. Harada, Z. Han, T. Li : GIBBERELLIC ACID INSENSITIVE mRNA transport in both directions between stock and scion in *Malus*. *Tree Genetics and Genomes* DOI : 10.1007/s11295-010-0309-7 (2010)
- 5) Kasai A., A. Kanehira, T. Harada : miR172 can move long distances in *Nicotiana benthamiana*. *Open Plant Sci J.* 4 : 1-6, 2010.
- 6) Tsuwamoto R., T. Harada : Identification of a cis-regulatory element that acts in companion-cell-specific expression of AtMT2B promoter through the use of *Brassica* vasculature and gene-gun-mediated transient assay. *Plant and Cell Physiol.* 51 : 80-90, 2010.

牛田 千里

〈著書〉

- 1) 牛田千里 : 「RNA interference」, 分子精神医学, 第 10 卷 2 号, 53-54 頁, 2010.

〈原著論文〉

- 1) Hokii, Y., Sasano, Y., Sato, M., Sakamoto, H., Sakata, K., Shingai, R., Taneda, A., Oka, S., Himeno, H., Muto, A., Fujiwara, T., Ushida, C. : A small nucleolar RNA functions in rRNA processing in *Caenorhabditis elegans*. Nucleic Acids Res., 38 : 5909-5918, 2010.

千田 峰生

〈原著論文〉

- 1) Kurauchi, T., T. Matsumoto, A. Taneda, T. Sano, M. Senda : Endogenous short interfering RNAs of chalcone synthase genes associated with inhibition of seed coat pigmentation in soybean. Breed. Sci., 59 : 419-426, 2009.

福澤 雅志

〈原著論文〉

- 1) Yamada Y, Minamisawa H, Fukuzawa M, Kawata T, Oohata AA : Prespore cell inducing factor, psi factor, controls both prestalk and prespore gene expression in *Dictyostelium* development. Dev Growth Differ 52 : 377-383, 2010.
- 2) Oohata AA, Fukuzawa M, Hotta R, Nakagawa M, Niwa M, Takaya Y : Differentiation inducing factors in *Dictyostelium* discoideum : a novel low molecular factor functions at an early stage(s) of differentiation. Dev Growth Differ 51 : 743-752, 2009.

柏木 明子

〈原著論文〉

- 1) Kishimoto, T., Iijima, L., Tatsumi, M., Ono, N., Oyake, A., Hashimoto, T., Matsuo, M., Okubo, M., Suzuki, S., Mori, K., Kashiwagi, A., Furusawa, C., Ying, BW., Yomo T. : Transition from positive to neutral in mutation fixation along with continuing rising fitness in thermal adaptive evolution., PLoS Genetics, in press, 2010.

【山形大学】

阿部 利徳

〈原著論文〉

- 1) Lapitan V. L., E. D. Redona, T. Abe* and D.S. Brar, (2009) : Mapping of quantitative traitloci using a doubled-haploid population from the cross of indica and japonica cultivars of rice. Crop Science, 49 : 1620-1628
- 2) Kamara J.S., M. Hoshino, Y. Satoh, N. Nayar, M. Takaoka, T.Sasanuma and T..Abe*, (2009) : Japanese Sake-brewing rice cultivars show high levels of globulin-like protein and achloroplast stromal HSP70. Crop Science, 49 : 2189-2206
- 3) Kamara J.S., S. Konishi, T.Sasanuma and T. Abe* (2010) : Variation in free amino acid

profile among some rice (*Oryza sativa* L.) cultivars. *Breeding Science*, 60 : 46-54

笹沼 恒男

〈著書〉

- 1) 遠藤 隆, 河原太八, 那須田周平, 辻本 壽, 笹沼恒男, 萩原保成 (2009) : コムギ 倍数性のモデル植物, 細胞工学別冊 バイオリソース&データベース活用術 第2部バイオリソース, 193-196. : ナショナルバイオリソースプロジェクト情報運営委員会監修, 秀潤社

〈原著論文〉

- 1) D.Sehgal, V.R.Rajpal, S.N.Raina, T.Sasanuma and T.Sasakuma (2009) : Assaying polymorphism at DNA level for genetic diversity diagnostics of the safflower (*Carthamus tinctorius* L.) world germplasm resources. *Genetica*, 135, 457-470
- 2) T.Sasanuma (2009) : Genetic diversity of Afghan wheat landraces and their potential for future breeding. *Proceedings of 13th Harvard University Round Table, ETHNOGENESIS OF SOUTH AND CENTRAL ASIA (ESCA), Kyoto Session, Research Institute for Humanity and Nature*, 36-37
- 3) J.S.Kamara, M.Hoshino, Y.Satoh, N.Nayar, M.Takaoka, T.Sasanuma and Abe T. (2009) : Japanese sake-brewing rice cultivars show high levels of globulin-like protein and a chloroplast stromal HSP70. *Crop Science*, 49, 2198-2206
- 4) D.Sehgal, S.N.Raina, R.M.Devarumath, T.Sasanuma and T.Sasakuma (2009) : Nuclear DNA assay in solving issues related to ancestry of the domesticated diploid safflower (*Carthamus tinctorius* L.) and the polyploid (*Carthamus*) taxa, and phylogenetic and genomic relationships in the genus *Carthamus* L. (*Asteraceae*). *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 53, 631-644
- 5) Y.Terasawa, T.Kawahara, T.Sasakuma and T.Sasanuma* (2009) : Evaluation of the genetic diversity of an Afghan wheat collection based on morphological variation, HMW glutenin subunit polymorphisms, and AFLP. *Breeding Science*, 59, 361-37

佐藤 英世

〈原著論文〉

- 1) Yoshinari, O., Sato, H., and Igarashi, K. (2009) Anti-diabetic effects of pumpkin and its components, trigonelline and nicotinic acid, on Goto-Kakizaki rats. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73, 1033-1041.
- 2) Shibasaki, T., Iuchi, Y., Okada, F., Kuwata, K., Yamanobe, T., Bannai, S., Tomita, Y., Sato, H., and Fujii, J. (2009) Aggravation of ischemia-reperfusion-triggered acute renal failure in xCT-deficient mice. *Archives of Biochemistry and Biophysics*, 490, 63-69.

豊増 知伸

〈著書〉

- 1) Toyomasu, T., Sassa, T. (2010) : 1.17 Diterpenes. In *Comprehensive Natural Products*

〈原著論文〉

- 1) Toyomasu, T., Kagahara, T., Hirose, Y., Usui, M., Abe, S., Okada, K., Koga, J., Mitsunashi, W., and Yamane, H. (2009) : Cloning and characterization of cDNAs encoding ent-copalyl diphosphate synthases in wheat : insight into the evolution of rice phytoalexin biosynthetic genes. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 73 : 772-775.
- 2) Murayama, H., Arikawa, M., Sasaki, Y., Dal Cin, V., Mitsunashi, W., and Toyomasu, T. (2009) : Effect of ethylene treatment on expression of polyuronide-modifying genes and solubilization of polyuronides during ripening in two peach cultivars having different softening characteristics. *Postharvest Biol. Technol.* 52 : 196-201.
- 3) Toyomasu, T., Tsukahara, M., Kenmoku, H., Anada, M., Nitta, H., Mitsunashi, W., Sassa, T., and Kato, N. (2009) : Transannular proton transfer in the cyclization of geranylgeranyl diphosphate to fusicoccadiene, a biosynthetic intermediate of fusicoccins. *Org. Lett.*, 11 : 3044-3047.
- 4) Hashimoto, M., Higuchi, Y., Takahashi, S., Osada, H., Sakaki, T., Toyomasu, T., Sassa, T., Kato, N., and Daiiri, T. (2009) : Functional analyses of cytochrome P450 genes responsible for the early steps of brassicene C biosynthesis. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, 19 : 5640-5643.
- 5) Fukuda, M., Matsuo, S., Kikuchi, K., Mitsunashi, W., Toyomasu, T., and Honda, I. (2009) : Up-regulation of endogenous level of a bioactive gibberellin through LsGA3ox1 expression during stem elongation stimulated by higher temperature in lettuce. *J. Plant Physiol.*, 166 : 2077-2084.
- 6) Nakano, C., Hoshino, T., Sato, T., Toyomasu, T., Daiiri, T., and Sassa, T. (2010) : Substrate specificity of the CYC2 enzyme from *Kitasatospora griseola* : production of sclarene, biformene and novel bicyclic diterpenes by the enzymatic reactions of labdane- and halimane-type diterpene diphosphate. *Tetrahedron Lett.*, 51 : 125-128.

【帯広畜産大学】

三浦 秀穂

〈原著論文〉

- 1) Kouzaki H., S. Kidou, H. Miura, and K. Kato ; Genomic diversity of germinating Scutellum specific gene P23k in barley and wheat. *Genetica* 137 : 233-242. 2009
- 2) Kottarachchi N.S., Takao S., Kato K., Miura H. 2009. Identification of grain dormancy QTLs in a white-grained wheat population derived from Zen x Spica cross. *Tropical Agricultural Research & Extension* 11 : 1-6
- 3) Nakamura S., Chono M., Abe F., Miura H. 2010. Mapping a diploid wheat abscisic acid 8'hydroxylase homologue in the seed dormancy QTL region on chromosome 5Am. *Euphytica* 171 : 111-120, 2010

加藤 清明

〈原著論文〉

- 1) Oikawa A, Nagai K, Kato K, Kidou S; Gene silencing of barley P23k involved in Secondary wall formation causes abnormal tiller and intercalary elongation. *Breeding Science* 59: 664-670. 2009
- 2) Kouzaki H, S. Kidou, H. Miura, and K. Kato; Genomic diversity of germinating Scutellum specific gene P23k in barley and wheat. *Genetica* 137 : 233-242. 2009
- 3) Cervantes-Martinez I, Sandhu D, Xua M., Ortiz-Perez E, Kato K, Hornere HT, and Palmer RG; The male sterility locus ms3 is present in a fertility controlling gene cluster in soybean. *Journal of Heredity* 100 : 565-570. 2009
- 4) Ariyaratne M, Takamure I, and Kato K; Shoot branching control by reduced culm Number 4 in rice (*Oryza sativa* L.). *Plant Science* 176 : 744-748. 2009
- 5) Yasuno N, I. Takamure, S. Kidou, Y. Tokuji, A. Ureshi, A. Funabiki, K. Ashikaga, U. Yamanouchi, M. Yano, and K. Kato; Rice shoot branching requires an ATP-binding cassette subfamily G protein. *New Phytologist* 182 : 91-101. 2009.
- 6) Kottarachchi N.S., Takao S., Kato K., Miura H. 2009. Identification of grain dormancy QTLs in a white-grained wheat population derived from Zen x Spica cross. *Tropical Agricultural Research & Extension* 11 : 1-6

(3) 生物資源利用学連合講座

【岩手大学】

長澤 孝志

〈原著論文〉

- 1) Sugawara, T., Ito, Y., Nishizawa, N. and Nagasawa, T. (2009) Regulation of muscle protein degradation, not synthesis, by dietary leucine in rats fed a protein-deficient diet. *Amino Acids* 37 : 609-616.
- 2) Sugawara, T., Ito, Y., Nishizawa, N. and Nagasawa, T. (2009) Measurement of rate of myofibrillar protein degradation using the arteriovenous difference in plasma 3-methylhistidine concentration of rats. *J. Nutr. Sci. Vitaminol.* 55 : 381-384.

木村 賢一

〈原著論文〉

- 1) Shiono, Y., Motoki, S., Koseki, T., Murayama, T., Tojima, M. and Kimura, K. (2009) Isopimarane diterpene glycosides, apoptosis inducers, obtained from fruiting bodies of the Ascomycete *Xylaria polymorpha*. *Phytochemistry*, 70 : 935-939.
- 2) Shiono, Y., Nitto, A., Shimanuki, K., Koseki, T., Murayama, T., Miyakawa, T., Yoshida, J. and Kimura, K. (2009) A new benzoxepin metabolite isolated from endophytic fungus

Phomopsis sp. J. Antibiot., 62 : 533-535.

- 3) Ugarenko, M., Nudelman, A., Rephaeli, A., Kimura, K., Phillips, D. R. and Cutts, S. M. (2010) ABT-737 overcomes Bcl-2 mediated resistance to doxorubicin-DNA adducts. Biochem. Pharmacol. 79 : 339-349.
- 4) Attrapadung, S., Yoshida, J., Kimura, K., Mizunuma, M., Miyakawa, T. and Thanomsu, B. W. (2010) Identification of ricinoleic acid as an inhibitor of Ca^{2+} signal-mediated cell-cycle regulation in budding yeast. FEMS Yeast Res., 10 : 38-43.
- 5) Tsuchiya, E., Yukawa, M., Ueno, M., Kimura, K. and Takahashi, H. (2010) A novel method for screening cell-cycle blockers as candidates for anti-tumor reagents using yeast as a screening tool. Biosci. Biotechnol. Biochem., 74 : 411-414.
- 6) Aburai, N., Yoshida, M., Ohnishi, M. and Kimura, K. (2010) Sanguinarine as a potent and specific inhibitor of protein phosphatase 2C *in vitro* and induces apoptosis via phosphorylation of p38 in HL60 cells. Biosci. Biotechnol. Biochem., 74 : 548-552.

〈特許〉

- 1) 木村賢一, 越野広雪, 宮川都吉, 新規な Ca^{2+} シグナル伝達阻害剤, 特願 2009-205207 号

小藤田 久義

〈原著論文〉

- 1) 前田武己, 小藤田久義, 立石貴浩, 築城幹典 (2009) 異なる副資材を用いた乳牛ふん堆肥化早期のアンモニア揮散農業機械学会誌 71 : 81-87.
- 2) Kimura, F., Obara, N. and Kofujita, H. (2009) Screening for condensed tannin-degrading fungi with a synthetic [^{14}C] labeled compound. Journal of Wood Science 55 : 350-358.

塚本 知玄

〈著書〉

- 1) 塚本知玄 (分担執筆) (2010) 大豆のすべて (喜多村啓介, 他編), 大豆の化学 : 配糖体成分. (株)サイエンスフォーラム, 東京, pp.145-149.
- 2) 塚本知玄, 吉城由美子 (分担執筆) (2010) 大豆のすべて (喜多村啓介, 他編), サポニンの機能性. (株)サイエンスフォーラム, 東京, pp.281-287

〈原著論文〉

- 1) Tsukamoto, C., Sa Rula, Asano, H. and Ando, K. (2009) Evaluation of milk quality in delivering sterilized milk with soft tank transportation system. J. Food Sci., 74 : S303-S308.
- 2) Lee, J. D., Shannon, J. G., Vuong, T. D., Moon, H., Nguyen, H. T., Tsukamoto, C. and Chung, G. (2010) Genetic diversity in wild soybean (*Glycine soja* Sieb. and Zucc.) accessions from southern islands of Korean peninsula. Plant Breeding 129 : 257-263.
- 3) Takada, Y., Sayama, T., Kikuchi, A., Kato, S., Tatsuzaki, N., Nakamoto, Y., Suzuki, A., Tsukamoto, C. and Ishimoto, M. (2010) Genetic analysis of variation in sugar chain composition at the C-22 position of group A saponins in soybean, *Glycine max* (L.) Merrill. Breed. Sci. 60 : 3-8.

三浦 靖

〈著書〉

- 1) 三浦 靖 (分担執筆) (2009) : ミルクの事典. 朝倉書店, 東京, pp.317-321.

〈原著論文〉

- 1) 金野 亮, 三浦 靖 (2010) 多重2値化イメージング法のパン内相模擬板による検証および市販食パンのすだちに関するデジタル画像解析への適用. 日本食品科学工学会誌 57 : 517-524.

〈特許〉

- 1) 三輪章志, 中村恵美, 三浦 靖, 小林昭一, 三国克彦, 野田文雄, 高橋 明 (2010) 脂溶性ビタミンないし脂溶性ビタミン様物質の油脂-糖質粉末素材及びその製造方法 公開番号 2010-46002.

伊藤 芳明

〈原著論文〉

- 1) Sugawara, T., Ito, Y., Nishizawa, N., Suzuki, H., Kobayashi, H. and Nagasawa, T. (2009) Measurement of the rate of myofibrillar protein degradation using the arteriovenous difference in plasma 3-methylhistidine concentration of rats. J. Nutr. Sci. Vitaminol. 55 : 381-384.
- 2) Sugawara, T., Ito, Y., Nishizawa, N. and Nagasawa, T. (2009) Regulation of muscle protein degradation, not synthesis, by dietary leucine in rats fed a protein-deficient diet. Amino Acids 37 : 609-616.

〈特許〉

- 1) 長澤孝志, 伊藤芳明, 小浜恵子, 山口佑子 : 脂質代謝改善機能を有するカリン由来ポリフェノール 特願 2010-075934

小出 章二

〈原著論文〉

- 1) Koide, S. (2010) Cooked rice evaluation as affected by polished rice with cracked surface. J JSAM, 72(1) : 93-95.
- 2) Dong, R., Lu, Z., Liu, Z., Koide, S., Cao, W. (2010) Effect of drying and tempering on rice fissuring analysed by integrating intra-kernel moisture distribution. J Food Engineering, 97(2), 161-167.

前田 武己

〈原著論文〉

- 1) 前田武己, 小藤田久義, 立石貴浩, 築城幹典 (2009) 異なる副資材を用いた乳牛ふん堆肥化早期のアンモニア揮散, 農業機械学会誌, 71(5) : 81-87.
- 2) 築城幹典, 齋藤弘太郎, 前田武己 (2009) 酪農における環境影響の経年的変化のライフサイクルアセスメント, システム農学, 25 : 185-194.

- 3) 濱戸もえぎ, 前田武己, 小野剛志, 雑賀 優 (2009) 堆肥化過程を異にする家畜排せつ物堆肥の飼料用トウモロコシ (*Zea mays* L.) に対する窒素肥料効果の差異, 日本草地学会誌, 55 : 117-124.
- 4) 小林拓朗, 李 玉友, 久保田健吾, 原田秀樹, 前田武己, 河合和保, 吉田尊彦 (2009) 硫酸化細菌を利用したメタン発酵槽の微好気環境下におけるバイオガス脱硫, 土木学会論文集, G 65 : 104-113.

〈特許〉

- 1) 井戸田篤, 河合和保, 李 玉友, 前田武己 (2009) 燃料ガスの脱硫方法及び脱硫装置, 特願 2009-299048.

【弘前大学】

園木 和典

〈原著論文〉

- 1) Nasrin Z, Yoshikawa M, Nakamura Y, Begum S, Uesugi M, Osakabe Y, Sonoki T, Sato K, Funada R, Iimura Y, Katayama Y, Kajita S. : Overexpression of a fungal laccase gene induces non-dehiscent anthers and morphological changes in flowers of transgenic tobacco. : Journal of Wood science. 2010. *In press*.
- 2) Sonoki T, Matsumoto K, Jindo K, Sudo H, Sasaki Y. Characterization of biochar-blended composting of regional waste biomass. : Transactions in Materials Research Society of Japan. 2010. *Accepted*.

前多 隼人

〈原著論文〉

- 1) Maeda, H., Azuma, K. : 機能性食品素材としての雑海藻の高度利用 . New food industry, 52 : 33-40, 2010.

【山形大学】

芦谷 竜矢

〈原著論文〉

- 1) Ganis LUKMANDARU, Tatsuya ASHITANI, Koetsu TAKAHASHI (2009) : Color and chemical characterization of partially black-streaked heart- wood in teak (*Tectona grandis*), Journal of Forestry Research, 20(4), 377-380
- 2) De Alwis Ransika, Fujita Koki, Ashitani Tatsuya, Kuroda Ken-ichi (2009) : Volatile and non-volatile monoterpenes produced by elicitor-stimulated *Cupressus lusitanica* cultured cells, JOURNAL OF PLANT PHYSIOLOGY, 166(7), 720-728
- 3) Sekine Nobuhiro, Ashitani Tatsuya, Murayama Tetsuya, Shibutani Sakae, Hattori Satoshi, Takahashi Koetsu (2009) : Bioactivity of Latifolin and Its Derivatives against

- Termites and Fungi, JOURNAL OF AGRICULTURAL AND FOOD CHEMISTRY, 57(13), 5707-5712
- 4) Kuroda Ken-ichi, Nakagawa-izumi, Akiko, Ashitani Tatsuya, Fujita Koki (2009) : Tetramethylammonium hydroxide (TMAH) thermochemolysis of 2-arylcoumaran lignin model compounds, JOURNAL OF ANALYTICAL AND APPLIED PYROLYSIS, 86(1), 185-191
- 5) Kusumoto, Norihisa, Ashitani Tatsuya, Hayasaka Yuichi, Murayama Tetsuya, Ogiyama, Koichi, Takahashi Koetsu (2009) : Antitermitic Activities of Abietane-type Diterpenes from *Taxodium distichum* Cones, JOURNAL OF CHEMICAL ECOLOGY, 35(6), 635-642

五十嵐 喜治

〈著書〉

- 1) 五十嵐喜治 (分担執筆) (2009) : 第5章 酸化ストレス防御因子としてのアントシアニン. アントシアニンの科学, p.93-107, 建帛社
- 2) 五十嵐喜治 (分担執筆) (2010) : 第6章 機能性非栄養素, わかりやすい食品機能栄養学, p120-152, 三共出版

〈原著論文〉

- 1) O.Suzuki, H.Sato and K.Igarashi (2009) : Anti-diabetic effects of pumpkin and its components, trigonelline and nicotinic acid, on Goto-Kakizaki rats. Bioscience Biotechnology and Biochemistry, 73, 1033-1041-192
- 2) T.Sugawara and K.Igarashi (2009) : Identification of major flavonoids in petals of edible chrysanthemum flowers and their suppressive effects on carbon tetrachloride-induced liver injury in mice. Food Science and Technology Research, 15, 499-506
- 3) 菅原哲也, 五十嵐喜治 (2009) : 食用キク栽培品種のフラボノイドとポリフェノール画分のラジカル消去活性, 日本食品科学工学会誌, 56, 600-604.
- 4) 五十嵐喜治 (2009) : 食品素材由来桂皮酸類の体内動態と意義. 日本食品化学振興財団第14回研究成果報告書, 104-111.

塩野 義人

〈原著論文〉

- 1) Y. Shiono, A. Nitto, K. Shimanuki, T. Koseki, T. Murayama, T. Miyakawa, J. Yoshida, K. Kimura (2009) : A New Benzoxepin Metabolite Isolated from Endophytic Fungus *Phomopsis* sp. J. Antibiot. 62, 533-535.
- 2) Y. Shiono, S. Motoki, T. Koseki, T. Murayama, M. Tojima, K. Kimura (2009) : Isopimarane Diterpene Glycosides, Apoptosis Inducers, Obtained from Fruiting Bodies of the Ascomycete *Xylaria polymorpha*. Phytochemistry, 70, 935-939
- 3) F. Hiramatsu, T. Murayama, T. Koseki, T. Funakoshi, Y. Shiono* (2010) : Cadinane Sesquiterpenoids, Strobilols L and M, from *Strobilurus ohshimae* Natural product Research, in press.
- 4) Ardiansyah, H. Shirakawa, T. Shimeno, T. Koseki, Y. Shiono, T. Murayama, E.

- Hatakeyama, M. Komai (2009) : Adenosine, an identified active component from the driselase-treated fraction of rice bran, is effective to improve metabolic syndrome in stroke-prone spontaneously Hypertensive rats. *Journal of Agricultural and Chemistry*, 57, 2558-2564.
- 5) T. Koseki, A. Hori, S. Seki, T. Murayama, Y. Shiono (2009) : Characterization of two distinct feruloyl esterases, AoFaeB and AoFaeC, from *Aspergillus oryzae*. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 83, 689-696.
- 6) T. Koseki, K. Mochizuki, H. Kisara, A. Miyanaga, S. Fushinobu, T. Murayama, Y. Shiono (2010) : Characterization of a chimeric enzyme comprising feruloyl esterase and family 42 carbohydratebinding module. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 86, 155-161.

貫名 学

〈原著論文〉

- 1) Matsuda S, Adachi K, Matsuo Y, Nukina M, Shizuri Y (2009) : Salinisporamycin, a novel metabolite from *Salinispora arenicola*. *The Journal of Antibiotics*, 62 (9) : 519-526.

村山 哲也

〈原著論文〉

- 1) Ardiansyah, H. Shirakawa, T. Shimeno, T. Koseki, Y. Shiono, T. Murayama, E.Hatakeyama, M. Komai (2009) : Adenosine, an identified active component from the driselase-treated fraction of rice bran, is effective to improve metabolic syndrome in stroke-prone spontaneously hypertensive rats. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 57, 2558-2564.
- 2) T. Koseki, A. Hori, S. Seki, T. Murayama, Y. Shiono (2009) : Characterization of two distinct feruloyl esterases, AoFaeB and AoFaeC, from *Aspergillus oryzae*. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 83, 689-696.
- 3) Y. Shiono, A. Nitto, K. Shimanuki, T. Koseki, T. Murayama, T. Miyakawa, J. Yoshida, K. Kimura (2009) : A New Benzoxepin Metabolite Isolated from Endophytic Fungus *Phomopsis* sp. *J. Antibiot.* 62, 533-535.
- 4) Y. Shiono, S.Motoki, T. Koseki, T. Murayama, M. Tojima, K. Kimura (2009) : Isopimarane Diterpene Glycosides, Apoptosis Inducers, Obtained from Fruiting Bodies of the Ascomycete *Xylaria polymorpha*. *Phytochemistry*, 70, 935-939.
- 5) T. Koseki, K. Mochizuki, H. Kisara, A. Miyanaga, S. Fushinobu, T. Murayama, Y. Shiono (2010) : Characterization of a chimeric enzyme comprising feruloyl esterase and family 42 carbohydratebinding module. *Applied Microbiology and Biotechnology*, 86, 155-161.
- 6) F. Hiramatsu, T. Murayama, T. Koseki, T. Funakoshi, Y. Shiono (2009) : Cadinane Sesquiterpenoids, Strobilols L and M, from *Strobilurus ohshimae* Natural product Research, in press.

夏賀 元康

〈原著論文〉

- 1) 西沢 隆, 森 佑子, 福島慎也, 夏賀元康, 丸山康広 (2009): 近赤外分光法によるイチゴ果実の組成別糖濃度の非破壊測定, 日本食品科学工学会誌, 56(4), 229-235
- 2) 川崎正隆, 川村周三, 中辻浩喜, 夏賀元康 (2009): 近赤外分光法による搾乳時乳質の連続測定 (第2報) - 搾乳時の乳質の測定精度 -, 農業機械学会誌, 71(3), 63-69
- 3) 夏賀元康・松野 航 (2009): 微弱発光分光による農産物の品質測定の可能性(3), 国際食品工業展 FOOMA2009 アカデミックプラザ研究発表要旨集, 16, 122-125
- 4) Motoyasu Natsuga, Wataru Matsuno, Kanichiro Yoshida, Chiaki Kanesawa, Hiroshi Ishii and Kazuo Tsukino (2009): Applicability of Chemiluminescence Spectroscopy on the Quality Change of Brown Rice, Proceedings of the 5th CIGR Section VI International Symposium on Food Processing, Monitoring Technology in Bioprocesses and Food Quality Management, Potsdam, Germany, 31 August-02 September 2009, 1339-1342
- 5) 須江芳恵・夏賀元康・江頭宏昌・池田剛士・千田智哉・堀之内名那子・赤澤経也(2009): 近赤外分光法によるエダマメの品質測定 (第1報) - 剥きマメによる食味関連成分の測定 -, 農業機械学会誌, 71(6), 98-105

【帯広畜産大学】

大西 正男

〈著書〉

- 1) 柚木恵太, 木下幹朗, 大西正男. 2009. リン脂質. 大澤俊彦, 丸山和佳子監修. 脳内老化制御とバイオマーカー: 基盤研究と食品素材 第1刷. pp.259-267. シーエムシー出版. 東京都千代田区
- 2) 木下幹朗, 大西正男. 2009. 牛乳の脂質. 上野川修一編集. ミルクの事典 初版第1刷. pp. 24-29. 朝倉書店. 東京都新宿区
- 3) 大西正男, 木下幹朗. 2009. 母乳の脂質. 上野川修一編集. ミルクの事典 初版第1刷. pp. 43-45. 朝倉書店. 東京都新宿区

〈原著論文〉

- 1) M. Kinoshita, K. Aida, Y. Tokuji, T. Sugawara and M. Ohnishi. 2009. Effects of dietary plant cerebroside on gene express in the large intestine of 1,2-dimethylhydrazine (DMH) -treated mice determined by DNA microarray analysis. *Journal of Food Lipids* 16 : 200-208
- 2) H. Kawashima, M. Ohnishi and S. Ogawa. 2009. Difference in sterol composition between male and female gonads of dominant limpet species. *Lipids* 43 : 665-669
- 3) Y. Tokuji, K. Akiyama, K. Yunoki, M. Kinoshita, K. Sasaki, H. Kobayashi, M. Wada and M. Ohnishi. 2009. Screening for beneficial effects of oral intake of sweet corn by DNA microarray analysis. *Journal of Food Science* 74 : H197-203
- 4) T. Nakamura, T. Nagura, M. Akiba, K. Sato, Y. Tokuji, M. Ohnishi and K. Osada. 2010.

Promotive effects of dietary organic germanium, Ge-132, on the secretion and antioxidative activity of bile in rodents. *Journal of Health Science* 56 : 72-80

小田 有二

〈原著論文〉

- 1) Oda Y, Mikumo D, Tajima K, Yamauchi H. 2010. Characterization of an alternative baking strain of *Saccharomyces cerevisiae* isolated from fermented cherry fruits by the analysis of *SUC2* gene. *Food Science and Technology Research* 16(1) : 45-50.
- 2) Yamada S, Shinomiya N, Ohba K, Sekikawa M, Oda Y. 2009. Enzymatic hydrolysis and ethanol fermentation of by-products from potato processing plants. *Food Science and Technology Research* 15(6) : 653-658.
- 3) Oda Y, Nakamura K. 2009. Production of ethanol from the mixture of beet molasses and cheese whey by a 2-deoxyglucose-resistant mutant of *Kluyveromyces marxianus*. *FEMS Yeast Research* 9(5) : 742-748.
- 4) Kito H, Abe A, Sujaya IN, Oda Y, Asano K, Sone T. 2009. Molecular characterization of the relationships among *Amylomyces rouxii*, *Rhizopus oryzae*, and *Rhizopus delemar*. *Bioscience, Biotechnology and Biochemistry* 73(4) : 861-864.

福島 道広

〈原著論文〉

- 1) Hashimoto N, Sekiguchi H, Masunaka A, Saito K, Yamauchi H, Noda T, Han KH, Fukushima M. 2009. Hepatic cytochrome P450 2E1 level rather than cecal condition Contributes to induction of early stage of the alcoholic liver damage in rats. *Journal of Health Science*, 55 : 356-362.
- 2) Nakamura Y, Kanazawa M, Liyanage R, Iijima S, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Yamauchi A, Hashimoto N, Ohba K, Fukushima M. 2009. Effect of white wheat bread containing sugar beet fiber on serum lipids and hepatic mRNA in rats fed a cholesterol-free diet. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73 : 1280-1285.
- 3) Liyanage R, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Tokuji K, Ohba K, Sasaki K, Jayawardana BC, Shimizu T, Fukushima M. 2009. Potato and soy peptides alter caecal and faecal lipids in rats fed cholesterol. *European Journal of Lipid Science and Technology*, 111 : 884-892.
- 4) Nakamura Y, Yabe K, Shimada K, Sasaki K, Han KH, Okada T, Sekikawa M, Ohba K, Ito N, Horiuchi K, Kawakami S, Fukushima M. 2009. Effects of fermented bean paste on serum lipids in rats fed a cholesterol-free diet. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73 : 2506-2512.
- 5) Liyanage R, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa K, Jayawardana BC, Han KH, Okada T, Ohba K, Takahata Y, Morimatsu F, Fukushima M. 2009. Porcine artery elastin preparation reduces serum cholesterol level in rats. *Journal of Functional Foods*, 1 : 405-409.

- 6) Liyanage R, Minamino S, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa M, Sasaki K, Ohba K, Jayawardana BC, Shibayama S, Fukushima M. 2010. Preparation method modulates hypocholesterolaemic responses of potato peptides. *Journal of Functional Foods*, 2 : 118-125.

木下 幹朗

〈著書〉

- 1) 柚木恵太, 木下幹朗, 大西正男. 2009. リン脂質. 大澤俊彦, 丸山和佳子監修. 脳内老化制御とバイオマーカー: 基盤研究と食品素材 第1刷. pp.259-267. シーエムシー出版. 東京都千代田区
- 2) 木下幹朗, 大西正男. 2009. 牛乳の脂質. 上野川修一編集. ミルクの事典 初版第1刷. pp.24-29. 朝倉書店. 東京都新宿区
- 3) 大西正男, 木下幹朗. 2009. 母乳の脂質. 上野川修一編集. ミルクの事典 初版第1刷. pp.43-45. 朝倉書店. 東京都新宿区

〈原著論文〉

- 1) M. Kinoshita, K. Aida, Y. Tokuji, T. Sugawara and M. Ohnishi. 2009. Effects of dietary plant cerebroside on gene express in the large intestine of 1,2-dimethylhydrazine (DMH) -treated mice determined by DNA microarray analysis. *Journal of Food Lipids* 16 : 200-208
- 2) Y. Tokuji, K. Akiyama, K. Yunoki, M. Kinoshita, K. Sasaki, H. Kobayashi, M. Wada and M. Ohnishi. 2009. Screening for beneficial effects of oral intake of sweet corn by DNA microarray analysis. *Journal of Food Science* 74 : H197-203

弘中 和憲

〈原著論文〉

- 1) 申 宝明, 佐藤禎稔, 今村城久, 弘中和憲, 岸本 正, 2010. 大規模畑作地帯におけるトラクタ作業機のうね合わせ作業の現状, 農作業研究, 45(1) : 13-19

島田 謙一郎

〈原著論文〉

- 1) Nakamura Y, Kanazawa M, Liyanage R, Iijima S, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Yamauchi A, Hashimoto N, Ohba K, Fukushima M. 2009. Effect of white wheat bread containing sugar beet fiber on serum lipids and hepatic mRNA in rats fed a cholesterol-free diet. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73 : 1280-1285.
- 2) Liyanage R, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Tokuji K, Ohba K, Sasaki K, Jayawardana BC, Shimizu T, Fukushima M. 2009. Potato and soy peptides alter caecal and faecal lipids in rats fed cholesterol. *European Journal of Lipid Science and Technology*, 111 : 884-892.
- 3) Nakamura Y, Yabe K, Shimada K, Sasaki K, Han KH, Okada T, Sekikawa M, Ohba K, Ito N, Horiuchi K, Kawakami S, Fukushima M. 2009. Effects of fermented bean paste on se-

rum lipids in rats fed a cholesterol-free diet. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 73 : 2506-2512.

- 4) Liyanage R, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa K, Jayawardana BC, Han KH, Okada T, Ohba K, Takahata Y, Morimatsu F, Fukushima M. 2009. Porcine artery elastin preparation reduces serum cholesterol level in rats. Journal of Functional Foods, 1 : 405-409.
- 5) Liyanage R, Minamino S, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa M, Sasaki K, Ohba K, Jayawardana BC, Shibayama S, Fukushima M. 2010. Preparation method modulates hypocholesterolaemic responses of potato peptides. Journal of Functional Foods, 2 : 118-125.

中村 正

〈原著論文〉

- 1) Fukuda K, Shi T, Nagami K, Leo F, Nakamura T, Yasuda K, Senda A, Motoshima H, Urashima T. 2010. Effects of carbohydrate source on physicochemical properties of the exopolysaccharide produced by *Lactobacillus fermentum* TDS030603 in a chemically defined medium. Carbohydrate Polymers 79 : 1040-1045
- 2) Change in body weight of mothers and neonates and in milk composition during denning period in captive Japanese black bears (*Ursus thibetanus japonicus*) . R. Iibuchi, N. Nakano, T. Nakamura, T. Urashima, M. Shimozuru, T. Murase and T. Tsubota, Japanese Journal of Veterinary Research 57(1) : 13-22, 2009.
- 3) T. Nakamura, T. Nagura, M. Akiba, K. Sato, Y. Tokuji, M. Ohnishi and K. Osada. 2010. Promotive effects of dietary organic germanium, Ge-132, on the secretion and antioxidative activity of bile in rodents. *Journal of Health Science* 56 : 72-80

岡田 朋子

〈原著論文〉

- 1) Nakamura Y, Yabe K, Shimada K, Sasaki K, Han KH, Okada T, Sekikawa M, Ohba K, Ito N, Horiuchi K, Kawakami S, Fukushima M. 2009. Effects of fermented bean paste on serum lipids in rats fed a cholesterol-free diet. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 73 : 2506-2512.
- 2) Liyanage R, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa K, Jayawardana BC, Han KH, Okada T, Ohba K, Takahata Y, Morimatsu F, Fukushima M. 2009. Porcine artery elastin preparation reduces serum cholesterol level in rats. Journal of Functional Foods, 1 : 405-409.

韓 圭鎬

〈原著論文〉

- 1) Hashimoto N, Sekiguchi H, Masunaka A, Saito K, Yamauchi H, Noda T, Han KH, Fukushima M. 2009. Hepatic cytochrome P450 2E1 level rather than cecal condition contributes to induction of early stage of the alcoholic liver damage in rats. Journal of Health Science, 55 : 356-362.

- 2) Nakamura Y, Kanazawa M, Liyanage R, Iijima S, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Yamauchi A, Hashimoto N, Ohba K, Fukushima M. 2009. Effect of white wheat bread containing sugar beet fiber on serum lipids and hepatic mRNA in rats fed a cholesterol-free diet. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73 : 1280-1285.
- 3) Liyanage R, Han KH, Shimada K, Sekikawa M, Tokuji K, Ohba K, Sasaki K, Jayawardana BC, Shimizu T, Fukushima M. 2009. Potato and soy peptides alter caecal and faecal lipids in rats fed cholesterol. *European Journal of Lipid Science and Technology*, 111 : 884-892.
- 4) Nakamura Y, Yabe K, Shimada K, Sasaki K, Han KH, Okada T, Sekikawa M, Ohba K, Ito N, Horiuchi K, Kawakami S, Fukushima M. 2009. Effects of fermented bean paste on serum lipids in rats fed a cholesterol-free diet. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 73 : 2506-2512.
- 5) Liyanage R, Nakamura Y, Shimada K, Sekikawa K, Jayawardana BC, Han KH, Okada T, Ohba K, Takahata Y, Morimatsu F, Fukushima M. 2009. Porcine artery elastin preparation reduces serum cholesterol level in rats. *Journal of Functional Foods*, 1 : 405-409.

3 熱・生命システム学専攻

(1) 熱・生命システム学連合講座

【岩手大学】

伊藤 菊一

〈原著論文〉

- 1) Seymour, R.S. and Ito, K. (2010) Thermal clamping of temperature-regulating flowers reveals the precision and limits of the biochemical regulatory mechanism. *Planta* 231 : 1291-1300.
- 2) Sato, Y., Yang, P., An, Y., Matsukawa, K., Ito, K., Imanishi, S., Matsuda, H., Uchiyama, Y., Imai, K., Ito, S., Ishida, Y. and Suzuki, K. (2010) A palmitoyl conjugate of insect pentapeptide Yamamarin arrests cell proliferation and respiration. *Peptides* 31 : 827-833.

〈特許〉

- 1) 伊藤孝徳, 伊藤菊一, 長田 洋, 石橋政三 (2010) 疑似乱数生成装置, 疑似乱数生成方法及びそのプログラム. 特許出願, 出願番号: 特願 2010-293811, 日本.
- 2) 伊藤菊一, 伊藤孝徳, 長田 洋 (2010) 温度制御方法, 及び温度制御装置. 特許登録, 特許第 4590569. 日本

上村 松生

〈著書〉

- 1) Minami, A., Kawamura, Y., Yamazaki, T., Furuto, A. and Uemura, M. (分担執筆)

- (2009) Plasma membrane and plant freezing tolerance : possible involvement of plasma membrane microdomains in cold acclimation. In : Plant Cold Hardiness : from the Laboratory to the Field (Eds. : L.V. Gusta, M.E. Winiewski and K.K. Tanino) , CABI Publishing, Oxfordshire, pp. 62-71.
- 2) Kaplan, F., Sung, D.Y., Haskell, D., Riad, G.S., Popp, M., Amaya, M., LaBoon, A., Kawamura, Y., Tominaga, Y., Kopka, J., Uemura, M., Lee, K.-J., Brecht, J.K. and Guy, C.L. (分担執筆) (2009) Could ethanolic fermentation during cold shock be a novel plant cold stress coping strategy? In : Plant Cold Hardiness : from the Laboratory to the Field (Eds. : Gusta, L.V., Winiewski, M.E. and K.K. Tanino), CABI Publishing, Oxfordshire, pp. 80-90.
- 3) 南 杏鶴, 上村松生 (分担執筆) (2009) 植物細胞における寒冷適応分子機構. 「温度と生命システムの相関学 (岩手大学 21 世紀 COE プログラム事業編)」, 東海大学出版会, pp. 89-116.

〈原著論文〉

- 1) Takata, N., Saito, S., Tanaka-Saito, C., Nanjo, T., Shinohara, K. and Uemura, M. (2009) Molecular phylogeny and expression of poplar circadian clock genes, LHY1 and LHY2. New Phytol. 181 : 808-819.
- 2) Minami, A., Fujiwara, M., Furuto, A., Fukao, Y., Yamashita, T., Kamo, M., Kawamura, Y. and Uemura, M. (2009) Alterations in detergent-resistant plasma membrane microdomains in *Arabidopsis thaliana* during cold acclimation. Plant Cell Physiol. 50 : 341-359.
- 3) Yamazaki, T., Kawamura, Y. and Uemura, M. (2009) Extracellular freezing-induced mechanical stress and surface area regulation on the plasma membrane in cold-acclimated plant cells. Plant Signal. Behav. 4 : 231-233.
- 4) Shibasaki, K., Uemura, M., Tsurumi, S. and Rahman, A. (2009) Auxin response under cold stress : underlying molecular mechanism. Plant Cell 21 : 3823-3838.
- 5) 上村松生, 南 杏鶴, 山崎誠和, 河村幸男 (2009) 凍結ストレスと植物. 低温生物工学会誌 55 : 27-34.

岡田 益己

〈原著論文〉

- 1) Matsunami, T., Otera, M., Amemiya, S., Kokubun, M. and Okada, M. (2009) Effect of CO₂ concentration, temperature and N fertilization on biomass production of soybean genotypes. Plant Production Science, 12(2) : 156-167
- 2) Shimono, H., Okada, M., Inoue, M., Nakamura, H., Kobayashi, K. and Hasegawa, T. (2010) Diurnal and seasonal variations in stomatal conductance of rice at elevated atmospheric CO₂ under fully open-air conditions. Plant, Cell & Environment, 33 : 322-331.

鈴木 幸一

〈著書〉

- 1) 楊 平・石黒 慎・鈴木幸一 (分担執筆) (2009) 温度と生命システムの相関学 (岩手

大学 21 世紀 C O E プログラム事業編) 東海大学出版会, 秦野, pp. 227-246.

〈原著論文〉

- 1) Suzuki, S., Amano, K. and Suzuki, K. (2009) Effects of propolis volatiles from a stingless honeybee (Apidae : Meliponinae) on the immune system of elderly residents in a nursing home. Int. J. Indust. Entomol. 19 : 193-197.
- 2) Piao, C., Tachikawa, E., Hu, Y., Sato, Y., Yang, P., Yamamoto, K., Shinada, T. and Suzuki, K. (2009) *In vitro* pharmacological activities of the extracts from red ant *Formica aquilonia* as potential therapeutic agents. J. Trad. Med. 26 : 61-67.
- 3) Kamiya, M., Oyauchi, K., Sato, Y., Yokoyama, T., Wang, M., Aizawa, T., Kumaki, Y., Mizuguchi, M., Imai, K., Demura, M., Suzuki, K. and Kawano, K. (2010) Structure-activity relationship of a novel pentapeptide with cancer cell growth-inhibitory activity. J. Pept. Sci. 16 : 242-248.
- 4) Sato, Y., Yang, P., An, Y., Matsukawa, K., Ito, K., Imanishi, S., Matsuda, H., Uchiyama, Y., Imai, K., Ito, S., Ishida, Y. and Suzuki, K. (2010) A palmitoyl conjugate of insect pentapeptide Yamamarin arrests cell proliferation and respiration. Peptides 31 : 827-833.

一ノ瀬 充行

〈原著論文〉

- 1) Tetsuya Matsuura, Seiko Suzuki, Ayaka Musashino, Ryo Kanno and Mitsuyuki Ichinose : Retention Time of Attenuated Response to Diacetyl After Pre-exposure to Diacetyl in *Caenorhabditis elegans* Journal of Experimental Zoology 311A : 483-495 (2009) A Journal of Integrative Biology

新貝 御蔵

〈原著論文〉

- 1) Tokumitsu Wakabayashi, Yukihiro Kimura, Yusuke Ohba, Ryota Adachi, Yoh-ichi Satoh, Ryuzo Shingai : *In vivo* calcium imaging of OFF-responding ASK chemosensory neurons in *C. elegans*. Biochimica et Biophysica Acta Vol.1790, pp765-769, 2009.

吉川 信行

〈原著論文〉

- 1) Yamagishi, N. and Yoshikawa, N. (2009) . Virus-induced gene silencing in soybean seeds and the emergence stage of soybean plants with *Apple latent spherical virus* vectors. Plant Molecular Biology 71 : 15-24.
- 2) Isogai, M., Ishii, K., Umemoto, S., Watanabe, M., and Yoshikawa, N. (2009) . First report of blueberry red ringspot disease caused by Blueberry red ringspot virus in Japan. Journal of General Plant Pathology 75 : 140-143.

佐藤 拓己

〈原著論文〉

- 1) Kosaka K, Mimura J, Itoh K, Satoh T, Shimojo Y, Kitajima C, Maruyama A, Yamamoto M, Shirasawa T. : Role of p62/ZIP in the neurite outgrowth by carnosic acid in PC12h cells. J. Biochem. (2009)
- 2) Tamaki Y, Tabuchi T, Takahashi T, Kosaka K, Satoh T. : Activated glutathione metabolism participates in protective effects of carnosic acid against oxidative stress in neuronal HT22 cells. Planta Med. (2009)
- 3) Takahashi T, Tabuchi T, Tamaki Y, Kosaka K, Takikawa Y, Satoh T. : Carnosic acid and carnosol inhibit adipocyte differentiation in mouse 3T3-L1 cells through induction of phase2 enzymes and activation of glutathione metabolism. Biochem Biophys Res Commun. 382 (3) : 549-554 (2009)

河村 幸男

〈著書〉

- 1) Minami, A., Kawamura, Y., Yamazaki, T., Furuto, A., and Uemura, M. (分担執筆) (2009) Plant Cold Hardiness (Eds. : L. Gusta, M. Wisniewski and K. Tanino), CAB International, Oxfordshire, UK, pp. 62-71.
- 2) Kaplan, F., Sung, D.Y., Haskell, D., Riad, G.S., Popp, M., Amaya, M., LaBoon, A., Kawamura, Y., Tominaga, Y., Kopka, J., Uemura, M., Lee, K.J., Brecht, J.K., and Guy, C.L. (分担執筆) (2009) Plant Cold Hardiness (Eds. : L. Gusta, M. Wisniewski and K. Tanino), CAB International, Oxfordshire, UK, pp. 80-90.
- 3) 山崎誠和, 河村幸男 (分担執筆) (2009) 温度と生命システムの相関学 (岩手大学 21 世紀 COE プログラム事業編), 東海大学出版会, pp. 139-162.
- 4) 河村幸男 (分担執筆) (2009) 温度と生命システムの相関学 (岩手大学 21 世紀 COE プログラム事業編), 東海大学出版会, pp. 163-174
- 5) 河村幸男 (分担執筆) (2009) 温度と生命システムの相関学 (岩手大学 21 世紀 COE プログラム事業編), 東海大学出版会, pp. 284-294.

〈原著論文〉

- 1) 上村松生, 南 杏鶴, 山崎誠和, 河村幸男 (2009) 凍結ストレスと植物. 低温生物工学会誌 55 : 27-34.

斎藤 靖史

〈著書〉

- 1) 堤 賢一, 日影孝志, 斎藤靖史 (分担執筆) (2009) リンドウの生存戦略: 越冬芽の耐寒性と休眠. (東海大学出版会, 岩手大学 21 世紀 COE プログラム事業編), pp.192-201.

〈原著論文〉

- 1) Mizutani, M., Naganuma, T., Tsutsumi, K., and Saitoh, Y. (2010) The syncytium-specific expression of the Orysa;KRP3 CDK inhibitor : implication of its involvement in the cell

cycle control in the rice (*Oryza sativa* L.) syncytial endosperm. J. Exp. Bot. 61(3) : 791-798.

松浦 哲也

〈著書〉

- 1) 松浦哲也：線虫の神経系と行動．小泉修編 “さまざまな神経系をもつ動物たち：神経系の比較生物学” 共立出版, 56-72, 2009

〈原著論文〉

- 1) Tetsuya Matsuura, Seiko Suzuki, Ayaka Musashino, Rto Kanno, Mitsuyuki Ichinose : Retention time of attenuated response to diacetyl after pre-exposure to diacetyl in *Caenorhabditis elegans*. Journal of Experimental Zoology, 311A, 483-495, 2009
- 2) Tetsuya Matsuura, Hiroyuki Takuwa, Rumiana Bakalova, Takayuki Obata, Iwao Kanno : Effect of cyclooxygenase-2 on the regulation of cerebral blood flow during neuronal activation in the rat. Neuroscience Research, 65, 64-70, 2009

【弘前大学】

杉山 修一

〈著書〉

- 1) 杉山修一：青森県における半自然草地の歴史と現状 「草地の生態と保全 - 家畜生産と生物多様性の調和に向けて -」 日本草地学会編 学会出版センター p.102-109, 2010
- 2) 杉山修一：自然栽培の科学に向けて 「木村秋則と自然栽培の世界」 日本経済新聞出版社 p.56-63, 2010

〈原著論文〉

- 1) Sugiyama S. Gotoh M : How meristem plasticity in response to soil nutrients and light affects plant growth in four *Festuca* grass species. New Phytologist 185 : 747-758. 2010
- 2) Hossain M.Z., Okubo A. and Sugiyama S. : Litter effects on decomposition processes and soil microbe communities in 15 grassland species. Ecological Research 25 : 255-261. 2010

石川 隆二

〈原著論文〉

- 1) Akasaka, M., J. Ushiki, H. Iwata, R. Ishikawa and T. Ishii. Genetic relationships and diversity of weedy rice (*Oryza sativa* L.) and cultivated rice varieties in Okayama Prefecture, Japan. Breeding Science 59 : 401-409, 2009
- 2) Ashikawa, I., J. Wu, T. Matsumoto, and R. Ishikawa. Haplotype diversity and molecular evolution at the rice *Pikm* locus for blast Resistance. Journal of General Plant Pathology 76, 137-42, 2010.
- 3) Imai, K., M. MURAI, Y. Hao, Y. CHIBA, A. CHIBA and R. ISHIKAWA : Mapping of

rice *Ur1* (*Undulated rachis-1*) gene with effect on increasing spikelet number per panicle and sink size, and development of selection markers for the breeding by the use of *Ur1*. *Hereditas* 146 : 1-9, 2009

- 4) Henry, R.J., N. Rice, D. L. E. Waters, S. Kasem, R. Ishikawa, Y. Hao, S. Dillon, D. Crayn, R. Wing and D. Vaughan. Australian Oryza : Utility and Conservation. Rice. DOI : 10.1007/s12284-009-9034-y
- 5) K. Tanaka, R. Ishikawa. Rice archaeological remain and possibility of DNA archaeology. *Arch. Anth.Sci.* 2 : 69-78, 2010

【山形大学】

三橋 渉

〈原著論文〉

- 1) Toyomasu Tomonobu, Kaneko Akane, Tokiwano Tetsuo, Kanno Yuya, Kanno Yuri, Niida Rie, Miura Shigeyoshi, Nishioka Taiki, Ikeda Chiho, Mitsuhashi Wataru, et al. (2009) Biosynthetic gene-based secondary metabolite screening : a new diterpene, methyl phomopsenonate, from the fungus *Phomopsis amygdali*. *Journal of Organic Chemistry* 74, 1541-1548
- 2) Toyomasu Tomonobu, KagaharaTakuma, Hirose Yuko, Usui Masami, Abe Shiho, Okada Kazunori, Koga Jinichiro, Mitsuhashi Wataru, and Yamane Hisakazu (2009) Cloning and characterization of cDNs encoding ent-copalyl diphosphate synthases in wheat : Insight into the evolution of rice phytoalexin biosynthetic genes. *Bioscience, Biotechnology and Biochemistry*, 73, 772-775.
- 3) Toyomasu Tomonobu, Tsukahara Mai, Kenmoku Hiromichi, Anada Masahide, Nitta Hajime, Ohkanda Junko, Mitsuhashi Wataru, Sassa Takeshi, and Kato Nobuo (2009) Transannular proton transfer in the cyclization of geranylgeranyl diphosphate to fusicoccadiene, a biosynthetic intermediate of fusicoccins. *Organic Letter*, 11, 3044-3047
- 4) Machiko Fukuda, Satoshi Matsuo, Kaori Kikuchi, Wataru Mitsuhashi, Tomonobu Toyomasu, Ichiro Honda (2009) The endogenous level of GA1 is upregulated by high temperature during stem elongation in lettuce through *LsGA3ox1* expression. *Journal of Plant Physiology* 166, 2077-2084

【帯広畜産大学】

倉持 勝久

〈原著論文〉

- 1) 李 香珍, 谷 昌幸, 相内大吾, 小池正徳, 倉持勝久. 2009. 圃場還元利用されている実際的な牛ふん尿堆肥に含まれる腐植酸およびフルボ酸の化学的特徴. *日本土壤肥科学雑誌* 80(4) : 335-346

4 生物環境科学専攻

(1) 地域資源経済学連合講座

【岩手大学】

岡田 秀二

〈著書〉

- 1) 岡田秀二ほか (2010) 第1章「イギリス」白石則彦・監修, (社)日本林業経営者協会編『世界の林業－欧米諸国の私有林経営』: 23-55

木下 幸雄

〈原著論文〉

- 1) 何 曉嵐, 木村伸男, 木下幸雄 (2008) 農業法人の財務管理組織と財務管理. 農業経営研究 46-2: 46-51.
- 2) 木下幸雄 (2009) オーストラリアにおける農業水利権買い戻し問題. 2009年度日本農業経済学会論文集 641-647
- 3) 木下幸雄 (2010) 2005年農林業センサスの分析と東北果樹経営の特徴. 東北農業経済研究 28-1: 4-14.

山本 信次

〈著書〉

- 1) 山本信次 (分担執筆) (2009) グローバル時代のローカルコモンズ, ミネルヴァ書房, 京都, pp101-123.

〈原著論文〉

- 1) 山本信次, 石場圭太, 土屋俊之 (2009) 国立公園におけるアクティブレングジャーの役割と実態－十和田八幡平国立公園十和田八田地区を事例として－東北森林科学会誌 14 巻 (2): 50-54.
- 2) HOSODA, M. AOI, T. and YAMAMOTO, S. (2009) Differing Perceptions of Japanese Black Bears in Urban and Rural Japan. JOURNAL of FOREST PLANNING, Vol.15 (1): 53-59.

【弘前大学】

神田 健策

〈著書〉

- 1) 神田健策・井上博夫編著: グローバル下の北東北地域 ～地域経済・財政・住民福祉の現状～. 1-244 頁, 弘前大学出版会, 2010.3

〈原著論文〉

- 1) 神田健策・大橋 治：地域農業振興と系統農協金融：齊藤 正・自治体問題研究所編：地域経済を支える地域・中小企業金融. 151-180 頁, 自治体研究社, 2009. 11

渋谷 長生

〈著書〉

- 1) 渋谷長生：最近の中国ナマコ事情と陸奥湾産ナマコの対応方向, 弘前大学農学生命科学部学術報告第 12 号. 弘前大学：2009 年 12 月

泉谷 眞実

〈著書〉

- 1) 泉谷眞実編著：エコフィードの活用促進. 農山漁村文化協会, 2010 年.

【山形大学】

岩鼻 通明

〈原著論文〉

- 1) 岩鼻通明 (2009)：山形県と世界遺産, 村山民俗 23, p.92-94.
- 2) 岩鼻通明 (2009)：宮本袈裟雄先生と山岳修験学会『宮本袈裟雄追悼文集』 p.26-27.
- 3) 難波耕司・岩鼻通明 (2009)：神仏習合の構造, 村山民俗 23. p.79-87.
- 4) 難波耕司・岩鼻通明 (2009)：紹介『史料集 ゆくてのすさび 羽黒山日記』山形民俗 23. p.87-88.

小沢 互

〈著書〉

- 1) 小沢 互 (2009)「第 8 章 農業者が形成した米販売事業体のネットワーク構造－(株)庄内こめ工房の事例－」門間敏幸編著『日本の新しい農業経営の展望 ネットワーク型農業経営組織の評価』農林統計出版, 125-133
- 2) 小沢 互 (2009)「飼料用米で食・農の再興～序に代えて～」「第 3 章 飼料用米栽培の成算と「耕畜&産消」提携」小沢 互・吉田宣夫編『飼料用米の栽培・利用～山形県庄内の取り組み～』創森社, 2-3, 97-112

〈原著論文〉

- 1) 小沢 互 (2009)「東北・新潟における米産地再編の動向」東北農業経済研究, 第 27 巻第 1 号, 12-19
- 2) Chie ONISHI, Blendi BAROLLI, Koji TAKAHASHI, Wataru OZAWA (2009) "Farmers Markets' Strategies toward Tourists and Local Residents -Focusing on Client-Attracting Strategies and Product Assortment-", 東北農業経済研究, 第 28 巻第 1 号, 48-54

菊間 満

〈原著論文〉

- 1) 菊間 満 (2010) : 自然な木造住宅の建て方を考える－スローシェルターを支える住教育と技術教育－, 東北森林科学会誌, 15, 26-34
- 2) 菊間 満 (2009) : 総評－農山村・中山間地域の再生と協同労働の可能性－, 協同の発見, 205, 70-71

金 成学

〈原著論文〉

- 1) 金 成学・大西千絵 (2009) : WTO 体制における食品安全と国際貿易の課題－牛肉安全をめぐる国際紛争を事例として－, 農業市場研究, 18 (3), 13-24

家串 哲生

〈原著論文〉

- 1) 市川 治, 吉岡 徹, 家串哲生, 仁平恒夫, 東山 寛, 津田 渉, 井上誠司 (2009) : 農畜産経営における担い手としての出資型農業生産法人の増加要因分析, 酪農学園大学紀要人文・社会科学編, 33-2, 187-202

角田 毅

〈原著論文〉

- 1) 角田 毅 (2009) : 枝番管理型 (東北) の政策への適合性, 農業と経済, 75, 81-86

【帯広畜産大学】

姜 興起

〈原著論文〉

- 1) Kyo K. 2009. Bayesian modeling for identification and estimation of the learning effects of pointing tasks. Transactions of the Institute of Systems, Control and Information Engineers 22 : 251-259
- 2) Noda H, Kyo K. 2009. Bayesian estimation of the CES production function with a time-varying efficiency parameter. The Empirical Economics Letters 8 : 949-960
- 3) Noda H, Kyo K. 2009. Bayesian methods for TFP analysis of a multi-region economy With dynamic structure and application to Japan. Journal of Economic Research 14 : 151-195
- 4) Noda H, Kyo K. 2010. Regional analysis of the Japanese economy based on Bayesian modeling. Transactions of the Institute of Systems, Control and Information Engineers 23 : 19-28

仙北谷 康

〈原著論文〉

- 1) 申 宝明, 佐藤禎稔, 岸本 正, 谷 昌幸, 仙北谷康, 加藤 拓, 林 芙俊. 2010. マニユ

- アスプレッダの堆肥散布機構と散布精度, 農業機械学会北海道支部会報, 50: 25-30
- 2) 齋藤陽子, 齋藤久光, 仙北谷康 2009. 豚肉のエコフィールド認証に対する消費者評価. 農業情報研究 18 (3): 152-161.

(2) 地域環境工学連合講座

【岩手大学】

倉島 栄一

〈原著論文〉

- 1) 向井田善朗, 倉島栄一, 東 淳樹, 渡邊富雄, 佐藤泰英 (2009) ため池周辺に形成された湿原の成因について, 農業農村工学会誌, 77 (9), 719-722.

颯田 尚哉

〈原著論文〉

- 1) 中村謙吾・颯田尚哉・立石貴浩・米田 稔 (2009) 産業廃棄物不法投棄現場周辺のウランの潜在的リスク, 日本リスク学会第 22 回年次大会講演論文集, Vol.22, pp. 49-54
- 2) Katsuyuki TAKAHASHI, Seiji MUKAIGAWA, Koichi TAKAKI, Tamiya FUJIWARA and Naoya SATTA (2009) Water Purification Using Non-thermal Plasma Driven by Blumlein-line Stacked Pulsed Power Generator, Journal of Plasma and Fusion Science Series, Vol. 8 pp.1459-1462.
- 3) 高橋克幸・米澤彩子・向川政治・高木浩一・藤原民也・颯田尚哉 (2009) 気相放電水中進展型リアクタを用いた污水浄化における電極構造と極性効果による影響, 静電気学会講演論文集 '09, 11 aC-7, pp.261-264
- 4) 高橋克幸・米澤彩子・高木浩一・颯田尚哉 (2010) 水中気泡内放電による有機染料の脱色, 2010 年度静電気学会春期講演会論文集 ,1p-2,pp.27-30

武田 純一

〈原著論文〉

- 1) 庄野浩資, 関 朝美, 山口香子, 松嶋卯月, 小出章二, 武田純一 (2009) 切り花リンドウの生育ステージ判定における紫外線画像の有効性に関する検討, 農業情報研究, 18 (3), 122-129.

広田 純一

〈著書〉

- 1) 広田純一 (分担執筆) (2009) 水土開拓く (知の連関), 農文協.

〈原著論文〉

- 1) 広田純一 (2009) 一関本寺地区の農村景観保全, ランドスケープ研究, 第 73 巻第 1 号.
- 2) 広田純一, 東 淳樹, 南雲 穰, 佐藤貴法, 金田一彩乃 (2010) メダカの生息に配慮した

圃場整備における順応的管理の実例, 農業農村工学会誌, 78 巻 2 号, 15-20.

三輪 弼

〈原著論文〉

- 1) 田島正廣, 石井 敦, 三輪 弼 (2009) 水田用水の灌水技術の実態と論議, 水土の知 (農業農村工学会誌) 77-7 : 25-28.
- 2) 高井和彦, 三輪 弼 (2009) 水路実験による堰下流護床工の洗掘軽減効果の検討, 平成 21 年度農業農村工学会応用水理研究部会講演集 : 1-6
- 3) 高井和彦, 三輪 弼 (2010) 堰下流河床洗掘の発生メカニズムと深掘れ軽減対策, 水土の知 (農業農村工学会誌) 78-1 : 49-52.
- 4) 三輪 弼 (2010) 水路実験による堰上流護床工被災メカニズムの検討, 東北地域災害科学研究 46 : 203-208.

小林 幹佳

〈原著論文〉

- 1) Cakara,D.,Kobayashi,M.,Skarba,M.,and Borkovec, M. (2009) Protonation of silica particles in the presence of a strong cationic polyelectrolyte. Colloids and Surfaces A, Vol.339 : 20-25.
- 2) Kobayashi,M.,Nanaumi,H.,and Muto,Y. (2009) Initial deposition rate of latex particles in the packed bed of zirconia beads. Colloids and Surfaces A, Vol. 347 : 2-7.
- 3) 小林幹佳, 阿部 勉, 牛米慶太, 細田貴之 (2010) 天然有機物の存在下における懸濁粒子の凝集に関するモデル実験. 水工学論文集. 54 巻 : 1651-1656

廣間 達夫

〈原著論文〉

- 1) 広間達夫, 砂金 優 (2009) 有限要素法によるタイヤと土の相互作用の解析 (第 2 報), 農業機械学会誌 71(5) : 54-59.
- 2) 武田純一, 瀧田 優, 菊池 豊, 中野 丹, 岡田俊輔, 広間達夫, 鳥巢 諒 (2010) トラクタの突起物乗越し時の動特性 (第 1 報), 農業機械学会誌 72(5) : 457-463.
- 3) 武田純一, 瀧田 優, 菊池 豊, 中野 丹, 岡田俊輔, 広間達夫, 鳥巢 諒 (2010) トラクタの突起物乗越し時の動特性 (第 2 報), 農業機械学会誌 72(5) : 464-470.

三宅 諭

〈原著論文〉

- 1) 三宅 諭, 花石 一 (2009) 風力発電施設の立地に関する研究, 日本建築学会技術報告集 30 : 529-534

【弘前大学】

泉 完

〈著書〉

- 1) 泉 完：水路工－落差工および急流工，改訂七版農業農村工学ハンドブック本編，農業農村工学会，475-477，2010.8.
- 2) 泉 完：水理－オリフィスと水門・堰，改訂七版農業農村工学ハンドブック基礎編，農業農村工学会，209-212，2010.8.

工藤 明

〈著書〉

- 1) 工藤 明：白神山地は「緑のダム」になり得るか．白神学入門：61-66，弘前大学白神自然観察園発行，2010.3.

佐々木 長市

〈著書〉

- 1) 佐々木長市・松山信彦：白神学入門，白神自然観察園編，白神自然観察園発行，41-45，2010.3.
- 2) 佐々木長市：白神山地で活躍する人々－観光編－，弘前大学白神自然観察園編，弘前大学出版会：1-2，2010.3.
- 3) 佐々木長市：白神自然観察園の植物－(1) 林床植物編－，弘前大学白神自然観察園編，弘前大学白神観察園，1，2010.3.
- 4) 佐々木長市：白神自然観察園の動物－(1) 概要編－，弘前大学白神自然観察園編，弘前大学白神観察園，1，2010.3.

〈原著論文〉

- 1) 佐々木長市・松山信彦・久保田正亜*・野田香織**・加藤 幸：客土をもつカドミウム汚染水田の浸透型が稲体のカドミウム濃度および生育収量に及ぼす影響，農業農村工学会，第268号，23-30.2010.8（*茨城大学，**弘前大学理工学部）
- 2) 佐々木長市・松山信彦・佐瀬 隆*・殿内暁夫・Shymal Kumarr Paul・松岡嗣彦**・加藤 幸・野田香織*：白神山地の土壌に関する研究（7），白神研究第7号，39-48，2010.6（*北方ファイトリス研究所，**白神山地自然ガイド，***弘前大学理工学部）

高橋 照夫

〈原著論文〉

- 1) ガウリ マハルジャン・高橋照夫・張 樹槐：Web 診断のための画像特徴を利用したイネ病気の判別・分類に関する研究－色及び形状特徴を用いたパターン判別分析法の精度－，農業機械学会誌 72（4）：339-348，

張 樹槐

〈原著論文〉

- 1) マハルジャン ガウリ, 高橋照夫, 張 樹槐: Web 診断のための画像特徴を利用したイネ病気の判別・分類に関する研究 - 色及び形状特徴を用いたパターン判別分析法の精度 -, 農業機械学会誌 72(4), 339~348, 2010

【山形大学】

安中 武幸

〈原著論文〉

- 1) Susumu Hanayama, Tatsuaki Kasubuchi, Takeyuki Annaka (2009): Convective velocity of ponded water in the vegetated paddy lysimeter, Paddy Water Environ., 7, 255-258.
- 2) 花山 奨・安中武幸 (2009): 対流センサーのコンスタンタン線の発熱が対流速度測定におよぼす影響, 土壌の物理性, 113, 21-24.

大久保 博

〈原著論文〉

- 1) 大久保博・佐藤友二 (2009): 四百年の時を通して受け継がれる水利改良〈因幡堰〉, 農業農村工学会誌, 第 77 巻, 第 10 号, 32-33
- 2) 前川勝朗・Md. Zulhash Uddin・大久保博 (2010): 水路全幅型階段式魚道の減勢工に関する基礎的研究. 山形大学紀要, 第 16 巻, 第 1 号, 13-19

奥山 武彦

〈原著論文〉

- 1) 中里裕臣, 奥山武彦 (2009): 荒砥沢ダム上流大規模地すべり周辺の地盤変動, 農業農村工学会誌, 77(7), 3-6
- 2) 中里裕臣, 木下勝義, 井上敬資, 奥山武彦, 須貝俊彦, 八木浩司 (2009): 2009 年 2 月 25 日以降の山形県鶴岡市七五三掛地すべりの再活動と移動状況の特徴 (速報), 地学雑誌, 118 (3), 587-594

【帯広畜産大学】

武田 一夫

〈著書〉

- 1) Takeda K, Suzuki T, Yamada T. 2009. Thermal, hydraulic and mechanical stabilities of slopes covered with *Sasa nipponica*. Prediction and Simulation Methods for Geohazard Mitigation (Ed.: F.Oka, A. Murakami and S.Kimoto), pp.51-57, CRC Press, ISBN 978-0-415-80482-0.

〈原著論文〉

- 1) 赤岩孝志, 武田一夫, 村上泰啓. 2009. TTC 染色によるササ植生の活性度評価手法. 河川技術論文集 (土木学会), 15 : 131-134
- 2) 原田裕介, 土谷富士夫, 武田一夫, 宗岡寿美. 2009. 長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性. 雪氷, 71, 4 : 241-251

土谷 富士夫

〈原著論文〉

- 1) 原田裕介, 土谷富士夫, 武田一夫, 宗岡寿美. 2009. 長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性. 雪氷, 71, 4 : 241-251

岸本 正

〈原著論文〉

- 1) 申 宝明, 佐藤禎稔, 岸本 正, 谷 昌幸, 仙北谷康, 加藤 拓, 林 美俊. 2010. マニュアスプレッダの堆肥散布機構と散布精度, 農業機械学会北海道支部会報, 50 : 25-30
- 2) 申 宝明, 佐藤禎稔, 今村城久, 弘中和憲, 岸本 正, 2010. 大規模畑作地帯におけるトラクタ作業機のうね合わせ作業の現状, 農作業研究, 45(1) : 13-19

佐藤 禎稔

〈原著論文〉

- 1) 申 宝明, 佐藤禎稔, 岸本 正, 谷 昌幸, 仙北谷康, 加藤 拓, 林 美俊. 2010. マニュアスプレッダの堆肥散布機構と散布精度, 農業機械学会北海道支部会報, 50 : 25-30
- 2) 申 宝明, 佐藤禎稔, 今村城久, 弘中和憲, 岸本 正, 2010. 大規模畑作地帯におけるトラクタ作業機のうね合わせ作業の現状, 農作業研究, 45(1) : 13-19

宗岡 寿美

〈原著論文〉

- 1) 原田裕介, 土谷富士夫, 武田一夫, 宗岡寿美. 2009. 長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性. 雪氷, 71, 4 : 241-251

(3) 地域環境管理学連合講座

【岩手大学】

青井 俊樹

〈原著論文〉

- 1) Mariko Hosoda (nee Nagasaka) ,Toshiki Aoi and Shinji Yamamoto. Differing Perceptions of Japanese Black Bears in Urban and Rural Japan. J.Forest Planning 15 : 53-59(2009)

澤口 勇雄

〈原著論文〉

- 1) Isao Sawaguchi, Yuhei Nemoto, Shiro Tatsukawa (2009) Effects of moisture in wood materials on the SNR of GPS signals. J. Forest Research 14 : 63-72.
- 2) Yoshihiro Sakamoto, Takeshi Kunisaki, Isao Sawaguchi, Toshiki Aoi, Koji Harashina, Yoshitaka Deguchi (2009) A note on daily movement patterns of a female Asiatic black bear (*Ursus thibetanus*) in a suburban area of Iwate Prefecture, northeastern Japan. Mammal Study 34 : 165-170.

関野 登

〈原著論文〉

- 1) Noboru SEKINO and Go YAMAUCHI (2009) Fire Safety of Wooden Walls Filled with Binder-less Wood Shavings Insulation Panels, PRO Ligno (ISSN 1841-4737) Vol.5 , No.2 23-32.

橋本 良二

〈原著論文〉

- 1) 森澤 猛, 杉田久志, 橋本良二, 赤井龍男 (2010) 空中写真から解析した木曽地方三浦実験林のヒノキ帯状皆伐天然更新試験地におけるササおよび更新木樹冠被覆の 36 年間の変遷 (共著). 日本森林学会誌 92 : 22-28.
- 2) 橋本良二, 伊藤京介, 白旗 学, 森 茂太 (2010) ニセアカシア林における立木の幹基部の応力波伝播速度と形成層近傍木部組織の呼吸速度の測定－腐朽部の進展と関係づけて－. 東北森林科学会誌 15 : 21-28.

比屋根 哲

〈原著論文〉

- 1) 比屋根哲・氏家彰子 (2009) 定期的な野外活動が子どもの「生きる力」に及ぼす影響, 野外教育研究, 13(1), 63-70.
- 2) 比屋根哲・尾崎佑介 (2009) 戦前期秋田営林局管内国有林のスギ択伐作業の実態－大開・仁鮎・岩川の3事業区における施業案の分析から－, 東北森林科学会誌, 14(2), 55-64.
- 3) 高橋正也・比屋根哲・林 雅秀 (2009) 社会ネットワーク分析による農山村集落の今後を担うリーダーの構造－岩手県西和賀町S集落の事例－, 林業経済研究(林業経済学会), 55(2), 33-43.
- 4) 高橋佑輔・比屋根哲 (2010) PAC 分析による大学生の「持続可能な未来」に対する意識把握の試み, 環境教育, 20(2), 3-15.

井良沢 道也

〈著書〉

- 1) 井良沢道也 (分担執筆) (2009) 平成 21 年版 技術士第二次試験選択科目＝専門技術問題

の解答例〔建設部門〕(土木技術研究会編集), 近代図書(株), pp.20-158~20-160, pp.20-160~20-162 ISBN : 978-4-7651-0483-8

- 2) 井良沢道也(分担執筆)(2009)平成21年版 技術士第二次試験の解答例〔建設部門〕(土木技術研究会編集), 近代図書(株), pp.365-367, pp.400-405, pp.724-726 ISBN : 978-4-7651-0479-1

國崎 貴嗣

〈原著論文〉

- 1) Sakamoto, Y., Kunisaki, T., Sawaguchi, I., Aoi, T., Harashina, K. and Deguchi, Y. (2009) A note on daily movement patterns of a female Asiatic black bear (*Ursus thibetanus*) in a suburban area of Iwate Prefecture, northeastern Japan. Mammal Study 34 : 165-170.
- 2) 國崎貴嗣, 小川瑞樹(2009)強度間伐されたオウシュウトウヒ人工林におけるケヤキの混生状況-ケヤキ林縁からの距離と幼樹密度との対応関係-. 東北森林科学会誌 14 : 43-49.

東 淳樹

〈著書〉

- 1) 東 淳樹(分担執筆)(2010):生態系概念. 農業農村工学会編「農業農村工学ハンドブック」, 農業農村工学会, 東京, pp. 399-401.

〈原著論文〉

- 1) 向井田善朗・倉島栄一・東 淳樹・渡邊富雄・佐藤泰英(2009)ため池周辺に形成された湿地の成因について. 水土の知 77(9) : 719-722.
- 2) 瀬川典久, 澤本 潤, 松原和衛, 出口善隆, 大石明広, 山本信次, 東 淳樹, 青井俊樹(2009)里山での活動を支援するセンサネットワーク環境構築の提案. 信学技報(電子情報通信学会技術報告) 109 : pp. 141-146.
- 3) 広田純一・東 淳樹・南雲 稜・佐藤貴法・金田一彩乃(2010)メダカの生息に配慮した圃場整備における順応的管理の実例-岩手県一関市門崎地区の事例(小特集 整備された環境配慮(生態系保全)施設の順応的管理)水土の知 農業農村工学会 編 78(2) 129~134.

松本 佐和子

〈著書〉

- 1) 松本佐和子(分担執筆)(2009)虫害に強い森林, 弱い森林の分かれ道とは? 「北の森づくり Q&A」(社団法人北方林業会編), 北方林業会, 札幌, pp.138-139

〈原著論文〉

- 1) J.Dolezal, S.Matsuki and T.Hara (2009) Effects of dwarf-bamboo understory on tree seedling emergence and survival in a mixed-oak forest in northern Japan : multi-site experimental study. Community Ecology 10(2) : 225-235.

【弘前大学】

檜垣 大助

〈著書〉

- 1) Tshering, P., Komori, J., Higaki, D., Sato, G., Koike, T., Umemura, J., Watershed risk assessment of GLOF in Bhutan - a case study in Mangde Chhu river-basin-. 第5回土砂災害に関するシンポジウム論文集, 189-194, 山口.

〈原著論文〉

- 1) Yagi, H., Sato, G. Higaki, D., Yamamoto, M. and T. Yamasaki : Distribution and characteristics of landslides induced by the Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake in 2008 in Tohoku District, Northeast Japan. Landslides, 6 : 335-344, 2009.
- 2) 森屋 洋・阿部真郎・萩田 茂・檜垣大助：2008年岩手・宮城内陸地震に伴って発生した荒砥沢ダム上流の大規模地すべり構造，日本地すべり学会誌，47(2)：1-7, 2010.

東 信行

〈著書〉

- 1) 東 信行：日本の河川（分担執筆），小倉・島谷・谷田編，朝倉書店 173pp
- 2) 東 信行：生態系サービスの流域社会へ，経済効果を生み出す環境まちづくり，ぎょうせい，86-91

石田 清

〈原著論文〉

- 1) Mizuki I., K. Ishida, N. Tani, and Y. Tsumura. Fine-scale spatial structure of genets and sexes in the dioecious plant *Dioscorea japonica*, which disperses by both bulbils and seeds. Evolutionary Ecology (DOI : 10.1007/s10682-010-9396-z). (in press)

【山形大学】

高橋 教夫

〈原著論文〉

- 1) 越智温子・小山浩正・高橋教夫（2009）：サワグルミ（*Pterocarya rhoifolia*）の種子サイズと風速のばらつきが散布距離に与える影響．森林立地学会誌 森林立地，51(1)，13-20.
- 2) 松井太郎・小山浩正・伊藤 聡・高橋教夫（2009）：山形県のブナ林における豊凶予測手法の適用と改良の可能性．森林立地学会誌 森林立地，51(1)，49-56.
- 3) 小山浩正・林 直哉・高橋教夫（2009）：スギ人工林の疎密度と林内の光環境の関係－人工林の混交林誘導のための目安として－．森林計画学会誌，42(1)，81-86.

林田 光祐

〈原著論文〉

- 1) 山口良彦・林田光祐 (2009) : アオキミタマバエによる虫えい形成がヒメアオキの実生更新に及ぼす影響. 日本森林学会誌, 91, 159-167.
- 2) 早川悟史・上山剛司・林田光祐 (2009) : CCD カメラによる撮影画像を用いた樹洞の深さと内部容積の推定方法. 日本森林学会誌, 91, 299-302.
- 3) 岡田 穰・坂本知己・林田光祐・井上章二・阿子島功・柳原 敦・中島勇喜 (2009) : スリランカ南部 Tangalla における 2004 年インド洋大津波による被害状況と海岸地形との関わり. 海岸林学会誌, 8, 58-63.
- 4) T. SAKAMOTO, S. INOUE, M. OKADA, M. HAYASHIDA, I. AKOJIMA, A. YANAGIHARA, Y. NAKASHIMA (2009) : Do mangroves have the potential to mitigate tsunami damage? - A case study of Godawaya on the southern Sri Lanka coast after the 2004 Indian Ocean Tsunami -. 海岸林学会誌, 8, 64-72

〈学会賞〉

- 1) 日本海岸林学会賞 (2009 年)

小山 浩正

〈著書〉

- 1) 小山浩正・高橋 文 2009 (平成 21 年) : 河川敷におけるニセアカシアの分布拡大に果たす種子の役割, 崎尾 均 編 : ニセアカシアの生態学, 文一総合出版, 第 6 章 99-112.
- 2) 小山浩正 2009 (平成 21 年) : ブナの稚樹はどこにあるか?, 社団法人北方林業会 編, 北方林業創立 60 周年誌 北の森づくり Q & A, 北方林業会, 70-73.
- 3) 小山浩正 2009 (平成 21 年) : タネの集め方・保存方法は?, 社団法人北方林業会 編, 北方林業創立 60 周年誌 北の森づくり Q & A, 北方林業会, 70-73.

〈原著論文〉

- 1) 越智温子・小山浩正・高橋教夫 2009 (平成 21 年) : サワグルミ (*Pterocarya rhoifolia*) の種子サイズと風速のばらつきが散布距離に与える影響, 森林立地学会誌 森林立地 51 : 13-19.
- 2) 松井太郎・小山浩正・伊藤 聡・高橋教夫 2009 (平成 21 年) : 山形県のブナ林における豊凶予測手法の適用と改良の可能性, 森林立地学会誌 森林立地 51 : 49-55.
- 3) 小山浩正・林 直哉・高橋教夫 2009 (平成 21 年) : スギ人工林の疎密度と林内の光環境の関係 - 人工林の混交林誘導のための目安として -. 森林計画学会誌, 42 : 81-86.
- 4) Takiya, M., Koyama, H., Umeki, K., Yasaka, M., Ohno, Y., Watanabe, I., and Terazawa, K. 2009 (平成 21 年) The effects of early and intense pruning on light penetration, tree growth, and epicormic shoot dynamics in a young hybrid larch stand. Journal of Forest Research DOI 10.1007/s10310-009-0167-z.
- 5) 長坂晶子・小山浩正・阿部友幸・長坂 有・今 博計・八坂通泰・寺澤和彦・小野寺賢介 2010 (平成 21 年) : 冷凍貯蔵したブナ種子の発芽率と含水率の 10 年間の変化. 日本森林学会誌 92 : 50-53.

【帯広畜産大学】

岩佐 光啓

〈著書〉

- 1) Oshida T. 2009. *Tamias sibiricus* (Laxmann, 1769) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 190-191, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 2) Oshida T. 2009. *Petaurista leucogenys* (Temminck, 1827) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 192-193, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 3) Oshida T. 2009. *Pteromys momonga* Temminck, 1844. Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 194-195, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 4) Oshida T. 2009. *Pteromys volans* (Linnaeus, 1758) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 196-197, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 5) Oshida T. 2009. *Ochotona hyperborea* (Pallas, 1811) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 202-203, Shoukadoh Book Seller,

柳川 久

〈原著論文〉

- 1) Nakama S, Yanagawa, H. 2009. Characteristics of tree cavities used by *Pteromys volans orii* in winter. Mammal Study 34 : 161-164
- 2) 家入明日美, 柳川 久. 2009. 日高山脈南端部の低標高域におけるエゾナキウサギの生息環境. 帯広畜産大学学術研究報告 30 : 53-60
- 3) 岡部佳容, 野呂美紗子, 柳川 久. 2009. 北海道東部の高速道路における道路横断構造物の動物による利用とその調査方法の検討. 帯広畜産大学学術研究報告 30 : 61-70
- 4) 平井克亥, 柳川 久. 2010. 北海道十勝平野における猛禽類の営巣環境：特にノスリとオオタカについて. 第9回「野生生物と交通」研究発表会講演論文集 : 55-60
- 5) 柳川 久, 奥 潤一, 新津秀幸, 小川雅敏. 2010. バードハウスが繋ぐ鳥と人と道路－道東自動車道SA, PA における例－. 第9回「野生生物と交通」研究発表会講演論文集 : 67-72
- 6) 小野香苗, 柳川 久. 2010. 樹上性小型哺乳類およびコウモリ類による道路横断構造物利用のモニタリング. 第9回「野生生物と交通」研究発表会講演論文集 : 73-78
- 7) 浅利裕伸, 谷崎美由記, 野呂美紗子, 柳川 久. 2010. 北海道の道路事業における哺乳類への保全対策事例とそのモニタリング手法. 第9回「野生生物と交通」研究発表会講演論文集 : 79-86
- 8) 南部 朗, 柳川 久. 2010. エゾモモンガの冬期の採食物とその選択性. 森林野生動物研究会誌 35 : 22-25

押田 龍夫

〈著書〉

- 1) Oshida T. 2009. *Tamias sibiricus* (Laxmann, 1769) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 190-191, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 2) Oshida T. 2009. *Petaurista leucogenys* (Temminck, 1827) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 192-193, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 3) Oshida T. 2009. *Pteromys momonga* Temminck, 1844. Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 194-195, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 4) Oshida T. 2009. *Pteromys volans* (Linnaeus, 1758) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 196-197, Shoukadoh Book Seller, Kyoto.
- 5) Oshida T. 2009. *Ochotona hyperborea* (Pallas, 1811) . Ohdachi S, Ishibashi Y, Iwasa M, Saitoh T (eds) , The Wild Mammals of Japan, pp. 202-203, Shoukadoh Book Seller,

〈原著論文〉

- 1) Matsunami S, Oshida T, Ichikawa H. 2008. Comparative skull morphology of two pika species (*Ochotona princeps* and *O. hyperborea*) : implication for differences in feeding habits. Russian Journal of Theriology 7 : 99-106.
- 2) Shafique CM, Barkati S, Oshida T, Ando M. 2009. Comparison of nest trees of two sympatric flying squirrel species in northern Pakistan. Mammalian Biology 74 : 240-244.
- 3) Obolenskaya EV, Lee M-Y, Dokuchaev NE, Oshida T, Lee M-S, Lee H, Lissovsky AA. 2009. Diversity of Palearctic chipmunks (*Tamias, Sciuridae*) . Mammalia 73 : 281-298.
- 4) Koyabu D, Oshida T, Kimura J, Sasaki M, Motokawa M, Ngyuen AS, Hayashida Y, Endo H. 2009. Craniodental mechanics and feeding ecology of two sympatric callosciurine Squirrels in Vietnam. Journal of Zoology 279 : 372-380.
- 5) Oshida T, Masuda R, Ikeda K. 2009. Phylogeography of the Japanese giant flying squirrel *Petaurista leucogenys* (Rodentia, Sciuridae) : implication of glacial refugia in an arboreal small mammal in the Japanese Islands. Biological Journal of the Linnean Society 98 : 47-60.
- 6) Oshida T, Can ND, Nguyen ST, Nguyen NX, Endo H, Kimura J, Sasaki M, Hayashida A, kano A, Hayashi Y. 2010. Phylogenetics of *Petaurista* in light of specimens collected from northern Vietnam. Mammal Study 35 : 85-91.

平田 昌弘

〈著書〉

- 1) 平田昌弘. 2009. 生業としての牧畜論. 日本沙漠学会編, 沙漠の事典, pp.75, 丸善, 東京
- 2) 平田昌弘. 2009. 乳文化圏. 日本沙漠学会編, 沙漠の事典, pp.76, 丸善, 東京
- 3) 平田昌弘. 2009. 乳利用と牧畜. 日本沙漠学会編, 沙漠の事典, pp.77, 丸善, 東京
- 4) 平田昌弘. 2009. 牧畜の起原. 日本沙漠学会編, 沙漠の事典, pp.78, 丸善, 東京
- 5) 平田昌弘. 2009. 動物 (家畜). 日本沙漠学会編, 沙漠の事典, pp.134, 丸善, 東京

〈原著論文〉

- 1) 平田昌弘, 岸川沙織, 近藤昭彦, 山中 勤, 開発一郎, ダムディンバトムンフ, 本江昭夫.
2009. モンゴル高原中央部における植物の生育に影響を及ぼす自然環境の諸要因の分析. 沙漠研究 19(2) : 403-411
- 2) 平田昌弘. 2009. インド北部ラダック地区の乳加工体系. ヒマラヤ学誌 10 : 73-85
- 3) 平田昌弘. 2009. コーカサスにおける乳加工体系 - グルジア・アルメニアの農牧民の事例を通して -. ミルクサイエンス 58(1) : 1-14

高田 まゆら

〈著書〉

- 1) 高田まゆら. 2010. 水田害虫に対する捕食性天敵の機能評価法. 鷺谷いづみ, 宮下 直, 西廣 淳, 角谷 拓編, 保全生態学の技法, pp. 191-211, 東京大学出版会, 東京

第2章 研究助成金

1 生物生産科学専攻

(1) 植物生産学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

- 松嶋 卯月 若手研究 (B)：野菜接木苗における水の動態と形成層発達過程の解明およびその最適養生条件の検討
- 庄野 浩資 基盤研究 (C)：切り花リンドウ花卉の紫外線反射率上昇現象の機構解明とその収穫期・鮮度判定への応用

その他

- | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-----|
| 黒田 榮喜 | 共同研究 | 1 件 | 受託研究 | 1 件 |
| 小森 貞男 | 受託研究 | 1 件 | | |
| 下野 裕之 | 受託研究 | 2 件 | | |
| 庄野 浩資 | 受託研究 | 1 件 | | |
| 築城 幹典 | 受託研究 | 1 件 | | |
| 松嶋 卯月 | 受託研究 | 1 件 | 奨学寄附金 | 1 件 |
| 星野 次汪 | 奨学寄附金 | 2 件 | | |
| 佐川 了 | 奨学寄附金 | 1 件 | | |

【弘前大学】

科学研究費

- 川崎 通夫 若手研究 (B)：サトイモを中心とした作物の酸性土壌耐性に関わる機能形態および生理機構の発掘と解明
- 伊藤 大雄 基盤研究 (C)：リンゴ園における蒸発散量・土壌水分量の統合的推定手法の開発

その他

- | | | |
|-------|-------|-----|
| 荒川 修 | 共同研究 | 1 件 |
| 大河 浩 | 奨学寄附金 | 1 件 |
| 前田 智雄 | 受託研究 | 2 件 |

【山形大学】

科学研究費

西澤	隆	基盤研究 (B)：光触媒を用いた閉鎖系貯蔵システムの開発とエチレンアレ ロパシーの抑
西澤	隆	挑戦的萌芽研究：アルカリ加水分解と微生物を併用した園芸作物残渣の処理 法に関する研究
村山	秀樹	基盤研究 (B)：セイヨウナシ果実の樹上完熟を阻害する tree ファクターの 解析
村山	秀樹	挑戦的萌芽研究：簡便で安価な消費者レベルの果実食べ頃判定機の開発

その他

安藤	豊	受託研究	1 件	奨学寄附金	2 件	
西澤	隆	共同研究	1 件	受託研究	2 件	奨学寄附金 2 件
藤井	弘志	共同研究	1 件	受託研究	4 件	奨学寄附金 6 件
村山	秀樹	共同研究	1 件	奨学寄附金	2 件	

【帯広畜産大学】

その他

花田	正明	共同研究	4 件	受託研究	2 件	奨学寄附金 1 件
堀川	洋	奨学寄附金	1 件			

(2) 動物生産学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

喜多	一美	基盤研究 (B)：アミノ酸の筋肉蛋白質合成特異的促進能力を応用した飼料 アミノ酸要求量の精密化
橋爪	力	基盤研究 (B)：サルソリノールによる反芻家畜の新しいプロラクチン分泌 支配機構の解明
澤井	健	特定領域研究公募：クローン胚に特異的な DNA 脱メチル化と核リプログラ ミングの機構解明

その他

小田	伸一	共同研究	1 件		
松原	和衛	共同研究	1 件	受託研究	1 件
橋爪	力	受託研究	1 件		

澤井 健	受託研究	1 件
喜多 一美	奨学寄附金	4 件

【弘前大学】

科学研究費

鈴木 裕之	基盤研究 (C)：哺乳動物卵における細胞骨格再配置の意義とこれに関わるシグナル伝達経路の解明
-------	--

その他

松崎 正敏	受託研究	1 件
-------	------	-----

【山形大学】

科学研究費

木村 直子	基盤研究 (C)：SOD1 遺伝子欠損マウスを用いた酸化ストレスによる卵の細胞分裂障害の分子機序解明
-------	--

その他

高橋 敏能	共同研究	1 件	受託研究	2 件	奨学寄附金	1 件
吉田 宣夫	受託研究	1 件				
堀口 健一	共同研究	2 件	奨学寄附金	1 件		

【帯広畜産大学】

科学研究費

手塚 雅文	基盤研究 (C)：排卵時卵胞における糖質コルチコイドの生理的役割の解明
-------	-------------------------------------

その他

柏村 文郎	共同研究	3 件	奨学寄附金	1 件
木田 克弥	共同研究	4 件	受託研究	1 件
鈴木 三義	共同研究	1 件	奨学寄附金	1 件
門平 睦代	受託研究	1 件		
瀬尾 哲也	受託研究	2 件		
福井 豊	奨学寄附金	1 件		

(3) 生物制御学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

河合 成直	基盤研究 (C)：高塩類アルカリ条件下におけるイネ科植物の環境耐性
磯貝 雅道	基盤研究 (C)：ブルーベリーに発生するウイルスの病害防除に対する統合的研究

その他

河合 成直	共同研究	2 件	受託研究	1 件
-------	------	-----	------	-----

【弘前大学】

科学研究費

青山 正和	基盤研究 (C)：腐朽有機物由来の易溶性腐植物質の性状解明と土壌中での動態解析
佐野 輝男	基盤研究 (B)：ウイロイド特異的 RNA サイレンシングとウイロイドの病原性及び分子進化に関する研究
佐野 輝男	挑戦的萌芽研究：自然栽培リンゴ樹の自然免疫獲得機構と葉・根圏微生物相相互作用の大規模塩基配列解析
佐野 輝男	特定研究員奨励費：RNAi を利用した複数のウイロイド感染を制御する新規防御戦略の開発
比留間 潔	基盤研究 (B)：蛹変態の分子機構の解明
田中 和明	若手研究 (B)：全生活環に基づいた小房子の菌類分類体系再構築の試みとアナモルフ仮説の検証

その他

佐野 輝男	受託研究	1 件	奨学寄附金	2 件
田中 和明	奨学寄附金	1 件		

【山形大学】

科学研究費

我妻 忠雄	基盤研究 (A)：アルミニウム耐性とリンリサイクル能の分子的改変による酸性土壌耐性植物の創生
-------	--

その他

生井 恒雄	共同研究	2 件	奨学寄附金	4 件
-------	------	-----	-------	-----

安田 弘法	受託研究	2 件
俵谷圭太郎	受託研究	1 件
佐藤 智	奨学寄附金	1 件
長谷 修	奨学寄附金	1 件

【帯広畜産大学】

科学研究費

橋本 靖	基盤研究 (C) : 森林再生の初期段階における外生菌根菌感染源の移入経路の解明
------	--

その他

小池 正徳	共同研究	2 件
谷 昌幸	共同研究	5 件
	受託研究	2 件

2 生物資源科学専攻

(1) 生物機能開発学連合講座

【岩手大学】

その他

磯部 公安	共同研究	2 件
山下 哲郎	受託研究	1 件
	奨学寄附金	2 件

【弘前大学】

科学研究費

橋本 勝	基盤研究 (B) : Lambertella 属によるマイコパラサイト現象の生物有機化学的機構解明
------	---

その他

吉田 孝	共同研究	2 件
橋本 勝	奨学寄附金	3 件

【山形大学】

科学研究費

上木 勝司	基盤研究 (C) : バイオマス資源の効率的低温微生物変換システム創出のた
-------	---------------------------------------

めの技術基盤の確立

小関 卓也	基盤研究 (C)：麴菌由来キシラン分解エステラーゼの構造・機能の解明
加来 伸夫	基盤研究 (C)：酸性廃水及び高塩濃度廃水の効率的メタン発酵処理に向けた微生物群集の構築と制御

その他

上木 厚子	受託研究	1 件
小関 卓也	奨学寄附金	1 件
加来 伸夫	受託研究	1 件

【帯広畜産大学】

その他

大和田琢二	共同研究	1 件	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
小嶋 道之	受託研究	2 件	奨学寄附金	1 件		

(2) ゲノム工学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

横井 修司	若手研究 (B)：植物の開花・ストレス応答経路のクロストークの解明と育種への応用
-------	--

その他

高畑 義人	共同研究	1 件	受託研究	3 件
-------	------	-----	------	-----

【弘前大学】

科学研究費

菊池 英明	基盤研究 (C)：ダイオキシン受容体の標的遺伝子サイレンシング解除に CREM が関与する機構の研究
姫野 俵太	特定領域研究：細菌における蛋白質合成異常回避システム
姫野 俵太	基盤研究 (B)：トランス・トランスレーションの分子メカニズム
原田 竹雄	基盤研究 (B)：篩管長距離輸送 RNA による新規品種改良システムの開発
原田 竹雄	基盤研究 (B)：エピジェネティック変異発動システムによるリンゴ枝変わり品種の作出
千田 峰生	基盤研究 (B)：ダイズにおける低温着色抵抗性識別マーカーの開発
福澤 雅志	基盤研究 (C)：細胞性粘菌のオーガナイザー領域形成メカニズムの解明

柏木 明子	若手研究 (B) : 大腸菌と RNA バクテリオファージ Q β を用いた実験室内 共進化系の確立
-------	---

その他

姫野 俵太	共同研究	2 件
菊池 英明	受託研究	1 件
原田 竹雄	受託研究	1 件
柏木 明子	共同研究	1 件

【山形大学】

科学研究費

佐藤 英世	基盤研究 (B) : 食品由来成分によるシスチン・グルタミン酸トランスポー ターの発現制御と生理機能
笹沼 恒男	基盤研究 (C) : ペニバナの系統解析と地域観光資源としての遺伝育種
豊増 知伸	基盤研究 (B) : 菌類特有の新奇キメラジテルペン合成酵素の特徴を活かし た有用物質生産研究の基盤構築

その他

阿部 利徳	共同研究	2 件	受託研究	1 件	奨学寄附金	3 件
笹沼 恒男	奨学寄附金	1 件				

【帯広畜産大学】

科学研究費

大西 一光	基盤研究 (C) : 寒冷地帯におけるイネ低温順化反応性に関する育種学的研 究
加藤 清明	基盤研究 (C) : 植物における腋芽伸長の制御メカニズムの分子的解明
加藤 清明	特定領域研究 : 腋芽伸長と通気組織形成を制御する膜輸送系の解明

その他

櫛 泰典	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
三浦 秀穂	共同研究	1 件		
大西 一光	共同研究	1 件		

(3) 生物資源利用学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

木村 賢一	基盤研究 (C) : カルシウムシグナルの遺伝子変異酵母に作用する新規生物活性物質の分子標的の研究
長澤 孝志	基盤研究 (C) : 骨格筋萎縮における抗ストレスアミノ酸の検索とその作用機構
小出 章二	基盤研究 (C) : 温度周期性に応答するカビ成長パターンの幾何学的解析とポストハーベストへの応用

その他

伊藤 芳明	共同研究	1 件	奨学寄附金	1 件	
三浦 靖	共同研究	5 件	受託研究	1 件	
長澤 孝志	共同研究	1 件	受託研究	2 件	奨学寄附金 3 件
塚本 知玄	共同研究	1 件	奨学寄附金	1 件	
小野 伴忠	受託研究	1 件			
木村 賢一	受託研究	1 件	奨学寄附金	2 件	

【弘前大学】

科学研究費

戸羽 隆宏	基盤研究 (B) : 乳酸菌およびビフィズス菌の日和見感染機構の解明と安全性向上
園木 和典	若手研究 (スタートアップ) : テレフタル酸合成を目的としたバイオ法による芳香族カルボン酸合成効率化因子の探索
前多 隼人	若手研究 (B) : 脂肪細胞の脂質代謝及び糖代謝を調節するキサントフィルの探索

その他

戸羽 隆宏	奨学寄附金	1 件
-------	-------	-----

【山形大学】

科学研究費

芦谷 竜矢	若手研究 (B) : セスキテルペン炭化水素の反応に関する研究
塩野 義人	特別研究奨励費 : 中央アフリカカメルーンにおける未利用生物資源からの有用生理活性物質の探索研究

夏賀 元康	挑戦的萌芽研究：微弱発光分光による農産物の品質測定
貫名 学	挑戦的萌芽研究：エルゴチオネインのビタミン機能の解明

その他

五十嵐喜治	共同研究	4 件	受託研究	2 件
高橋 孝悦	受託研究	2 件		
貫名 学	共同研究	2 件		
塩野 義人	受託研究	1 件		

【帯広畜産大学】

科学研究費

木下 幹朗	基盤研究 (C)：植物由来スフィンゴ脂質の消化管への機能性に関する研究
福島 道広	基盤研究 (C)：馬鈴薯澱粉粕および有色馬鈴薯含有色素成分の健康機能性

その他

大西 正男	共同研究	2 件	受託研究	1 件	奨学寄附金	4 件
小田 有二	共同研究	1 件	受託研究	3 件	奨学寄附金	1 件
福島 道広	受託研究	1 件				
木下 幹朗	受託研究	1 件				
弘中 和憲	共同研究	1 件				
島田謙一郎	共同研究	3 件	受託研究	1 件		
中村 正	共同研究	1 件				
岡田 朋子	奨学寄附金	1 件				
韓 圭鎬	奨学寄附金	1 件				

3 寒冷圏生命システム学専攻

(1) 熱・生命システム学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

岡田 益己	基盤研究 (B)：イネの穂分化における感光・感温プロセスの解明とモデル化
吉川 信幸	基盤研究 (B)：潜在性ウイルスを利用した新規 RNA サイレンシング誘導ベクターの開発とその応用
伊藤 菊一	挑戦的萌芽研究：ザゼンソウ由来の発熱培養細胞系の樹立に関する研究
斎藤 靖史	挑戦的萌芽研究：RNA 新大陸で発見された RNAi サーモメーターによる熱・

生命システム制御系の開発

新貝 鉦蔵 新学術領域研究：複数感覚入力に対する行動選択の神経回路

その他

鈴木 幸一	共同研究	5 件	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
吉川 信幸	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件		
佐藤 拓己	受託研究	1 件				
斎藤 靖史	奨学寄附金	1 件				

【弘前大学】

科学研究費

杉山 修一	基盤研究 (B)：寒地型牧草の温暖化耐性メカニズムの解明と量的遺伝子座の特定
石川 隆二	基盤研究 (B)：オセアニア地区におけるイネ科ならびに根裁類遺伝資源評価

その他

杉山 修一	奨学寄附金	1 件
-------	-------	-----

【山形大学】

その他

三橋 渉	共同研究	1 件
------	------	-----

【帯広畜産大学】

その他

倉持 勝久	奨学寄附金	1 件		
日高 智	共同研究	3 件	受託研究	2 件
山本 紳朗	奨学寄附金	1 件		

4 生物環境科学専攻

(1) 地域資源経済学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

木下 幸雄 若手研究 (B) : 国際競争時代における社会的な農業経営者教育システムの再構築

その他

木下 幸雄 受託研究 1 件

【弘前大学】

科学研究費

神田 健策 基盤研究 (C) : 会員制 (クラブシステム) による農産物の生産販売に関する基礎的研究

その他

澁谷 長生 共同研究 2 件 受託研究 1 件 奨学寄附金 2 件
泉谷 眞実 受託研究 1 件

【山形大学】

その他

小沢 互 共同研究 2 件 受託研究 3 件
角田 毅 共同研究 1 件 受託研究 2 件 奨学寄附金 1 件

【帯広畜産大学】

科学研究費

仙北谷 康 基盤研究 (B) : 抗生物質を含む飼料に頼らない畜産フードシステムの成立条件

姜 興起 基盤研究 (C) : バイズ型統計モデルに基づく経済成長の要因分析法の開発とその応用

澤田 学 基盤研究 (C) : 食の安全に対する信頼の測定と食品選択行動分析への応用

その他

仙北谷 康 共同研究 1 件

(2) 地域環境工学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

颯田 尚哉	基盤研究 (B)：産業廃棄物の不法投棄に起因する農業生産への影響低減化手法の開発
武田 純一	基盤研究 (C)：高速走行時における農用トラクター作業機系の振動および安定性解析
古賀 潔	基盤研究 (C)：締固め土に封入された空気の挙動とその力学性への影響
三輪 式	基盤研究 (C)：堆砂・洗掘問題の分析に基づいた頭首工計画・設計論の構築
三宅 諭	若手研究 (B)：歴史文化景観の保全・形成に向けた景観マネジメントに関する研究
山本 清仁	若手研究 (B)：弾性波による構造物の劣化度検査法の研究
颯田 尚哉	挑戦的萌芽研究：水中放電を利用した養液再生利用手法の検討

その他

広田 純一	受託研究	1 件	
武田 純一	受託研究	1 件	
倉島 栄一	受託研究	1 件	奨学寄附金 1 件
三輪 式	奨学寄附金	1 件	
小林 幹佳	奨学寄附金	1 件	
三宅 諭	奨学寄附金	2 件	

【弘前大学】

科学研究費

泉 完	基盤研究 (C)：流れ場環境の違いが河川生息魚の突進遊泳能力に与える影響
佐々木長市	基盤研究 (C)：カドミウム汚染水田の浸透型と物質の動態
高橋 照夫	基盤研究 (C)：画像特徴解析を基盤とした病虫害防除管理支援 Web システムに関する研究
張 樹槐	基盤研究 (C)：分光反射計測による生食用果実の打撲傷の検出に関する応用研究

その他

工藤 明	受託研究	1 件
泉 完	奨学寄附金	1 件

【山形大学】

科学研究費

奥山 武彦	基盤研究 (C)：亀裂等による選択的地下水流動機構の解明
-------	------------------------------

その他

安中 武幸	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
大久保 博	受託研究	1 件	奨学寄附金	3 件
奥山 武彦	受託研究	1 件		

【帯広畜産大学】

その他

土谷富士夫	共同研究	1 件	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
佐藤 禎稔	共同研究	2 件	受託研究金	1 件		
岸本 正	受託研究	1 件				

(3) 地域環境管理学連合講座

【岩手大学】

科学研究費

青井 俊樹	基盤研究 (B)：新たな手法による野生動物の生息地利用及び被害防除システムの構築に関する研究				
関野 登	基盤研究 (C)：弾性を有する木質炭化マットの成形と断熱材への適用に関する基礎研究				
東 淳樹	基盤研究 (C)：希少猛禽類の保全を意図した繁殖北限域におけるサシバの繁殖規定要因の解明				
松木佐和子	若手研究 (B)：人為攪乱後の広葉樹二次林で食葉性昆虫が大発生するメカニズムの解明				

その他

関野 登	共同研究	1 件	受託研究	1 件
松木佐和子	受託研究	1 件	奨学寄附金	1 件
青井 俊樹	受託研究	1 件		
澤口 勇雄	受託研究	1 件		
橋本 良二	奨学寄附金	1 件		
立川 史郎	奨学寄附金	1 件		
東 淳樹	奨学寄附金	1 件		
井良沢道也	奨学寄附金	6 件		

【弘前大学】

科学研究費

檜垣 大助	基盤研究 (B)：白神山地における地すべりが作り出す森林生態系の多様性
石田 清	基盤研究 (B)：湿地林を構成する希少木本種の繁殖と更新に及ぼす異系交配弱勢の影響の解明
東 信行	挑戦的萌芽研究：農業系水域ネットワークに生息する生物の移動履歴に関する生体情報分析法の開発

その他

檜垣 大助	受託研究 1 件	奨学寄附金 2 件
東 信行	奨学寄附金 3 件	

【山形大学】

科学研究費

小山 浩正	基盤研究 (C)：生物多様性の喪失をもたらす外来樹種ニセアカシアの種子繁殖メカニズムの解明
-------	---

その他

小野寺弘道	受託研究 1 件
林田 光祐	受託研究 1 件
小山 浩正	受託研究 2 件

【帯広畜産大学】

科学研究費

押田 龍夫	基盤研究 (B)：広域分布性森林性動物が分布域辺縁で隔離された特有の森林に適応する機構と過程の解明
平田 昌弘	基盤研究 (B)：アジア大陸における乳文化圏の解明とアーカイブ構築
本江 昭夫	基盤研究 (C)：牧草の曲げ強度が放牧家畜の選択採食におよぼす影響
高田まゆら	若手研究 (スタートアップ)：DNA マーカーを用いた胃内容分析による環境保全型水田における土着天敵の役割の評価

その他

紺野 康夫	共同研究 2 件	受託研究 1 件	奨学寄附金 1 件
本江 昭夫	受託研究 2 件		
平田 昌弘	奨学寄附金 1 件		
柳川 久	奨学寄附金 11 件		

第3部 組織・運営

第1章 主指導教員となり得る教員の専門分野・研究分野一覧

生物生産科学専攻 Specialty : Science of Bioproduction

植物生産学連合講座 Division : Plant Production

学位	主指導教員氏名（大学）	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称 Department	内 容 Descriptions	
農博 堀 川 洋（帯広） Dr.Agr. HORIKAWA, Yoh(O)	植物工学・草地学 Plant Biotechnology, Grassland Science	遺伝子組換え植物の作出，マメ科牧草と根粒菌の研究 Production of transgenic plants by biotechnology, and study on legume and root nodule bacteria	
農博 荒 川 修（弘前） Dr.Agr. ARAKAWA, Osamu(H)	果樹園芸学 Pomology	果樹の栽培と利用 Physiology of tree growth and fruit quality	
理博 葛 西 身 延（弘前） Dr.Sc. KASAI, Minobu(H)	植物生理学 Plant Physiology	光合成代謝と同化物質輸送分配の制御に関する生理学的研究 Physiological studies on the regulation of photosynthetic metabolism and assimilate partitioning	
農博 黒 田 榮 喜（岩手） Dr.Agr. KURODA, Eiki(I)	作物学 Crop Science	多収性水稻の収量形成過程と乾物生産過程の解析 Analysis of the dry matter production process and yield formation in the high-yielding rice plants	
農博 壽松木 章（岩手） Dr.Agr. SUZUKI, Akira(I)	果樹園芸学 Pomology	落葉果樹における果実の肥大・成熟に関する生理学的研究 Physiology on fruit development and maturation of deciduous fruit tree	
農博 星 野 次 汪（岩手） Dr.Agr. HOSHINO, Tsuguhiko(I)	作物生産管理学・作物育種学 Crop Production Management, Upland Crop Breeding	作物の生産管理学および畑作物の育種 Management of crop production based on sustainable method and breeding of high yielding upland crop cultivar with high quality	
農博 安 藤 豊（山形） Dr.Agr. ANDO, Ho(Y)	作物栽培学 Crop Science (Agronomy)	作物生育の環境要因 Relationship between crop growth and environmental factors	
農博 平 智（山形） Dr.Agr. TAIRA, Satoshi(Y)	果樹園芸学・園芸利用学 Fruit Science	果実の発育および成熟の生理ならびに利用に関する研究 Physiology of fruit development, maturation, and utilization	
農博 西 澤 隆（山形） Dr.Agr. NISHIZAWA, Takashi(Y)	園芸学 Horticulture	果菜類の生理障害および環境ストレス生理に関する研究 Physiological disorder and environmental physiology of vegetables	
博(農) 村 山 秀 樹（山形） Dr.Agr. MURAYAMA, Hideki(Y)	農産物保蔵学 Preservation Science	農産物の品質保持ならびに収穫後生理に関する研究 Studies on preservation and postharvest physiology of agricultural crops	

動物生産学連合講座 Division : Animal Production

学位	主指導教員氏名（大学）	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称 Department	内 容 Descriptions	
農博 柏 村 文 郎（帯広） Dr.Agr. KASHIWAMURA, Fumio(O)	家畜管理学・馬学 Animal Husbandry, Equine Science	牛と馬の行動と管理に関する研究 Management and behavioral study on cattle and horses	
理博 桑 山 秀 人（帯広） Dr.Sc. KUWAYAMA, Hideto(O)	家畜肥育学 Animal Growth and Physiology	家畜におけるグレリンとレプチンの機能に関する研究 Physiology and endocrinology studies related to ghrelin and leptin in domestic animals	
農博 鈴木 三 義（帯広） Dr.Agr. SUZUKI, Mitsuyoshi(O)	家畜育種学 Animal Breeding	乳牛の遺伝的改良 Genetic improvement of dairy cattle	
博士課程 手 塚 雅 文（帯広） Ph.D. TETSUKA, Masafumi(O)	生殖生理学 Reproductive Physiology	家畜の卵巣生理学： Ovarian physiology of livestock 1)卵巣におけるエネルギーの取り込みと代謝 1)Energy uptake and utilization in the ovary 2)糖質コルチコイド（ストレスホルモン）と卵巣機能 2)Glucocorticoid (stress hormone) and ovarian function	

ドクター・オブ・ フィロソフィー 福 井 豊 (帯広)	家畜繁殖学	哺乳動物卵子の体外成熟, 受精, 発生に関する理論と応用
Ph.D. FUKUI, Yutaka(O)	Animal Reproduction	Theoretical and applied studies on in vitro maturation, fertilization and development of mammalian ova
農博 鈴 木 裕 之 (弘前)	家畜繁殖学	1)卵母細胞の成熟と活性化に関する研究
Dr.Agr. SUZUKI, Hiroyuki(H)	Animal Reproduction and Biotechnology	1)Maturation and activation of mammalian oocytes 2)哺乳動物卵の極性化に関する研究 2)Polarization of mammalian eggs
農博 喜 多 一 美 (岩手)	動物栄養学	栄養素による蛋白質代謝回転及び成長促進因子の制御
Dr.Agr. KITA, Kazumi(I)	Animal Nutrition	Nutritional regulation of protein turnover and growth factor
農博 佐 野 宏 明 (岩手)	家畜栄養生理学	反芻家畜における栄養素代謝とその調節
Dr.Agr. SANO, Hiroaki(I)	Animal Nutrition and Physiology	Nutrient metabolism and its control in ruminants
農博 高 橋 壽太郎 (岩手)	発生工学	キメラ動物の動物生産および生物医学的研究への応用
Dr.Agr. TAKAHASHI, Jutaro(I)	Animal Embryo Engineering	Practical application of chimeric animals for animal production and biomedical research
農博 橋 爪 力 (岩手)	家畜繁殖学	家畜の生殖生理と内分泌機構
Dr.Agr. HASHIZUME, Tsutomu(I)	Animal Reproduction	Reproductive physiology and endocrinology in domestic animal
農博 松 原 和 衛 (岩手)	動物育種繁殖学・生殖免疫学	超早期妊娠因子 (Super-EPF) に関する研究・動物遺伝資源の利用に関する研究
Dr.Agr. MATSUBARA, Kazuei(I)	Animal breeding and reproduction, Reproductive Immunology	Study of super-early pregnancy factor and utilization of animal heredity resource
博(農) 渡 邊 彰 (岩手)	畜産物品質制御	動物の飼養や取扱いが食肉の品質及び筋肉に及ぼす影響に関する研究
Dr.Agr. WATANABE, Akira(I)	Meat Quality Control	Studies on meat quality and muscle biology as influenced by feeding and/or treatment of animals
農博 高 橋 敏 能 (山形)	家畜飼養学	1)家畜の肥育に関する栄養生理学的研究
Dr.Agr. TAKAHASHI, Toshiyoshi(Y)	Animal Feeding	Nutritional and physiological studies on fattening of domestic animals 2)未利用資源の飼料化に関する研究 Studies on development as feed of unused resources
農博 戸津川 清 (山形)	動物発生工学	動物の生殖及び発生工学に関する理論と応用
Dr.Agr. TOTSUKAWA, Kiyoshi(Y)	Animal Biotechnology	Theoretical and applied studies on animal reproduction and biotechnology

生物制御学連合講座 Division : Biocontrol Bioenvironmental Sciences

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)		名称 Department	内 容 Descriptions
農博	小 池 正 徳 (帯広)	環境微生物学	1)昆虫寄生性菌類による生物防除
Dr.Agr. KOIKE, Masanori(O)		Enviromental Microbiology	1)Biological control using entomopathogenic fungi 2)寄生性 <i>Verticillium</i> 属菌の分子疫学 2)Molecular epidemiology of insect and plant pathogenic <i>Verticillium</i> spp
農博	谷 昌 幸 (帯広)	土壌学	1)土壌における溶存有機物の動態
Dr.Agr. TANI, Masayuki(O)		Soil Science	1)Dynamics of dissolved organic matter in soils 2)畜産廃棄物の再資源化と有効利用 2)Resource recycling and effective utilization of animal wastes
農博	筒 木 潔 (帯広)	土壌学	土壌環境および農業生態系における有機物の動態
Dr.Agr. TSUTSUKI, Kiyoshi(O)		Soil Science	Dynamics of soil organic matter in soil environment and agricultural ecosystem
農博	青 山 正 和 (弘前)	土壌学	土壌環境における有機物の存在状態と動態
Dr.Agr. AOYAMA, Masakazu(H)		Soil Science	Dynamics of organic matter in soil environment
農博	佐 野 輝 男 (弘前)	植物病理学	1)ウイロイド (RNA 病原体) の分子構造・病原性と宿主特異性
Dr.Agr. SANO, Teruo(H)		Plant Pathology	1)Molecular structure, pathogenesis and host specificity of viroid (RNA pathogen) 2)植物ウイルス・ウイロイド病の診断と防除 2)Diagnosis and control of plant virus and viroid diseases
農博	比留間 潔 (弘前)	昆虫生理学・分子昆虫学	昆虫の脱皮, 変態のホルモン制御
Dr.Agr. HIRUMA, Kiyoshi(H)		Insect Physiology, Molecular Entomology	Hormonal control of insect metamorphosis; Hormonal regulation of the transcriptional cascade for larval molting
農博	河 合 成 直 (岩手)	植物栄養生理学	イネ科植物における鉄などの微量必須元素の吸収・移行の機構
Dr.Agr. KAWAI, Shigenao(I)		Plant Nutrition and Physiology	Mechanisms of micronutrient absorption and translocation in plants
博(農)	小 林 括 平 (岩手)	植物病理学	植物ウイルス病の分子生物学
Dr.Agr. KOBAYASHI, Kappei(I)		Plant Pathology	Molecular biology of plant virus diseases
農博	溝 田 智 俊 (岩手)	同位体地球化学	親生物元素の安定同位体地球化学
Dr.Agr. MIZOTA, Chitoshi(I)		Stable Isotope Geochemistry of Light Elements	Isotope geochemistry of biological cycling of biophile light elements
農博	俵 谷 圭太郎 (山形)	植物栄養学・土壌学	菌根形成機構の解明および菌根の利用
Dr.Agr. TAWARAYA, Keitaro(Y)		Plant Nutrition and Soil Science	Mechanism of mycorrhizal colonization and utilization of mycorrhiza

農博 生 井 恒 雄 (山形)	植物病理学	1)イネいもち病菌の生態に関する研究
Dr.Agr. NAMAI, Tsuneo(Y)	Plant Pathology	1)Ecological studies on rice blast fungus 2)植物病害の総合防除に関する研究 2)IPM of plant disease
農博 安 田 弘 法 (山形)	動物生態学	節足動物の多種共存機構と害虫の生物的防除に関する研究
Dr.Agr. YASUDA, Hironori(Y)	Animal Ecology	Biological control of pest insects

生物資源科学専攻 Specialty : Science of Bioresources

生物機能開発学連合講座 Division : Bioprocess Engineering

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
博(農) 小 嶋 道 之 (帯広)	生物化学	Dr.Agr. KOJIMA, Michiyuki(O)	生物機能に影響を及ぼす成分の構造および作用機構の解析 Structure analysis and action mechanism of constituent which affects the biofunction
理博 後 藤 健 (帯広)	光生物学	Dr.Sc. GOTO, Ken(O)	藻類における生物時計の環境適応機能, 特にセルサイクル制御と抗酸化能制御に関連して Studies on adaptational roles of biological clocks in algae, with special reference to regulation of cell cycle progression and defense against environmental stress
理博 石 黒 誠 一 (弘前)	細胞工学	Dr.Sc. ISHIGURO, Seichi(H)	視覚のメカニズム, 細胞分化のメカニズム Molecular mechanism of vision, Molecular mechanism of cell differentiation
理博 石 田 幸 子 (弘前)	発生生物学	Dr.Sc. ISHIDA, Sachiko(H)	動物の胚発生及び再生機構 Animal embryogenesis and regeneration
農博 大 町 鉄 雄 (弘前)	生物化学	Dr.Agr. OHMACHI, Tetsuo(H)	微生物における遺伝情報発現調節機構とその応用 Gene expression in prokaryotes and lower eukaryotes
農博 片 方 陽 太 郎 (弘前)	生物化学	Dr.Agr. KATAGATA, Yotaro(H)	動物培養細胞における細胞の異常分化 (腫瘍) とその関連タンパク質の生化学的研究 Abnormal differentiation (tumor) in cultured epithelial cells and biological studies on the related proteins
理博 黒尾(片倉)正樹 (弘前)	分子細胞遺伝学	Dr.Sc. KURO-O(KATAKURA), Masaki(H)	脊椎動物における遺伝的多様性の分子遺伝学的研究 Analyses of genetic diversities in vertebrates
理博 鮫 島 正 純 (弘前)	植物形態機能学	Dr.Sc. SAMESHIMA, Masazumi(H)	休眠体の形成・維持機構 Formation and maintenance of dormancy
理博 橋 本 勝 (弘前)	天然物有機化学	Dr.Sc. HASHIMOTO, Masaru(H)	化学合成手法を用いた天然物化学研究 Study of natural product chemistry employing organic synthesis
農博 宮 入 一 夫 (弘前)	生物化学	Dr.Agr. MIYAIRI, Kazuo(H)	微生物由来生理活性タンパク質 (酵素を含む) の分子構造と機能の解析およびその利用 Molecular structure, function, and utilization of bioactive protein (enzyme etc.) produced by microorganism
農博 磯 部 公 安 (岩手)	応用微生物学	Dr.Agr. ISOBE, Kimiyasu(I)	微生物の産生する酵素の構造と機能の解析およびその応用 Studies on new microbial enzymes screening, structure, function and application
農博 平 秀 晴 (岩手)	生物化学	Dr.Agr. TAIRA, Hideharu(I)	ウイルス膜タンパク質の機能解析 Functional analysis of viral envelope proteins
農博 上 木 厚 子 (山形)	微生物資源利用学	Dr.Agr. UEKI, Atsuko(Y)	メタン生成嫌気性微生物群集の構造と機能およびその利用 Structure, function and application of methanogenic microbial community
博(農) 小 関 卓 也 (山形)	酵素利用学	Dr.Agr. KOSEKI, Takuya(Y)	植物細胞壁分解酵素の機能解析およびその利用研究 Functional analysis and applied studies on plant cell wall-degrading enzymes

ゲノム工学連合講座 Division : Functional Genomics

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
薬博 石 井 達 (帯広) Dr.Pharm. ISHII, Satoshi(O)	生物化学 Biological Chemistry		構造異常タンパク質と糖脂質蓄積に対する細胞内調節機構に関する研究 Studies cellular regulatory function against the accumulation of misfolding proteins and glycolipids
農博 加 藤 清 明 (帯広) Dr.Agr. KATO, Kiyoaki(O)	植物分子育種学 Plant Molecular Breeding		植物育種における分子的基础と応用 Molecular basis and applied studies on plant breeding
医博 櫛 泰 典 (帯広) M.D. KUSHI, Yasunori(O)	生物化学 Biochemistry		細胞表面の複合脂質の生化学 Biochemistry and cell biology of glycoconjugates
農博 三 浦 秀 穂 (帯広) Dr.Agr. MIURA, Hideho(O)	植物遺伝・育種学 Plants Genetics and Breeding		ムギ類およびマメ類の適応性と品質に関する教育研究 Improvement of production and quality in wheat and leguminous crops
博(理) 牛 田 千 里 (弘前) Dr.Sc. USHIDA, Chisato(H)	分子生物学 Molecular Biology		機能 Rnomics, 非翻訳 RNA の機能と構造に関する研究 Functional Rnomics, Function and structure of ncRNAs
医博 菊 池 英 明 (弘前) M.D. KIKUCHI, Hideaki(H)	分子生物学 Molecular Biology		ダイオキシンによるシグナル伝達系活性化機構とその毒性に関する研究 Studies on dioxin mediated signal transduction and its toxicity
博(農) 千 田 峰 生 (弘前) Dr.Agr. SENDA, Mineo(H)	植物分子遺伝学 Plant Molecular Genetics		黄大豆の種子着色抑制機構に関する分子遺伝学的研究 Molecular suppressive mechanism of seed pigmentation in yellow soybean
農博 原 田 竹 雄 (弘前) Dr.Agr. HARADA, Takeo(H)	植物分子育種学 Plant Molecular Breeding		植物の分子育種学的基础および応用研究 Theoretical and applied studies on plant molecular breeding
理博 姫 野 俵 太 (弘前) Dr.Sc. HIMENO, Hyouta(H)	生化学・分子生物学 Biochemistry, Molecular Biology		RNA の構造と機能, 遺伝情報翻訳システムの分子メカニズム Structure and function of RNA, Molecular mechanism of the translation system
理博 福 澤 雅 志 (弘前) Dr.Sc. FUKUZAWA, Masashi(H)	植物形態機能学 Plant Cell Structure and Function		形態形成に関わる転写因子群の機能解析 Functional analysis of transcription factors involved in morphogenesis
農博 高 畑 義 人 (岩手) Dr.Agr. TAKAHATA, Yoshihito(I)	植物育種学 Plant Breeding		バイオテクノロジーを用いた植物育種の理論と応用 Theoretical and applied studies on plant breeding by biotechnology
農博 堤 賢 一 (岩手) Dr.Agr. TSUTSUMI, Ken-ichi(I)	分子遺伝学 Molecular Genetics		動・植物細胞の細胞分化機構 Differentiation of animal and plant cells
農博 阿 部 利 徳 (山形) Dr.Agr. ABE, Toshinori(Y)	植物遺伝・育種学 Plants Genetics and Breeding		植物のバイオテクノロジーと種子形質の分子遺伝・育種 Plant biotechnology and molecular genetics of seeds for plant breeding
医博 佐 藤 英 世 (山形) M.D. SATO, Hideyo(Y)	生化学・分子栄養学 Biochemistry and Molecular Nutrition		1)生体抗酸化系の発現制御機構 2)Regulatory mechanisms of anti-oxidant systems 2)アミノ酸トランスポーターの生理機能 2)Physiological functions of amino acid transporters

生物資源利用学連合講座 Division : Utilization of Bioresources

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博 大 西 正 男 (帯広) Dr.Agr. OHNISHI, Masao(O)	生物機能化学 Biofunctional Chemistry		1)脂質の構造, 代謝および生物機能 1)Chemical structure, metabolism, and biological function of membrane lipids 2)食品中の脂質機能と抗酸化能 2)Lipid functionality and antioxidant potency of foods
農博 小 田 有 二 (帯広) Dr.Agr. ODA, Yuji(O)	微生物利用学 Applied Microbiology		農畜産物の微生物変換に関する研究 Microbial conversion of agricultural products
農博 橋 本 誠 (帯広) Dr.Agr. HASHIMOTO, Makoto(O)	生物有機化学 Bioorganic Chemistry	Bioorganic	有機化学的手法を基礎とした生体高分子機能解析 Organic chemistry for functional analysis of biomolecules
農博 弘 中 和 憲 (帯広) Dr.Agr. HIRONAKA, Kazunori(O)	食品工学 Food Engineering		農作物の品質保持に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on quality preservation of agricultural products
農博 福 島 道 広 (帯広) Dr.Agr. FUKUSHIMA, Michihiro(O)	栄養生化学 Nutritional Biochemistry		栄養生化学およびその分子生物学に関する理論と応用 Theoretical and applied study on nutritional biochemistry and molecular biology
農博 戸 羽 隆 宏 (弘前) Dr.Agr. TOBA, Takahiro(H)	食品化学・食品微生物学 Food Chemistry and Microbiology		食品の安全性の向上に関する研究, 乳酸菌に関する研究 1)Control of food-borne pathogen 2)Studies on lactic acid bacteria
農博 木 村 賢 一 (岩手) Dr.Agr. KIMURA, Kenichi(I)	天然物生化学 Chemical Biology		天然資源由来の低分子生物活性物質の化学・生物学的研究 Chemical and Biological Study on Bioprobes derived from Natural Resources
博(農) 小藤田 久 義 (岩手) Dr.Agr. KOFUJITA, Hisayoshi(I)	木材化学 Wood Chemistry		天然有機化合物の構造と機能に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on structure and function of natural organic compound

農博 塚 本 知 玄 (岩手)	食品化学	大豆加工食品の機能性並びに呈味性の改変
Dr.Agr. TSUKAMOTO, Chigen(I)	Food Chemistry	Improvement of functionality and taste characteristics of soyfoods
農博 長 澤 孝 志 (岩手)	栄養生化学	1)骨格筋タンパク質の合成と分解の機構とその食品による調節
Dr.Agr. NAGASAWA, Takashi(I)	Nutritional Biochemistry	1)Protein synthesis and degradation in skeletal muscle and its regulation by food 2)活性酸素による生体高分子の修飾とその制御 2) Modification and regulation of bio-molecule by reactive oxygen species
農博 三 浦 靖 (岩手)	食品化学工学	食品の加工、保蔵、品質評価に関する理論と応用
Dr.Agr. MIURA, Makoto(I)	Food Chemical Engineering	Theoretical and applied studies on food processing, preservation and quality evaluation
農博 五十嵐 喜 治 (山形)	食品・栄養化学	食品素材中の栄養生理機能物質の化学と機能発現機構
Dr.Agr. IGARASHI, Kiharu(Y)	Food and Nutritional Chemistry	Chemistry of nutritionally and physiologically functional substances in food-stuffs and studies on their function mechanism
農博 高 橋 孝 悦 (山形)	森林資源利用学	樹木の成分と利用に関する研究
Dr.Agr. TAKAHASHI, Koetsu(Y)	Forest Products	Study of chemical component and its utilization on trees
農博 夏 賀 元 康 (山形)	農産物加工工学	農産物の非破壊計測
Dr.Agr. NATSUGA, Motoyasu(Y)	Agricultural Process Engineering	Non-destructive analysis of agricultural product
農博 貫 名 学 (山形)	生理活性天然物化学	生理活性天然物に関する研究
Dr.Agr. NUKINA, Manabu(Y)	Natural Products Chemistry of the Bio-Active Substances	Bio-organic chemistry of the bio-active natural products
農博 村 山 哲 也 (山形)	生物有機化学	自生生物に含まれる重要な物質の化学
Dr.Agr. MURAYAMA, Tetsuya(Y)	Bioorganic Chemistry	Chemical studies on the important substance contained in Plants

寒冷圏生命システム学専攻 Specialty : Science of Cryobiosystems

熱・生命システム学連合講座 Division : Thermo-Biosystem Relations

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博 日 高 智 (帯広)	家畜管理学	Animal Husbandry	家畜の生理と生産性に及ぼす環境の影響
Dr.Agr. HIDAHA, Satoshi(O)	Animal Husbandry		Effect of environment on animal physiology and performance
理博 山 本 紳 朗 (帯広)	作物生理学	Crop Physiology	草地と耕地における作物と環境にかかわる植物生理学
Dr.Sc. YAMAMOTO, Shinro(O)	Crop Physiology		Plant physiology on grassland and crop field
農博 赤 田 辰 治 (弘前)	植物分子生物学	Plant Molecular Biology	マメ科植物及びブナにおける環境応答の分子機構
Dr.Agr. AKADA, Shinji(H)	Plant Molecular Biology		Molecular mechanisms underlying environmental responses in Legume and beech
農博 石 川 隆 二 (弘前)	植物育種学・植物遺伝学	Plant Genetics and Breedin	1)イネの適応性遺伝子の遺伝学的解析 2)トランスボゾンによる遺伝子タッキングシステムの開発
Dr.Agr. ISHIKAWA, Ryuji(H)	Plant Genetics and Breedin		Functional genomics of rice genes
農博 杉 山 修 一 (弘前)	作物学・草地学	Crop Science and Grassland Ecology	イネ科植物の環境適応戦略の生理機構と遺伝的背景に関する研究
Dr.Agr. SUGIYAMA, Shuichi(H)	Crop Science and Grassland Ecology		Physiological mechanism and genetic background of adaptive strategy in grass species
理博 一ノ瀬 充 行 (岩手)	生理学	Physiology	生活環境および福祉機器の快適性に関する人間生理工学
Dr.Sc. ICHINOSE, Mitsuyuki(I)	Physiology		Physiological Human engineering for comfortable environment in livelihood
医博 伊 藤 菊 一 (岩手)	システム生物学	System Biology	植物の発熱制御機構に関する研究
M.D. ITO, Kikukatsu(I)	System Biology		Thermoregulation in plants
理博 上 村 松 生 (岩手)	植物生理学	Plant Physiology	植物の寒冷ストレス適応に関する分子生理学的研究とその応用
Dr.Sc. UEMURA, Matsuo(I)	Plant Physiology		Physiological and molecular biological studies on cold adaptation in plants
農博 岡 田 益 己 (岩手)	農業気象学	Agrometeorology	温暖化・CO ₂ 濃度上昇に対する植物生長応答の評価
Dr.Agr. OKADA, Masumi(I)	Agrometeorology		Evaluation of plant growth responses to global warming and elevated atmospheric CO ₂
理博 菅 野 洋 光 (岩手)	農業気象学	Agrometeorology	東北地方における「やませ」および夏季気象変動に関する理論と応用
Dr.Sc. KANNO, Hiromitsu(I)	Agrometeorology		Theoretical and applied studies on 'Yamase' and summertime meteorological fluctuations over the Tohoku Region
理博 木 藤 新一郎 (岩手)	植物分子生物学	Plant Molecular Biology	オオムギの発育生理に関する研究
Dr.Sc. KIDOU, Shin-Ichirou(I)	Plant Molecular Biology		Developmental physiology of barley
医博 佐 藤 拓 己 (岩手)	神経科学・細胞生物学	Neuroscience, Cell Biology	親電子性物質による脳保護機構
M.D. SATOH, Takumi(I)	Neuroscience, Cell Biology		Cysteine regulation of neuron survival by electrophilic
博(農) 鮫 島 良 次 (岩手)	農業気象学	Agrometeorology	温暖化・CO ₂ 濃度上昇に対する植物生長応答の評価
Dr.Agr. SAMESHIMA, Ryoji(I)	Agrometeorology		Evaluation of plant growth responses to global warming and elevated atmospheric CO ₂
理博 新 貝 鈿 蔵 (岩手)	神経科学	Neuroscience	神経情報処理
Dr.Sc. SHINGAI, Ryuzo(I)	Neuroscience		Neural information processing

農博 鈴木 幸一 (岩手) Dr.Agr. SUZUKI, Koichi(I)	昆虫生理学 Insect Physiology	1)昆虫の機能利用 1)Insect] 2)昆虫休眠の分子機構 2)Molecular mechanism of insect diapause
農博 寺内 良平 (岩手) Dr.Agr. TERAUCHI, Ryohei(I)	植物遺伝学 Plant Genetics	組み換え植物の作出に関する研究 Researches on transgenic plants
博(理) 西原 昌宏 (岩手) Dr.Sc. NISHIHARA, Masahiro(I)	植物分子育種学 Plant Molecular Breeding	植物分子育種におけるバイオテクノロジーの基礎及び応用概論 Basic and applied biotechnology for plant molecular breeding
農博 吉川 信幸 (岩手) Dr.Agr. YOSHIKAWA, Nobuyuki(I)	植物病理学 Plant Pathology	寒冷地果樹ウイルスのゲノムの構造と機能に関する研究 Structure and function of the genomes of the viruses isolated from fruit trees
理博 三橋 渉 (山形) Dr.Sc. MITSUHASHI, Wataru(Y)	植物生化学 Plant Biochemistry	植物体細胞胚の形成機構の研究 Study on Plant Somatic Embryogenesis

生物環境科学専攻 Specialty : Science of Biotic Environment

地域資源経済学連合講座 Division : Rural Resource Economics

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
農博 澤田 学 (帯広) Dr.Agr. SAWADA, Manabu(O)	農業経済学 Agricultural Economics		食料需要分析・食品安全性の経済評価・甘味資源政策の厚生分析 Food Demand Analysis / Economic Evaluation of Food Safety / Welfare Analysis of Sweetenar and Sweetener Crop Policy
博(農) 仙北谷 康 (帯広) Dr.Agr. SENBOKUYA, Yasushi(O)	農業経済学 Agricultural Economics		農場における衛生管理高度化の経済分析・農産物流通の比較構造分析 Economic Analysis on the Development of Farm Level Hygiene Management / Comparative Analysis on the Distribution System of Agricultural Products
農博 樋口 昭則 (帯広) Dr.Agr. HIGUCHI, Akinori(O)	農業経営学 Farm Management		農業経営計画及び地域農業計画に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on farm and regional agricultural planning
農博 神田 健策 (弘前) Dr.Agr. KANDA, Kensaku(H)	協同組合学 Co-opoerative Studies		現代社会における協同組合の機能・組織の役割と関係 Study on the function and role of co-operatives in modern society
農博 澁谷 長生 (弘前) Dr.Agr. SHIBUYA, Cyousei(H)	農業経済学 Agricultural Economics		地域資源管理システムに関する研究 Study on systems of regional resource management
農博 岡田 秀二 (岩手) Dr.Agr. OKADA, Shuji(I)	山村経済論 Economics of Mountain Village		山村経済の構造変貌と地域開発政策・山村政策の展開 Study on the regional development and the sturcture of mountain village economy
博(農) 木下 幸雄 (岩手) Dr.Agr. KINOSHITA, Yukio(I)	農業経済学 Agricultural Economics		農業水管理制度の国際比較 International comparison of instotution for water management in agriculture
農博 玉 真之介 (岩手) Dr.Agr. TAMA, Shinnosuke(I)	農業経済学・農業史 Agricultural Economics, Agricultural History		日本農業の社会経済的性格についての考察 Socio-economic study on Japanese agriculture
文博 岩鼻 通明 (山形) Dr.Lit. IWAHANA, Michiaki(Y)	環境地理学 Environmental Geography		山村の環境と開発に関する研究 Study on the environment and development of mountain village
農博 小沢 互 (山形) Dr.Agr. OZAWA, Wataru(Y)	農業経済学 Agricultural Economics		経営の効率性に関する研究・農村地域の合意形成に関する研究 Study on management efficiency / Study on consensus-building of rural area
農博 菊間 満 (山形) Dr.Agr. KIKUMA, Mitsuru(Y)	林業経済学 Forest Economy		山林の資源管理と木材・住宅市場に関する経済理論と政策 Economic theory and policy on resources management of mountain village and wood house market

地域環境工学連合講座 Division : Agricultural and Environmental Engineering

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Proffesor (affiliation)		名称 Department	内 容 Descriptions
農博	岸 本 正 (帯広)	農業機械学	1)農用車両走行装置の動力学的特性の解析
Dr.Agr.	KISHIMOTO, Tadashi(O)	Agricultural Machinery	1)Dynamics of traction device of agricultural vehicle 2)家畜ふん尿の土壌還元技術に関する研究 2) Development of application technology for dairy manure slurry
農博	佐 藤 禎 稔 (帯広)	農業機械学	1)農業機械のメカトロニクス化に関する研究
Dr.Agr.	SATO, Tadatoshi(O)	Agricultural Machinery	1)Studies on mechatronics in agricultural machinery 2)環境保全のための農薬散布技術の開発 2)Development of agrochemical application technology for environmental preservation
理博	武 田 一 夫 (帯広)	雪氷学・寒地工学	寒冷地域における雪氷現象の解明, 自然環境の保全・防災に関わる雪氷・土壌凍結・緑化技術の研究
Dr.Sc.	TAKEDA, Kazuo(O)	Cold Regions Science and Technology	Research of science and technology on environmental preservation and prevention disasters in cold regions
農博	辻 修 (帯広)	農地保全学	1)寒冷地における土壌浸食防止
Dr.Agr.	TSUJI, Osamu(O)	Soil and Water Conservation	1)Water and wind erosion in cold regions 2)GIS を用いた耕地防風林存続に関する研究 2)Conservation of windbreaks using GIS
農博	泉 完 (弘前)	農業水文学	水利構造物の水理設計と水田用水量
Dr.Agr.	IZUMI, Mattashi(H)	Irrigation, Drainage and Hydraulic Engineering	Hydraulic design of hydraulic facilities and water requirement
農博	工 藤 明 (弘前)	農業水文学	1)水田地帯の水管理と流出負荷量
Dr.Agr.	KUDO, Akira(H)	Irrigation, Drainage and Engineering	1)Water management and outflow load on paddy field 2)農村地帯の水環境と水質改善 2) Water environment and water quality conservation in rural areas
農博	佐々木 長 市 (弘前)	農地工学	降下浸透水の浸透型が層内諸現象に及ぼす影響に関する研究
Dr.Agr.	SASAKI, Choichi(H)	Agricultural Land Engineering	Studies on the influence of percolation pattern in seepage water on several phenomena in a layer
農博	高 橋 照 夫 (弘前)	農業情報工学	1)地域・環境及び農業分野における情報システム・ネットワークの利用向上
Dr.Agr.	TAKAHASHI, Teruo(H)	Agricultural Information Engineering	1)Improvement of information system and network for agriculture 2)農業分野におけるマシンビジョンの応用 2)Application of machine vision for agriculture
農博	張 樹 槐 (弘前)	農業機械学	1)画像処理技術の農業への応用
Dr.Agr.	ZHANG, Shu Huai(H)	Agricultural Machinery	1)Applications of image processing technology for agriculture 2)農産物品質の非破壊計測 2)Non-destructive measurements for agricultural product's quality 3)精密農業 3)Presicion agriculture
農博	倉 島 栄 一 (岩手)	水文学	大気と地表の熱交換が関与する流出の研究
Dr.Agr.	KURASHIMA, Eiichi(I)	Hydrology	Research on watershed runoff relevant to heat transfer at the air-ground interface
農博	古 賀 潔 (岩手)	農地土工学	農業・農地における土壌の理工学性
Dr.Agr.	KOGA, Kiyoshi(I)	Agricultural Land and Soil Engineering	Pysical and mechanical characteristics of soils in and aglicaltural land
博(農)	小 林 幹 佳 (岩手)	水利環境工学	水・土環境に関わるコロイド現象の基礎的研究
Dr.Agr.	KOBAYASHI, Motoyoshi(I)	Water Environmental Engineering	Colloid science and technology
工博	颯 田 尚 哉 (岩手)	土壌工学・環境工学	土壌-水系における物質の移動挙動に関する実験的理論的検討
Dr.Eng.	SATTA, Naoya(I)	Environmental Engineering	Theoretical and Experimental study on the dynamics of substances in soil-water system
農博	武 田 純 一 (岩手)	農業機械学	農作業システムの自動化
Dr.Agr.	TAKEDA, Jun-ichi(I)	Agricultural Machinery	Automation for agricultural systems
農博	広 田 純 一 (岩手)	農村計画学	農村地域の整備と保全に関わる計画と政策
Dr.Agr.	HIROTA, Jun-ichi(I)	Rural Planning	Rural planning and rural development
農博	廣 間 達 夫 (岩手)	農業機械学	オフロード車両の走行力学
Dr.Agr.	HIROMA, Tatsuo(I)	Agricultural Machinery	Off road vehicle traction mechanics
農博	三 輪 弼 (岩手)	河川構造物論	河川構造物 (堰, 床止め, 護岸, 堤防など) の計画・設計・管理
Dr.Agr.	MIWA, Hajime(I)	Problems on Hydraulic Structures	Planning, design and operation of hydraulic structures (divesion dams, river protection works, embankments, etc.)
農博	安 中 武 幸 (山形)	土壌物理学	土壌における水と物質の移動機構に関する理論と応用
Dr.Agr.	ANNAKA, Takeyuki(Y)	Soil Physics	Mechanism of water and solute movement in soils
農博	大久保 博 (山形)	河川環境工学・農業水文学	河川環境工学および農業水文学に関する基礎および理論と応用
Dr.Agr.	OKUBO, Hiroshi(Y)	Stream conservation and agricul-tural water use engineering	Fields reseach and analysis of influences and impacts of human activity to stream, river and agricultural channel bio-environment aimed to countermeasures

地域環境管理学連合講座 Division : Environmental Resource Management

学位	主指導教員氏名 (大学)	教育研究分野名	Research Field
Name of Professor (affiliation)	名称	Department	内 容 Descriptions
医博 岩 佐 光 啓 (帯広) M.D. IWASA, Mitsuhiro(O)	昆虫分類学・環境昆虫学	Insect Taxonomy Environmental Entomology	畜産に関連する双翅目ハエ類の分類, 生態, 疫学に関する研究 Studies of taxonomy, ecology and epidemiology of dipterous flies associated with agriculture and veterinary medicine
農博 本 江 昭 夫 (帯広) Dr.Agr. HONGO, Akio(O)	草地学	Grassland Science	植物の放牧適性, および過放牧による草地の砂漠化の防止 Adaptability of plants to grazing, and control of desertification of overgrazed pasture
農博 柳 川 久 (帯広) Dr.Agr. YANAGAWA, Hisashi(O)	野生動物管理学	Wildlife Science	哺乳類と鳥類の生態, 分類, 保護及び管理に関する研究 Mammalogy and ornithology for wildlife management
理博 檜 垣 大 助 (弘前) Dr.Sc. HIGAKI, Daisuke(H)	砂防学・応用地形学	Erosion Control Engineering, Engineering Geomorphology	山地流域管理と斜面災害対策に関する研究 Mountain watershed management, landslide hazard management
農博 青 井 俊 樹 (岩手) Dr.Agr. AOI, Toshiki(I)	野生生物管理学	Wildlife Management	野生生物の生息環境と森林管理のあり方に関する理論と方法 Study for relationship between forest management and wildlife habitat
学博 井良沢 道 也 (岩手) Dr.Ph. IRASAWA, Michiya(I)	砂防学	Erosion Control Engineering	1)土砂移動現象の解明と防止に関する研究 1)Study for technique on prevention of soil erosion 2)森林における水文特性の解明及び緑化に関する研究 2)Study for hydrological characteristic in the forest and technique of revegetation
農博 澤 口 勇 雄 (岩手) Dr.Agr. SAWAGUCHI, Isao(I)	森林管理学	Forest Management	森林生産基盤の整備計画法に関する理論と応用 Theoretical and applied study on forest-road networks design
農博 関 野 登 (岩手) Dr.Agr. SEKINO, Noboru(I)	木質材料学	Wood-based Material	木質複合材料の製造技術と応用 Production technology and utilization of wood-based composites
農博 橋 本 良 二 (岩手) Dr.Agr. HASHIMOTO, Ryoji(I)	森林育成学	Sylvicultural Science	森林の更新・生産過程における木本種の環境生理 Environmental physiology of woody plant species in regeneration and production processes of forests
農博 比屋根 哲 (岩手) Dr.Agr. HIYANE, Akira(I)	森林計画学・環境教育論	Forest Planning Environmental Education	1)国有林における森林施業史の分析 1)The history of forest working system in Japan national forest 2)環境教育における教育評価手法 2)The evaluation method of environmental education
農博 小野寺 弘 道 (山形) Dr.Agr. ONODERA, Hiromichi(I)	森林雪氷学・砂防学	Forest and Snow Science, Erosion Control Engineering	積雪環境と森林の動態に関する研究 Studies on snow environment and forest dynamics
農博 高 橋 教 夫 (山形) Dr.Agr. TAKAHASHI, Norio(Y)	森林経理学	Forest Management	森林施業および森林調査の理論・技術 Theory and application of forest management and forest inventory
農博 野 堀 嘉 裕 (山形) Dr.Agr. NOBORI, Yoshihiro(Y)	森林情報学	Forest Intelligence	森林情報の多目的利用 Multi-purpose inventory of forest information
農博 林 田 光 祐 (山形) Dr.Agr. HAYASHIDA, Mitsuhiro(Y)	森林生態学	Forest Ecology	森林群集における植物と動物の相互関係と生物多様性の保全 Interactions between plants and animals and conservation of biodiversity in a forest community

第2章 各種委員会等

1 研究科教授会

(1) 構成員

連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
研究科長	平 秀晴			
研究科長補佐	比屋根 哲			
植物生産学 (14人)	壽松木 章 星野 次汪 魚住 順 小森 貞男 佐川 了 築城 幹典	荒川 修 葛西 身延 伊藤 大雄 大河 浩 松山 信彦	平 智 西澤 隆	花田 正明
動物生産学 (18人)	喜多 一美 佐野 宏明 高橋 壽太郎 橋爪 力 小田 伸一 出口 善隆 松原 和衛	鈴木 裕之 松崎 正敏	高橋 敏能 木村 直子 堀口 健一	鈴木 三義 福井 豊 桑山 秀人 門平 睦代 河合 正人 木田 克弥
生物制御学 (16人)	河合 成直 溝田 智俊 磯貝 雅道	青山 正和 佐野 輝男 佐原 雄二 比留間 潔 田中 和明	俵谷 圭太郎 生井 恒雄 安田 弘法 我妻 忠雄 長谷 修	筒木 潔 小池 正徳 橋本 靖
生物機能開発学 (19人)	平 秀晴 矢野 明 山下 哲郎 若林 篤光	石黒 誠一 石田 幸子 大町 鉄雄 片方 陽太郎 黒尾(片倉)正樹 鮫島 正純 橋本 勝 宮入 一夫 殿内 暁夫 吉田 孝	上木 厚子 上木 勝司	後藤 健 大和田 琢二 小嶋 道之
ゲノム工学 (16人)	高畑 義人 堤 賢一 横井 修司	菊池 英明 原田 竹雄 姫野 俵太 牛田 千里 柏木 明子 千田 峰生 福島 雅志	阿部 利徳 笹沼 恒男 佐藤 英世	櫛 泰典 三浦 秀穂 加藤 清明

連合講座	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
生物資源利用学 (21 人)	小野 伴忠 長澤 孝志 伊藤 芳明 木村 賢一 小藤田 久義 塚本 知玄 三浦 靖		五十嵐 喜治 高橋 孝悦 夏賀 元康 貫名 学 村山 哲也 芦谷 竜矢 塩野 義人	大西 正男 小田 有二 福島 道広 木下 幹朗 小疇 浩 橋本 誠 弘中 和憲
熱・生命システム学 (16 人)	一ノ瀬 充行 伊藤 菊一 上村 松生 岡田 益己 新貝 鉦蔵 鈴木 幸一 安 嬰 寺内 良平 木藤 新一郎 斎藤 靖史	石川 隆二 杉山 修一 赤田 辰治	三橋 渉	日高 智 倉持 勝久
地域資源経済学 (15 人)	岡田 秀二 玉 真之介 木下 幸雄 柴崎 茂光 山本 信次	神田 健策 澁谷 長生 武田 共治	岩鼻 道明 小沢 互 菊間 満 金 成学 角田 毅	樋口 昭則 仙北谷 康
地域環境工学 (20 人)	倉島 栄一 古賀 潔 武田 純一 広田 純一 三輪 式	泉 完 工藤 明 佐々木 長市 高橋 照夫 谷口 建 張 樹槐 藤崎 浩幸	安中 武幸 大久保 博	武田 一夫 土谷 富士夫 岸本 正 佐藤 禎稔 辻 修 宗岡 寿美
地域環境管理学 (13 人)	青井 俊樹 橋本 良二 比屋根 哲 東 淳樹 井良沢 道也 國崎 貴嗣	檜垣 大助	小野寺 弘道 高橋 教夫 野堀 嘉裕	本江 昭夫 押田 龍夫 柳川 久
(168 人)	(56 人)	(43 人)	(33 人)	(36 人)

(2) 審議事項

開催年月日	審 議 事 項
平成 21 年 9 月 9 日	1 平成 21 年度 10 月入学者選抜試験等合格者の選考について 2 平成 21 年度 10 月入学者選抜試験等合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 3 学位授与の認定について 4 平成 21 年度教員資格審査について 5 岩手大学大学院連合農学研究科規則の一部を改正する規則（案）について
平成 22 年 2 月 12 日	1 平成 22 年度 4 月入学者選抜試験等合格者の選考について 2 平成 22 年度 4 月入学者選抜試験等合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む。）の決定について 3 学位授与の認定について 4 単位制学生の修了認定について 5 地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携・協力に関する協定書等の締結について 6 規則の改正等について 7 平成 22 年度連合農学研究科予算配分に係る基本的な考え方について 8 平成 22 年度 10 月入学学生募集要項について 9 教員資格審査に関わる「教育研究業績書」に記入する業績の改定について

2 代議員会

(1) 平成 21 年度委員

役職・専攻	連合講座	氏 名	所属大学
研究科長		平 秀 晴	
研究科長補佐		比屋根 哲	
生物生産科学	植物生産学	西 澤 隆	山形大学
	動物生産学	鈴 木 三 義	帯広畜産大学
	生物制御学	溝 田 智 俊	岩手大学
生物資源科学	生物機能開発学	上 木 厚 子	山形大学
	ゲノム工学	櫛 泰 典	帯広畜産大学
	ゲノム工学	姫 野 俵 太	弘前大学
	生物資源利用学	長 澤 孝 志	岩手大学
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	杉 山 修 一	弘前大学
	熱・生命システム学	一ノ瀬 充 行	岩手大学
生物環境科学	地域資源経済学	澁 谷 長 生	弘前大学
	地域環境工学	武 田 一 夫	帯広畜産大学
	地域環境管理学	野 堀 嘉 裕	山形大学

(2) 審議事項

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成 21 年 4 月 7 日	- 平成 21 年度代議員会重点検討事項について - 平成 21 年度教員資格審査及び再審査の実施について - 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について - 学生の異動について 14 条特例制度申請者について - 長期履修制度申請者について - 中間発表会の実施について - T A ・ R A の決定について - 研究インターンシップについて - 連合農学研究科研究員の受入について - 平成 21 年度連合農学研究科長裁量経費について - 平成 21 年度教員会議及び新入生歓迎会について - 証明書手数料の徴収について

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成 21 年 5 月 15 日	1 平成 21 年度代議員会重点検討事項について 2 論文博士学位申請者の学位論文提出資格の確認について 3 平成 21 年度科学コミュニケーション（合宿ゼミ）の実施計画について 4 連合農学研究科規則の一部改正（案）について 5 平成 21 年度連合農学研究科予算配分（案）について 6 研究科長裁量経費からの学生交通費等の支援について 7 次期代議員の選出について 8 連合農学研究科研究員の辞退について 9 研究インターンシップについて 10 証明書手数料の徴収について 11 点検評価委員会報告
平成 21 年 6 月 12 日	1 教員資格審査委員会の設置について 2 主指導教員の再審査について 3 研究インターンシップについて 4 次期代議員の選出について 5 点検評価委員会の検討課題について
平成 21 年 7 月 17 日	1 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 2 平成 21 年度 10 月入学者資格認定について 3 平成 21 年度 10 月入学者出願に伴う入試委員の推薦及び委嘱について 4 平成 22 年度 4 月学生募集要項（案）について 5 岩手連大の学生表彰について（9 月課程修了者分） 6 長期履修者の期間変更について 7 専攻会議の開催について 8 大学院担当手当（俸給の調整額）について
平成 21 年 8 月 5 日	1 平成 21 年度 10 月入学者の出願状況及び入学試験等委員会委員の委嘱について
平成 21 年 9 月 9 日	1 平成 21 年度 10 月入学者選抜試験等合格者の選考について 2 平成 21 年度 10 月入学者選抜試験等合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 3 学位論文審査結果及び学位授与の認定について 4 指導教員（補助教員を含む）の変更について 5 平成 21 年度連大専攻会議について
平成 21 年 10 月 9 日	1 岩手大学大学院連合農学研究科教員資格審査に関する内規の一部改正について 2 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 3 指導教員の変更について 4 組織的な大学院教育改革推進プログラムへの申請について 5 学生の異動について 6 平成 21 年度 10 月入学に係る連合農学研究科追加予算配分（案）について 7 平成 22 年度連合農学研究科行事日程（案）について

開 催 年 月 日	審 議 事 項
平成21年11月13日	1 学位論文提出者の提出資格確認について 2 学生の異動について 3 岩手大学大学院連合農学研究科教員資格審査に関する内規の一部改正について 4 岩手大学大学院連合農学研究科教員評価実施要項の一部改正について 5 地方独立行政法人青森県産業技術センターとの連携・協力に関する協定書等の締結について 6 平成22年度連合農学研究科行事日程（案）について
平成22年1月8日	1 学位論文の受理及び学位審査委員会の設置について 2 平成22年度4月入学者選抜試験等について 3 平成22年度10月入学者学生募集要項（案）について 4 平成22年度連合農学研究科予算配分基本方針（案）について 5 平成22年度T A・R A（ティーチング・リサーチアシスタント）の基本方針（案）について 6 点検評価委員会報告について 7 広報編集委員会委員の選出について 8 平成21年度学位記伝達式及び学位授与祝賀会について 9 中華人民共和国への訪問について 10 第一期中期目標期間の教育研究の状況の評価結果の確定について 11 平成22年度各種講義の講師選定について 12 平成22年度連合農学研究科行事日程（案）について
平成22年2月12日	1 平成22年度4月入学者選抜試験等合格者の選考について 2 平成22年度4月入学者選抜試験等合格予定者の研究題目及び指導教員（補助教員を含む）の決定について 3 学位論文審査結果及び学位授与の認定について 4 非常勤講師の採用について 5 学生の異動について 6 平成22年3月期連合農学研究科学学生表彰者について 7 平成21年度連合農学研究科第一種奨学金返還免除候補者の選考について 8 指導教員（補助教員を含む）の変更について 9 平成22年度連合農学研究科予算配分に係る基本的な考え方について 10 平成22年度T A・R A（ティーチング・リサーチアシスタント）の基本方針（案）について 11 平成22年度入学式及び新入生に対するオリエンテーションについて

第3章 有資格教員一覧

平成21年4月1日現在

専攻	連 合 講 座	弘前大学						岩手大学					
		主指導教員	副指導教員				人数	主指導教員	副指導教員				人数
			教授	准教授	講師	助教			教授	准教授	講師	助教	
生物生産科学	植物生産学	荒川 修 葛西 身延		伊藤 大雄 大河 浩 本多 和茂 松山 信彦			6	黒田 榮喜 壽松木 章 星野 次汪		稲田委久子 小森 貞男 佐川 了 庄野 浩資 築城 幹典 松嶋 卯月 魚住 順○			10
	動物生産学	鈴木 裕之		松崎 正敏			2	喜多 一美 佐野 宏明 高橋壽太郎 橋爪 力 松原和衛※ 渡邊 彰○		小田 伸一 出口 善隆 村元 隆行		澤井 健	10
	生物制御学	青山 正和 佐野 輝男 比留間 潔	佐原 雄二	田中 和明 松岡 教理			6	河合 成直 溝田 智俊 小林括平○		磯貝 雅道 立石 貴浩			5
生物資源科学	生物機能開発学	石黒 誠一 大町 鉄雄 片方陽太郎 黒尾(片倉)正樹 鮫島 正純 橋本 勝 宮入 一夫 石田 幸子		殿内 暁夫 吉田 孝			10	磯部 公安 平 秀晴		山下 哲郎 荒木功人* 矢野 明○		若林篤光*	6
	ゲノム工学	菊池 英明 原田 竹雄 姫野 俵太 牛田千里※ 千田峰生※ 福澤雅志※		柏木 明子			7	高畑 義人 堤 賢一		横井 修司			3
	生物資源利用学	戸羽 隆宏		園木 和典			2	小野 伴忠 長澤 孝志 木村賢一※ 小藤田久義※ 塚本知玄※ 三浦 靖※		伊藤 芳明 小出 章二			8
寒冷圏生命システム学	熱・生命システム学	石川 隆二 杉山 修一 赤田辰治※					3	伊藤 菊一 上村 松生 岡田 益己 鈴木 幸一 吉川 信幸 木藤新一郎※ 新貝御蔵* 一ノ瀬充行* 佐藤拓己※* 寺内良平○ 西原昌宏○ 菅野洋光○ 鮫島良次○	小栗栖太郎*	斎藤 靖史 安 嬰 松浦哲也*			17
生物環境科学	地域資源経済学	神田 健策 澁谷 長生		泉谷 真実 武田 共治			4	岡田 秀二 玉 真之介 木下幸雄※		柴崎 茂光 山本 信次			5
	地域環境工学	泉 完 工藤 明 佐々木長市 高橋 照夫 谷口 建 万木 正弘 張 樹槐※		藤崎 浩幸			8	倉島 栄一 古賀 潔 颯田 尚哉 武田 純一 広田 純一 三輪 式 小林幹佳※ 廣間達夫※		三宅 諭			9
	地域環境管理学	檜垣 大助		東 信行 萩原 守			3	青井 俊樹 澤口 勇雄 関野 登 橋本 良二 比屋根 哲 井良沢道也※	立川 史郎	國崎 貴嗣 東 淳樹 松木佐和子			10
人 数 計		34	1	16	0	0	51	52	2	23	4	2	83

主指導教員の※印は准教授

○印は客員教員， *印は工学研究科

山形大学						帯広畜産大学						人数合計							
主指導教員	副指導教員				人数	主指導教員	副指導教員				人数	主指導		副指導				計	
	教授	准教授	講師	助教			教授	准教授	講師	助教		教授	准教授	教授	准教授	講師	助教		
安藤 豊 平 智 西澤 隆 村山 秀樹	藤井 弘志				5	堀川 洋		花田 正明			2	10	0	1	12	0	0	23	
高橋 敏能 戸津川 清		木村 直子 堀口 健一			4	柏村 文郎 鈴木 三義 福井 豊 桑山 秀人 手塚雅文※		門平 陸代 河合 正人 木田 克弥 古村 圭子		瀬尾 哲也 松長 延吉	11	12	2	0	10	0	3	27	
生井 恒雄 安田 弘法 我妻 忠雄 俵谷圭太郎		長谷 修			5	筒木 潔 小池正徳※ 谷 昌幸※				橋本 靖	4	11	2	1	5	0	1	20	
上木 厚子 上木 勝司 小関卓也※		加来 伸夫			4	後藤 健 小嶋道之※		大和田琢二			3	13	2	0	7	0	1	23	
阿部 利徳 佐藤英世※		芦谷 竜矢 豊増 知伸			4	梶 泰典 三浦 秀穂 加藤清明※					3	8	5	0	4	0	0	17	
五十嵐喜治 高橋 孝悦 貫名 学 村山 哲也 夏賀 元康		芦谷 竜矢 塩野 義人			7	大西 正男 小田 有二 橋本 誠※ 弘中和憲※ 福島 道広			木下 幹朗 小崎 浩 島田謙一郎 中村 正		9	11	6	0	9	0	0	26	
三橋 渉					1	山本 紳朗 日高 智		倉持 勝久			3	16	3	1	2	2	0	24	
岩鼻 通明 小沢 互 菊間 満		金 成学 角田 毅			5	澤田 学 樋口 昭則 仙北谷康※	姜 興起				4	9	2	1	6	0	0	18	
大久保 博 安中 武幸		石川 雅也			3	武田 一夫 土谷富士夫 岸本 正※ 佐藤禎稔※ 辻 修※	前多 修二	宗岡 寿美			7	16	6	1	4	0	0	27	
小野寺弘道 高橋 教夫 野堀 嘉裕 林田 光祐		小山 浩正			5	岩佐 光啓 本江 昭夫 柳川 久※		押田 龍夫 紺野 康夫 仲島 義貴 平田 昌弘			7	12	2	1	8	2	0	25	
30	1	12	0	0	43	32	2	16	0	3	53	118	30	6	67	4	5	230	

第4章 そ の 他

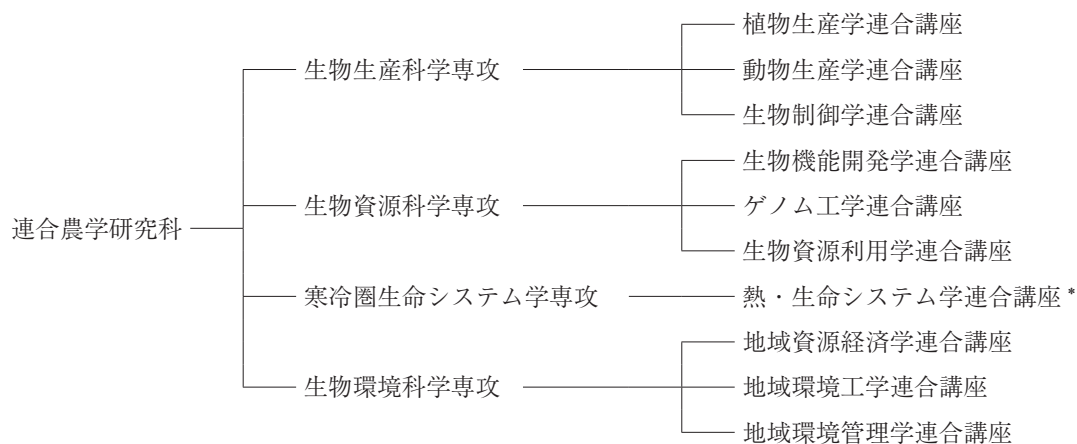
1 組 織

1 設置の趣旨

本研究科は、弘前大学の大学院農学生命科学研究科、岩手大学並びに山形大学の2大学院農学研究科（修士課程）及び帯広畜産大学の大学院畜産学研究科（修士課程）の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立された。各大学は、それぞれ教育・研究活動の面において特色を備えている。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学に関する先端的・学際的諸研究を推進しようとするものである。これらの研究及びゼミナールを通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものである。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加しつつある外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じている。

2 研究科の構成

本研究科には、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学の4専攻、10連合講座が置かれている。生物生産科学専攻は植物生産学、動物生産学、生物制御学の3連合講座から、生物資源科学専攻は生物機能開発学、ゲノム工学、生物資源利用学の3連合講座から、寒冷圏生命システム学専攻は熱・生命システム学の1連合講座から、また生物環境科学専攻は地域資源経済学、地域環境工学、地域環境管理学の3連合講座からなっている。



*「連携大学院」

協定先：(財) 岩手生物工学研究センター

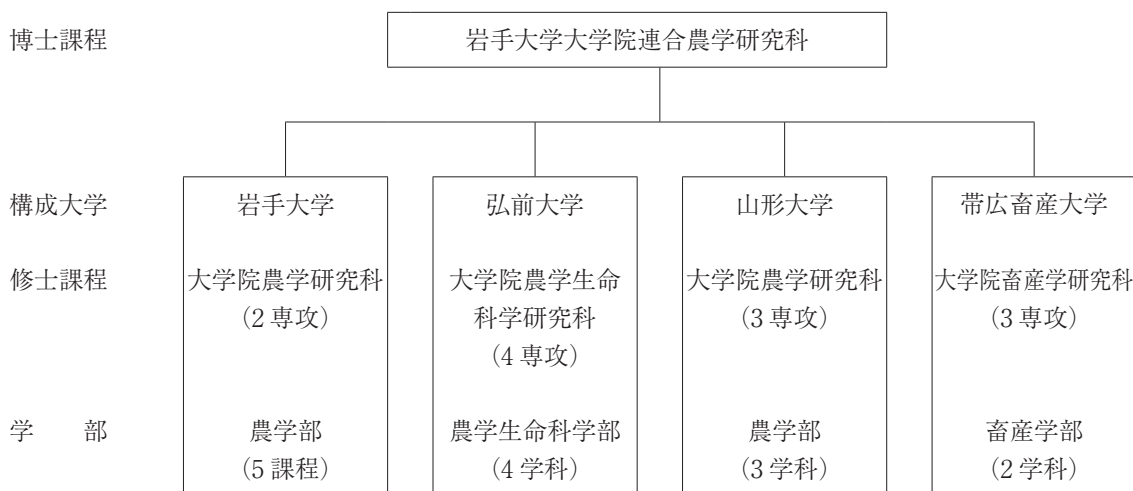
住 所：岩手県北上市成田 22-174-4 協定締結：平成 13 年 4 月 1 日

協定先：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

住 所：盛岡市下厨川字赤平 4 協定締結：平成 18 年 4 月 2 日

3 研究科の基盤組織

本研究科は、弘前大学大学院農学生命科学研究科、岩手大学大学院農学研究科、山形大学大学院農学研究科、帯広畜産大学大学院畜産学研究科（修士課程）及び各大学の附属施設等を基盤として編成されている。各大学の研究科（修士課程）と密接な連携のもとに運営されているが、それぞれの研究科とは別の独立した研究科であり、後期3年のみの博士課程である。



2 予 算 規 模 (平成 21 年度)

(1) 運営費

(千円)

大学名等	示達額	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学	共通経費	合 計
配分額	218,474	57,951	48,893	30,919	41,483	39,228	218,474

共通経費は、構成大学全体の運営費として設置大学に留め置き執行する。

(2) ティーチング・アシスタント経費及びリサーチ・アシスタント経費

(千円)

区 分	示達額	岩手大学	弘前大学	山形大学	帯広畜産大学
ティーチング・アシスタント	13,810	1,808	2,365	279	557
リサーチ・アシスタント		2,665	4,043	897	1,196
合 計	13,810	4,473	6,408	1,176	1,753

3 主 な 行 事

年 月 日	曜	審 議 事 項
平成 21. 4. 7	火	入学式・新入生オリエンテーション 第 225 回連合農学研究科代議員会 (TV 会議)
4. 22	水	構成大学教員会議 (岩手大学)
4. 23	木	構成大学教員会議 (弘前大学)
4. 24	金	構成大学教員会議 (山形大学)
4. 27	月	論文博士学位申請受付 (9 月期) (5 月 8 日まで)
5. 8	金	構成大学教員会議 (帯広畜産大学)
5. 15	金	第 226 回連合農学研究科代議員会 (山形大学)
5. 22	金	教員資格審査候補者推薦締切
6. 4	木	全国連合農学研究科協議会 (研究科長会議・全体会議) (5 日まで)
6. 5	金	岩手連大構成大学研究科長等連絡会
6. 12	金	第 227 回連合農学研究科代議員会 (多地点システム)
6. 17	水	前期連合一般ゼミナール・日本語 (農学特別講義Ⅱ) (多地点システム) (19 日まで)
6. 22	月	課程博士学位論文受付 (9 月期) (7 月 3 日まで)
7. 16	木	点検評価委員会
7. 17	金	第 228 回連合農学研究科代議員会 教員資格審査委員会
7. 27	月	平成 21 年度 10 月入学入学願書受付 (7 月 31 日まで)
8. 6	木	第 229 回連合農学研究科代議員会 (メール会議)
8. 26	水	科学コミュニケーション (合宿ゼミ) (弘前大学) (28 日まで)
9. 8	火	平成 21 年度 10 月入学者選抜試験 入学試験等委員会 点検評価委員会
9. 9	水	第 230 回連合農学研究科代議員会 専攻会議 FD 講演会 第 51 回研究科教授会
9. 16	水	平成 21 年度 10 月入学合格者発表
9. 25	金	平成 21 年 9 月期岩手大学大学院修了式 平成 21 年 9 月期連合農学研究科学位記伝達式
10. 1	水	入学式・新入生オリエンテーション (多地点システム)
10. 9	金	第 231 回連合農学研究科代議員会 (帯広畜産大学)
10. 13	火	点検評価委員会 (帯広畜産大学) 論文博士学位申請受付 (3 月期) (23 日まで)
11. 5	木	全国連合農学研究科協議会 (研究科長会議) (6 日まで)
11. 12	木	研究インターンシップ報告会
11. 13	金	第 232 回連合農学研究科代議員会 点検評価委員会
11. 18	水	後期連合一般ゼミナール・英語 (農学特別講義Ⅰ) (多地点システム) (20 日まで)
11. 24	火	平成 22 年 4 月入学入学願書受付 (11 月 30 日まで)

12. 7 12. 11	月 金	課程博士学位論文受付（3 月期）（18 日まで） 岩手連大構成法人間連絡調整委員会
平成 22. 1. 8	金	第 233 回連合農学研究科代議員会 点検評価委員会
2. 11 2. 12 2. 24	木 金 水	平成 22 年度 4 月入学者選抜試験 入学試験等委員会 点検評価委員会 第 234 回連合農学研究科代議員会 第 52 回研究科教授会 平成 22 年度 4 月入学合格者発表
3. 23	火	平成 21 年度岩手大学大学院修了式 平成 21 年度連合農学研究科学位記伝達式

平成21年度広報編集委員会委員名簿

委員長：比屋根 哲（岩手大学 教授・大学院連合農学研究科 研究科長補佐）

委員：磯貝 雅道（岩手大学 准教授）

伊藤 芳明（岩手大学 准教授）

檜垣 大助（弘前大学 教授）

赤田 辰治（弘前大学 准教授）

木村 直子（山形大学 准教授）

金 成学（山形大学 准教授）

桑山 秀人（帯広畜産大学 教授）

小嶋 道之（帯広畜産大学 准教授）

表紙写真

岩手大学リモート・センシングデータ解析室提供

岩手大学大学院連合農学研究科年報

The United Graduate School
of Agricultural Sciences, Iwate University
(doctoral course)

第12号 平成23年10月 発行

〈編集〉岩手大学大学院連合農学研究科

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

電話 (019) 621-6247

FAX (019) 621-6248

Eメール rendai@iwate-u.ac.jp

ホームページ <http://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/>

